

# 学術集会プログラム

## 学会賞受賞講演

10月31日(金) 12:50～14:00 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 南谷 幹史(帝京大学ちば総合医療センター小児科)

### 健全な Life Course を支える小児内分泌学

菊池 透

埼玉医科大学小児科

## 特別講演 1

10月31日(金) 9:40～10:20 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 高谷 具純(獨協医科大学埼玉医療センター小児科)

### SL1 希少難病を追求してヒトの老化に迫る

横手 幸太郎

千葉大学

## 特別講演 2

11月1日(土) 13:30～14:10 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 長谷川 奉延(慶應義塾大学/柏たなか病院)

### SL2 2型糖尿病の成因・病態・治療 — Etwas neues

門脇 孝

国家公務員共済組合連合会虎の門病院

## 学会招聘講演・福島レクチャー

10月31日(金) 10:25～11:05 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 藤原 幾磨(仙台市立病院小児科)

### 福島県「県民健康調査」甲状腺検査のこれまでの歩みと結果

志村 浩己<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座、

<sup>2</sup> 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

## 海外招聘講演 レフェトフレクチャー

11月1日(土) 9:40～10:20 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 鳴海 覚志(慶應義塾大学医学部小児科学教室)

### Hypothyroidism that cannot be corrected with thyroid hormone: From identification to treatment

Samuel Refetoff

The University of Chicago

## KSPE-JSPE 交換講演

11月1日(土) 10:25～11:05 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 堀 友博(岐阜大学大学院医学系研究科小児科学)

### Immuno-genetics of early onset Graves' disease

Won Kyoung Cho

Department of Pediatrics, St. Vincent's Hospital, College of Medicine, The Catholic University of Korea

## 教育講演 1

10月30日(木) 10:00～10:30 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 南谷 幹史(帝京大学ちば総合医療センター小児科)

### EL1 AIに「善悪の判断」を教える方法

鄭 雄一<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 東京大学工学系及び医学系研究科、<sup>2</sup> 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科

## 教育講演 2

10月30日(木) 15:30～16:00 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 皆川 真規(千葉県こども病院)

### EL2 Muse細胞治療の世界展開戦略:HLA適合や免疫抑制剤を必要としないドナー Muse細胞の点滴治療

出澤 真理

東北大学大学院医学系研究科

## 教育講演 3 男女共同参画・ワークライフバランス委員会企画

10月30日(木) 16:10～16:50 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 藤澤 泰子(浜松医科大学医学部附属病院小児科)

### EL3 生殖を制御する脳内メカニズムとその性分化、社会の活性化戦略としてのジェンダー平等

東村 博子

名古屋大学大学院生命農学研究科

## ミニシンポジウム 災害対策委員会企画

10月31日(金) 11:15～11:45 第1会場(グランドボールルーム AB) ◎

座長 藤原 幾磨(仙台市立病院小児科)

### 小児内分泌疾患災害時マニュアル作成に向けて

伊藤 順庸<sup>1,12</sup>、伊藤 善也<sup>2,12</sup>、志賀 健太郎<sup>3,12</sup>、高谷 具純<sup>4,12</sup>、青山 幸平<sup>5,12</sup>、尾崎 佳代<sup>6,12</sup>、樋口 真司<sup>7,12</sup>、藤本 正伸<sup>8,12</sup>、濱田 淳平<sup>9,12</sup>、虫本 雄一<sup>10,12</sup>、藤原 幾磨<sup>11,12</sup>

<sup>1</sup> 金沢医科大学小児科、<sup>2</sup> 日本赤十字北海道看護大学、

<sup>3</sup> 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター、

<sup>4</sup> 千葉大学大学院医学研究院小児病態学、

<sup>5</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、

<sup>6</sup> 兵庫県立こども病院代謝内分泌科、<sup>7</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、

<sup>8</sup> 鳥取大学医学部産科・小児医学分野、<sup>9</sup> 愛媛大学大学院医学系研究科小児科学、

<sup>10</sup> 九州大学病院小児科、<sup>11</sup> 仙台市立病院小児科、<sup>12</sup> 日本小児内分泌学会災害対策委員会

10月30日(木) 9:00～9:45 第2会場(グランドボールルームC) ◎

座長 長谷川 行洋(東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科)  
難波 範行(鳥取大学医学部周産期・小児医学分野)

**SUES-1 論文執筆における生成 AI の活用と注意すべきこと**

道上 敏美

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター研究所

**SUES-2 生成 AI により捗る臨床研究：計画・解析・執筆**

赤星 祥伍

東京都立病院機構研究推進センター

シンポジウム 1 先天性甲状腺機能低下症の最前線

10月30日(木) 15:30～16:45 第2会場(グランドボールルームC) ◎

座長 鬼形 和道(島根大学医学部附属病院)  
長崎 啓祐(長野県立こども病院内分泌代謝科)

**SY1-1 原発性先天性甲状腺機能低下症とメンデル遺伝**

鳴海 覚志

慶應義塾大学医学部小児科学教室

**SY1-2 末梢性 (MCT8 遺伝子異常症)**

伊藤 順庸

金沢医科大学小児科

**SY1-3 SECISBP2 (SBP2) 欠損症って何？**

濱島 崇

あいち小児保健医療総合センター

**SY1-4 SLC26A7 遺伝子異常による先天性甲状腺機能低下症の臨床像と病態的意義**

鈴木 敦詞<sup>1,2</sup>、原 佑太郎<sup>2</sup>、大矢知 真希<sup>2</sup>、吉田 あや<sup>2,3</sup>、山口 直哉<sup>2</sup>、田中 達之<sup>4</sup>、  
青山 幸平<sup>2</sup>、水野 晴夫<sup>5</sup>、齋藤 伸治<sup>2</sup>

<sup>1</sup>岐阜県立多治見病院小児科、<sup>2</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、  
<sup>3</sup>一宮市立市民病院小児科、<sup>4</sup>豊橋市民病院小児科、<sup>5</sup>藤田医科大学医学部小児科学

シンポジウム 2 小児内分泌領域における病診連携について—開業医にできること—

10月31日(金) 10:25～11:40 第2会場(グランドボールルームC) ◎

座長 小山 さとみ(獨協医科大学埼玉医療センター)  
木下 英一(きのしたこどもクリニック)

**SY2-1 こども病院の内分泌科医の立場からみた病診連携**

尾崎 佳代

兵庫県立こども病院代謝内分泌科

**SY2-2 開業医×大学病院勤務医=キメラ視点だから見えてきた「成長ホルモン治療と病診連携」**

曾根田 瞬<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>たなか成長クリニック、<sup>2</sup>聖マリアンナ医科大学小児科

**SY2-3 小児糖尿病における病診連携の重要性—小児内分泌・糖尿病専門クリニック開業に際して—**

母坪 智行

さっぽろ小児内分泌クリニック

**SY2-4 地域基幹病院の小児内分泌科医の立場から**

菊池 信行

横浜労災病院

### シンポジウム 3 性分化・副腎疾患委員会 共同企画 DSD でしばしば遭遇する難しい性別決定と告知：あなたならどうする？

10月31日(金) 10:25～11:40 第3会場(グランドボールルームD)

◎

座長 石井 智弘(東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科)  
川井 正信(大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門)

**SY3-1 45,X/46,X,r(Y) 新生児の性別決定**

菅野 潤子  
東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野

**SY3-2 性別決定に難渋した部分型アンドロゲン不応症の1例**

三森 愛美、田久保 憲行  
順天堂大学医学部小児科学講座

**SY3-3 5 $\alpha$ レダクターゼ欠損症～症例と診療のポイント～**

濱島 崇  
あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科

**SY3-4 DSDの診療で遭遇する難しい告知(情報共有と説明)：あなたならどうする？**

井垣 純子  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児内分泌代謝内科

### シンポジウム 4 遺伝子診断委員会 共同企画 小児内分泌疾患の遺伝学的検査

10月31日(金) 15:20～16:20 第1会場(グランドボールルームAB)

◎

座長 白井 健(静岡社会健康医学大学院大学)  
伊達木 澄人(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学)

**SY4-1 MODY、新生児糖尿病、先天性高インスリン血症における遺伝学的検査の現状と課題**

樋口 真司、森 潤  
大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

**SY4-2 性分化疾患(DSD)における遺伝学的検査の臨床的意義**

石井 智弘  
東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科

**SY4-3 成長障害疾患に対する遺伝学的検査**

鏡 雅代  
国立成育医療研究センター分子内分泌研究部

### シンポジウム 5 エキスパートが考えるバセドウ病診療

11月1日(土) 14:20～15:35 第1会場(グランドボールルームAB)

◎

座長 阿部 清美(さいたま市立病院小児科)  
宮田 市郎(聖徳大学・聖徳大学短期大学部保健センター)

**SY5-1 小児バセドウ病の手術治療**

杉谷 巖  
日本医科大学内分泌外科

**SY5-2 小児バセドウ病に対する放射性ヨウ素内用療法**

萱野 大樹  
金沢大学医薬保健研究域核医学

**SY5-3 若年者バセドウ病におけるチアマゾール＋無機ヨウ素併用治療について**

大江 秀美<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>名古屋甲状腺診療所、<sup>2</sup>日本甲状腺学会小児甲状腺疾患診療委員会

**SY5-4 バセドウ病診療における Siglec1 の臨床的意義**

橋本 貢士

獨協医科大学埼玉医療センター糖尿病内分泌・血液内科

**シンポジウム 6 日本小児血液・がん学会 (JSPHO) 合同シンポジウム 小児内分泌科医が知っておくべき腫瘍性疾患治療中の急性期合併症**

11月1日(土) 14:20～15:35 第2会場(グランドボールルームC) ◎

座長 菅野 潤子(東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野)

岡田 賢(広島大学大学院医系科学研究科小児科学)

**SY6-1 小児脳腫瘍手術における急性期内分泌合併症の実際と対応**鈴木 智成<sup>1</sup>、内田 栄太<sup>1</sup>、福岡 真惟<sup>2</sup><sup>1</sup> 埼玉医科大学国際医療センター小児脳脊髄腫瘍科、<sup>2</sup> 埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科**SY6-2 小児内分泌医の先生方に知っていただきたい小児がん治療中の急性期合併症～急性リンパ性白血病を中心に～**

宮崎 文平

国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科

**SY6-3 急性期内分泌合併症に対応するスキルとマインド**

長井 静世

滋賀医科大学小児科学講座

**シンポジウム 7 移行期対応委員会 共同企画 小児内分泌疾患の成人期を知る**

11月1日(土) 14:20～15:35 第3会場(グランドボールルームD) ◎

座長 宇都宮 朱里(広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科・がんゲノム診療科/広島大学大学院医系科学研究科遺伝医学)

糸永 知代(大分大学医学部附属病院小児科)

**SY7-1 下垂体機能低下症における成人期の問題点と小児期にできること**

長谷川 真理

奈良県立医科大学小児科

**SY7-2 ターナー症候群の成人期合併症の適切な管理に向けた小児期からの取り組み**

川井 正信

大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門

**SY7-3 X連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症**

大幡 泰久

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

**SY7-4 21OHD～マススクリーニングから始まる Lifelong Support**

高澤 啓

東京科学大学発生発達病態学分野/小児科

11月1日(土) 14:20～15:35 第4会場(ラ・テラス)

◎

座長 伊藤 善也(日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域)  
田中 敏章(たなか成長クリニック)

**SY8-1 学校健診への成長曲線の導入と学校保健会の役割**

田中 敏章  
たなか成長クリニック

**SY8-2 地域における成長曲線検診 長崎市での取り組み**

伊達木 澄人  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学

**SY8-3 学校医として成長曲線を使いこなすには～前線からの報告：現状と課題**

伊藤 晴通  
医療法人康晴会生和堂医院

**SY8-4 養護教諭の立場から**

木原 薫  
九十九里町立片貝小学校

**SY8-5 成長曲線活用における JSPE の役割と今後の展望**

伊藤 善也  
日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域

ランチョン教育セミナー 1

10月30日(木) 11:50～12:40 第1会場(グランドボールルーム AB)

共催：JCRファーマ株式会社

座長 尾崎 佳代(兵庫県立こども病院代謝内分泌科)  
水野 晴夫(藤田医科大学医学部小児科学)

**LS1-1 成長ホルモン治療再考～適応の多様化と診断基準の解釈における揺らぎ～**

水野 晴夫  
藤田医科大学医学部小児科学

**LS1-2 成長ホルモン治療における毎日製剤と長時間作用型製剤の比較と今後の展望**

尾崎 佳代  
兵庫県立こども病院代謝内分泌科

ランチョン教育セミナー 2

10月30日(木) 11:50～12:40 第2会場(グランドボールルーム C)

共催：Ultragenyx Japan株式会社

座長 森 潤(大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科)

**LS2 小児期からのホモ接合体家族性高コレステロール血症(HoFH) 診断治療 2025**

多田 隼人  
金沢大学附属病院循環器内科

### ランチョン教育セミナー 3

10月30日(木) 11:50~12:40 第3会場(グランドボールルームD)

共催:アレクシオンファーマ合同会社

座長 大藪 恵一(医誠会国際総合病院難病医療推進センター)

**LS3 低ホスファターゼ症診断と酵素補充療法ーアスホターゼアルファ治療開始10年を経過して**

大幡 泰久

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

### ランチョン教育セミナー 4

10月30日(木) 11:50~12:40 第4会場(ラ・テラス)

共催:協和キリン株式会社

座長 北岡 太一(医誠会国際総合病院小児科)

**LS4-1 成人期に求められるXLHのケア**

高士 祐一

福岡大学医学部内分泌・糖尿病内科学講座

**LS4-2 小児期XLHにおけるプロスマブの位置づけ**

石井 玲<sup>1</sup>、末岡 秀文<sup>1</sup>、津川 毅<sup>1</sup>、中村 慧<sup>2</sup>、大山 和紗<sup>3</sup>、西山 楓奈<sup>4</sup>、岩佐 真実<sup>5</sup>、  
山本 賢一<sup>6,7</sup>、藤原 誠<sup>6</sup>、大幡 泰久<sup>6</sup>

<sup>1</sup>札幌医科大学医学部小児科学講座、<sup>2</sup>岩見沢市立総合病院小児科、<sup>3</sup>市立釧路総合病院小児科、

<sup>4</sup>製鉄記念室蘭病院小児科、<sup>5</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、

<sup>6</sup>大阪大学大学院医学研究科小児科学、

<sup>7</sup>大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学研究室

### ランチョン教育セミナー 5

10月31日(金) 11:50~12:40 第1会場(グランドボールルームAB)

共催:JCRファーマ株式会社

座長 三善 陽子(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室)

**LS5-1 下垂体腫瘍に対する経鼻内視鏡手術と術後フォローアップにおける診療科連携**

藤尾 信吾

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学/鹿児島大学病院下垂体疾患センター

**LS5-2 脳腫瘍後患者の内分泌学的フォローアップ**

鹿島田 健一

成育医療研究センター内分泌代謝科

### ランチョン教育セミナー 6

10月31日(金) 11:50~12:40 第2会場(グランドボールルームC)

共催:アンジェス株式会社

座長 松尾 宗明(佐賀大学医学部小児科学講座)

**LS6 ハッチンソン・ギルフォード症候群および類縁疾患の病態と治療ー新薬への期待ー**

大藪 恵一

医誠会国際総合病院難病医療推進センター

## ランチョン教育セミナー 7 視床下部性肥満と MC4R の最新知見

10月31日(金) 11:50~12:40 第3会場(グランドボールルームD)

共催: Rhythm Pharmaceuticals Japan 株式会社

座長 岡田 賢(広島大学大学院医系科学研究科小児科学)

### LS7-1 ゼロから学ぶ視床下部障害

磯島 豪

国家公務員共済組合連合会虎の門病院小児科

### LS7-2 小児がん経験者における内分泌障害

岡田 賢

広島大学大学院医系科学研究科小児科学

## ランチョン教育セミナー 8

10月31日(金) 11:50~12:40 第4会場(ラ・テラス)

共催: BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社

座長 窪田 拓生(大阪母子医療センター腎・代謝科)

### LS8 骨端線の生物学: X線から組織像まで

安井 夏生

徳島大学医学部整形外科

## ランチョン教育セミナー 9

11月1日(土) 12:25~13:15 第1会場(グランドボールルームAB)

共催: ファイザー株式会社

座長 川井 正信(大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門)

### LS9 エヌジェンラ治療の実臨床における有効性と安全性の検討

大幡 泰久

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

## ランチョン教育セミナー 10

11月1日(土) 12:25~13:15 第2会場(グランドボールルームC)

共催: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長 緒方 勤(浜松医療センター小児科)

### LS10 GHD 小児における weekly 製剤 Somapacitan に対する成長反応

田中 敏章

たなか成長クリニック

## ランチョン教育セミナー 11 1型糖尿病の現状とこれからについて考える

11月1日(土) 12:25 ~ 13:15 第3会場(グランドボールルームD)

共催: サノフィ株式会社 ジェネラルメディクスメディカル本部

座長 山本 幸代(産業医科大学医学部医学教育担当教員)

### LS11-1 1型糖尿病の今を知って未来を変える

高谷 具純

獨協医科大学埼玉医療センター小児科

### LS11-2 PREP-T1D study の臨床的意義と患者と家族への影響

川村 智行

あべのメディカルクリニック

## ランチョン教育セミナー 12 軟骨無形成症の治療 -Up To Date-

11月1日(土) 12:25 ~ 13:15 第4会場(ラ・テラス)

共催: BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社

座長 菅野 潤子(東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野)

### LS12-1 何を計測すべきなのか? ~身体所見、X線画像のとり方、見方~

岡田 慶太

東京大学医学部附属病院整形外科

### LS12-2 軟骨無形成症の成長障害に対する治療を考える: ポソリチド使用成績調査(111-604)の結果から

北岡 太一

医誠会国際総合病院小児科

## スイーツ教育セミナー 1 GH治療におけるバイオシミラーの展望 ~臨床エビデンスと持続可能な医療制度への貢献~

10月30日(木) 15:30 ~ 16:20 第3会場(グランドボールルームD)

共催: サンド株式会社

座長 田久保 憲行(順天堂大学医学部小児科学講座)

### SWS1-1 GH治療を多角的に考える~こどもたちの未来のために~

橘 真紀子

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

### SWS1-2 ソマトロピンBSの安全性と小児医療充実の可能性~そもそもバイオシミラーって大丈夫なの?~

大津 義晃

群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野

## スイーツ教育セミナー 2

10月30日(木) 15:30 ~ 16:20 第5会場(ロジエー)

共催: Soleno Therapeutics, Inc.

座長 川井 正信(大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門)

### SWS2 Clinical Perspectives on Hyperphagia in Prader-Willi Syndrome: Symptoms, Management, and Emerging Therapeutic Strategies

Jennifer Miller

Div. of Endocrinol., Dept. of Pediatr., Univ. of Florida

### スイーツ教育セミナー 3

10月31日(金) 15:20～16:10 第2会場(グランドボールルームC)

共催: ファイザー株式会社

座長 山本 幸代(産業医科大学医学部医学教育担当教員)

**SWS3-1 転換期を迎えた小児 GHD 治療: 長時間作用型 GH がもたらす恩恵と課題**

鈴木 滋

旭川医科大学小児科

**SWS3-2 長時間作用型成長ホルモンを生かした治療戦略～IGF-1 とアドヒアランスを考える～**

島 彦仁

東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野

### スイーツ教育セミナー 4 希少疾患を知る ～病型別症例から学ぶ、小児科で見つかる脂肪萎縮症～

10月31日(金) 15:20～16:10 第3会場(グランドボールルームD)

共催: キエジ・ファーマ・ジャパン株式会社

座長 安達 昌功(昭和医科大学小児科)

**SWS4-1 小児脂肪萎縮症: 早期診断と治療介入の重要性**

日下部 徹

国立病院機構京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部臨床内分泌代謝研究室

**SWS4-2 症例発表 1**

中島 佑

九州大学病院小児科

**SWS4-3 症例発表 2**

石黒 創

新潟大学医学部血液内分泌代謝内科

### イブニング教育セミナー 1 子どもと家族が選ぶ医療: 小児内分泌における SDM

10月30日(木) 19:20～20:30 第1会場(グランドボールルームAB)

共催: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長 田島 敏広(自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科)

**ES1-1 Shared Decision Making (SDM) とは何か?: EBM の原点からその先へ:**

中山 健夫

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野

**ES1-2 小児内分泌疾患における Shared Decision Making (SDM) の実践的活用**

高澤 啓

東京科学大学発生発達病態学分野/小児科

## イブニング教育セミナー 2 未来への架け橋：ENPP1 欠損症の基本から最前線

10月30日(木) 19:20～20:30 第2会場(グランドボールルームC)

共催：Inozyme Pharma, Inc.

座長 長谷川 行洋(東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科)

### ES2-1 自験例における GACI の胎児超音波所見と出生前診断に向けた今後の課題

島 英里

新潟大学医学部産科婦人科学教室

### ES2-2 Ectonucleotide pyrophosphatase/phosphodiesterase 1 (ENPP1) 欠損症の長期経過と本邦報告例のまとめ

沼倉 周彦<sup>1</sup>、長谷川 行洋<sup>2</sup>

<sup>1</sup>埼玉医科大学病院ゲノム医療科、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科

## スポンサード教育セミナー

10月31日(金) 15:20～16:10 第4会場(ラ・テラス)

共催：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

座長 長崎 啓祐(長野県立こども病院内分泌代謝科兼生命科学研究センター)

### SS 甲状腺機能検査を使いこなそう

鳴海 覚志

慶應義塾大学医学部小児科学教室

## インタラクティブプレミアムセミナー 基本を振り返り、時代の変化に対応する～低身長症の診断、生成AIの活用、BSと医療経済～

10月31日(金) 9:40～11:40 IPS会場(ロジエー・マロニエ)

共催：サンド株式会社

座長 松井 克之(滋賀県立総合病院小児内分泌代謝糖尿病科)

### IPS-1 症例から学ぶ成長障害診療

難波 範行

鳥取大学医学部周産期・小児医学分野

### IPS-2 医師の日常業務における生成AIの活用と注意点

松井 健太郎

国立精神・神経医療研究センター病院睡眠障害センター

### IPS-3 考えよう、医療と社会

後藤 悌

国立がん研究センター中央病院呼吸器内科

## ハンズオンセミナー 1 日本乳腺甲状腺超音波医学会共催 甲状腺超音波ハンズオンセミナー

10月30日(木) 15:20～16:50 第4会場(ラ・テラス)

オーガナイザー：志村 浩己(福島医科大学臨床検査医学講座)

### HS1-1 超音波検査の基本 B-mode

佐々木 栄司

昭和大学横浜市北部病院甲状腺センター

### HS1-2 血流評価

貴田岡 正史

イムス三芳総合病院内分泌・代謝センター

### HS1-3 エラストグラフィ

國井 葉

昭和大学横浜市北部病院甲状腺センター

## ハンズオンセミナー 2

10月31日(金) 10:25 ~ 11:40 第4会場(ラ・テラス)

共催: 日本メドトロニック株式会社

### HS2 小児1型糖尿病の最新治療を知る - AID 療法

袖山 賀彦

大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学

## 最優秀演題賞・若手優秀演題賞候補口演 1

10月30日(木) 12:50 ~ 14:05 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 菅野 潤子(東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野)

濱田 淳平(愛媛大学大学院医学系研究科小児科学)

### SP1-1 二次骨化中心形成と骨格成長におけるメカニカルストレスの関与

千葉 有美子<sup>1,2</sup>、寺島 明日香<sup>2,3</sup>、岡田 寛之<sup>2,4</sup>、岩永 康秀<sup>2,5</sup>、小俣 康徳<sup>2,3</sup>、田中 栄<sup>2</sup>、  
田中 裕之<sup>1</sup>、齋藤 琢<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東京大学医学部附属病院小児科、<sup>2</sup> 東京大学大学院医学系研究科整形外科学、

<sup>3</sup> 東京大学医学部附属病院骨・軟骨再生医療講座、

<sup>4</sup> 東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター臨床医工学、

<sup>5</sup> 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻

### SP1-2 札幌市における12年間の先天性副腎皮質過形成症スクリーニング実績: LC-MS/MS法の臨床的有用性

菱村 希<sup>1</sup>、山岸 卓弥<sup>2,3</sup>、藤倉 かおり<sup>2,3</sup>、野町 祥介<sup>3</sup>、遠藤 愛<sup>1</sup>、金子 直哉<sup>1</sup>、  
末岡 秀文<sup>4</sup>、石井 玲<sup>4</sup>、中村 明枝<sup>5</sup>、田島 敏広<sup>6</sup>、森川 俊太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 北海道大学病院小児科、<sup>2</sup> 一般財団法人北海道薬剤師会公衆衛生検査センター、

<sup>3</sup> 札幌市衛生研究所、<sup>4</sup> 札幌医科大学小児科学講座、

<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、<sup>6</sup> 自治医科大学小児科

### SP1-3 東京都における21水酸化酵素欠損症マススクリーニングの新アルゴリズム: 低出生体重児の偽陽性削減に向けて

山野 春樹<sup>1</sup>、渡辺 和宏<sup>2</sup>、小松 美南<sup>2</sup>、橋本 敦子<sup>2</sup>、鈴木 友梨<sup>1</sup>、桐野 玄<sup>1</sup>、  
齊藤 洋子<sup>1</sup>、安達 恵利子<sup>1</sup>、我有 茉希<sup>1</sup>、中谷 久恵<sup>1</sup>、辻 敦美<sup>1</sup>、鹿島田 健一<sup>3</sup>、  
石毛 信之<sup>2</sup>、高澤 啓<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京科学大学発生発達病態学分野 / 小児科、

<sup>2</sup> 公益財団法人東京都予防医学協会小児スクリーニング科、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター内分泌代謝科

### SP1-4 ヘム合成酵素CPOX欠損症: 原発性副腎皮質機能低下症と46,XY DSDをきたす新規疾患単位の確立

本田 美紗<sup>1,2</sup>、長谷川 高誠<sup>3</sup>、後藤 芳充<sup>4</sup>、鳴海 覚志<sup>1</sup>、石井 智弘<sup>1</sup>、長谷川 奉延<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>2</sup> 東京歯科大学市川総合病院小児科、

<sup>3</sup> 岡山大学学術研究院医療開発領域小児科、

<sup>4</sup> 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院小児腎臓科

**SP1-5 ROHHAD(-NET) 症候群の全国疫学調査における臨床実態と関連自己抗体価の分析**

小野 泰輔<sup>1,3</sup>、宇都宮 朱里<sup>2,3</sup>、菅野 潤子<sup>4</sup>、島 彦仁<sup>4</sup>、鈴木 雄一<sup>5</sup>、田中 学<sup>6</sup>、池側 研人<sup>7</sup>、天野 直子<sup>7</sup>、最上 友紀子<sup>8</sup>、川井 正信<sup>9</sup>、山田 勇気<sup>10</sup>、森 潤<sup>10</sup>、長谷川 高誠<sup>11</sup>、笹岡 大記<sup>12</sup>、永松 扶紗<sup>12</sup>、西 眞範<sup>13</sup>、松尾 宗明<sup>13</sup>、盛武 浩<sup>14</sup>

<sup>1</sup> 広島大学病院小児科、<sup>2</sup> 広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科、

<sup>3</sup> 厚生労働科学研究難治性疾患政策事業研究班、

<sup>4</sup> 東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態分野、<sup>5</sup> 福島県立医科大学小児科、

<sup>6</sup> 埼玉県立小児医療センター総合診療科、<sup>7</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、

<sup>8</sup> 大阪母子医療センター脳神経内科、<sup>9</sup> 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、

<sup>10</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、

<sup>11</sup> 岡山大学学術研究院医療開発領域小児科、<sup>12</sup> 熊本大学病院小児科、

<sup>13</sup> 佐賀大学医学部附属病院小児科、<sup>14</sup> 宮崎大学医学部附属病院小児科

**最優秀演題賞・若手優秀演題賞候補口演 2**

10月30日(木) 14:05 ~ 15:20 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 深見 真紀(国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部)

水野 晴夫(藤田医科大学医学部小児科学)

**SP2-1 小児副腎皮質腫瘍における 11-ketotestosteron(11-KT) 産生とそのメカニズムの解析**

藤澤 泰子<sup>1</sup>、佐野 伸一郎<sup>2</sup>、村井 雄紀<sup>2</sup>、坂口 公祥<sup>1</sup>、増永 陽平<sup>1</sup>、金城 健一<sup>1</sup>、谷川 渉<sup>1</sup>、池田 麻衣子<sup>1</sup>、大山 伊吹<sup>1</sup>、緒方 勤<sup>1,3,4</sup>

<sup>1</sup> 浜松医科大学小児科、<sup>2</sup> 静岡県立こども病院内分泌・代謝内科、<sup>3</sup> 浜松医科大学医化学講座、

<sup>4</sup> 浜松医療センター

**SP2-2 遺伝学的に診断された日本人患者 60 例を対象とした Temple 症候群の包括的臨床研究**

小川 朋恵<sup>1,2</sup>、成澤 宏宗<sup>3</sup>、長崎 啓祐<sup>4</sup>、小崎 里華<sup>5</sup>、内木 康博<sup>6</sup>、荒巻 道彦<sup>1</sup>、松原 圭子<sup>1,7</sup>、中村 明枝<sup>1</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>、緒方 勤<sup>1,8,9</sup>、鏡 雅代<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、

<sup>2</sup> 東北大学大学院医学系研究科次世代小児医療講座、<sup>3</sup> 山梨大学医学部小児科学教室、

<sup>4</sup> 新潟大学医歯学総合病院小児科、<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター遺伝診療科、

<sup>6</sup> 国立成育医療研究センター内分泌代謝科、

<sup>7</sup> 国立成育医療研究センターダイバーシティ研究室、<sup>8</sup> 浜松医科大学医学部、

<sup>9</sup> 浜松医療センター小児科

**SP2-3 胎仔ライディッヒ細胞分化においてセルトリ非依存的経路である上皮間葉転換が重要な役割を果たす**

辻 敦美<sup>1,2</sup>、中谷 久恵<sup>1,2</sup>、陳 俊龍<sup>3</sup>、平林 美果<sup>2</sup>、寺尾 美穂<sup>2</sup>、菅原 亨<sup>3</sup>、土屋 育<sup>2,4</sup>、高澤 啓<sup>1</sup>、鹿島田 健一<sup>5</sup>、梅澤 明弘<sup>3</sup>、高田 修治<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野、

<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター研究所システム発生研究部、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター研究所再生医療センター細胞医療研究部、

<sup>4</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 NCCHD 分野、

<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター病院内分泌・代謝科

**SP2-4 XX 性腺から精巢への分化転換の分子機構解明と分化転換特異的セルトリ様細胞の発見**

桐野 玄<sup>1</sup>、辻 敦美<sup>1,2</sup>、中川 竜一<sup>1</sup>、我有 茉希<sup>1,3</sup>、安達 恵利子<sup>1</sup>、Analia Yogi<sup>1</sup>、中谷 久恵<sup>1</sup>、齋藤 洋子<sup>1</sup>、高澤 啓<sup>1</sup>、高田 修治<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野(小児科)、

<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター研究所システム発生研究部、

<sup>3</sup> 東京科学大学大学院先進倫理医科学分野、<sup>4</sup> 国立成育医療研究センター内分泌代謝科

**SP2-5 Umbilical Cord Mesenchymal Stem Cells from SGA infants show gene expression changes suggestive of future metabolic syndrome risk**

Yogi Analia<sup>1</sup>, Yusuke Noguchi<sup>1,4</sup>, Shizuka Kirino<sup>1,3</sup>, Eriko Adachi<sup>1,2</sup>, Hisae Nakatani<sup>1</sup>, Haruki Yamano<sup>1</sup>, Yoko Saito<sup>1</sup>, Atsumi Tsuji-Hosokawa<sup>1</sup>, Kei Takasawa<sup>1</sup>, Kenichi Kashimada<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> Dept. of Pediatrics and Developmental Biology, Institute of Science Tokyo, Medical School,

<sup>2</sup> Division of Endocrinology and Metabolism, National Center for Child Health and Development,

<sup>3</sup> Dept. of Pediatr., St. Luke International Hospital,

<sup>4</sup> Dept. of Neonatology, Musashino Red Cross Hospital

**English Oral Session 1 Pituitary, Growth**

**10月30日(木) 10:40 ~ 11:10 第4会場(ラ・テラス)**

Chairs Yuki Kawashima (Department of Pediatrics, Shimane University Faculty of Medicine)

Tsuyoshi Isojima (Department of Pediatrics, Toranomon Hospital)

**EO1-1 A fifteen-year-old boy with GH/PRL-secreting pituitary neuroendocrine tumor without excessive height growth**

Kenta Watanabe<sup>1</sup>, Yoshimi Okubo<sup>1</sup>, Tae Kimura<sup>1</sup>, Asako Tajima<sup>1</sup>, Yudo Ishii<sup>2</sup>, Miku Maeda<sup>3</sup>, Takuhiro Kawahara<sup>3</sup>, Ichiro Miyata<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Dept of Pediatr., The Jikei Univ. Sch. of Med.,

<sup>2</sup>Dept. of Neurosurgery, The Jikei Univ. Sch. of Med.,

<sup>3</sup>Dept. of Pathology, The Jikei Univ. Sch. of Med.

**EO1-2 Adult Height of Pediatric Patients with Growth Hormone Deficiency Treated with Somatrogen Administered Once Weekly: Data from 2 Clinical Studies**

Lisette Cespedes<sup>1</sup>, Agota Muzsnai<sup>2</sup>, Ron Rosenfeld<sup>3</sup>, John Choe<sup>4</sup>, Ronnie Wang<sup>5</sup>, Jose Cara<sup>1</sup>, Michael Wajnrajch<sup>1,6</sup>, Dmitri Raduk<sup>7</sup>, Nataliya Zelinska<sup>8</sup>, Lawrence Silverman<sup>9</sup>

<sup>1</sup>Pfizer Inc, New York, NY, USA,

<sup>2</sup>Buda Children's Hospital at North Buda Central Hospital, Budapest, Hungary,

<sup>3</sup>Oregon Health & Science University, Portland, OR, USA,

<sup>4</sup>OPKO Health Inc, Miami, FL, USA,

<sup>5</sup>Pfizer Inc, Groton, CT, USA,

<sup>6</sup>New York University, Grossman School of Medicine, New York, NY, USA,

<sup>7</sup>HCI 2nd Children's City Clinical Hospital, BelMAPO, Minsk, Belarus,

<sup>8</sup>Ukrainian Scientific and Practical Center of Endocrine Surgery, Transplantation Endocrine Organs and Tissues of the Ministry of Health of Ukraine, Kyiv, Ukraine,

<sup>9</sup>Goryeb Children's Hospital, Atlantic Health System, Morristown, NJ, USA

**EO1-3 First Real-World Evidence of Somapacitan Therapy Initiation in Children with GHD from GLOBE-Reg**

Abdulmoein Al-Agha<sup>1</sup>, Aristides Maniatis<sup>2</sup>, Dirk Schnabel<sup>3,4</sup>, Alberto Pietropoli<sup>5</sup>, Kirstine Belling<sup>6</sup>, Faisal Ahmed<sup>7,8</sup>, Primož Kotnik<sup>9,10</sup>

<sup>1</sup>Dept. of Pediatr. Endocrinology, King Abdul Aziz University,

<sup>2</sup>Rocky Mountain Pediatric Endocrinology, Centennial, Colorado, USA,

<sup>3</sup>Pediatr Endocrinology, Center for Chronically Sick Children, Charité Universitaetsmedizin, Berlin, Germany,

<sup>4</sup>INSIGHTS GHT Registry, Germany, <sup>5</sup>Novo Nordisk Health Care AG, Zurich, Switzerland,

<sup>6</sup>Novo Nordisk A/S, Søborg, Denmark,

<sup>7</sup>Developmental Endocrinology Research Group, University of Glasgow, Royal Hospital for Sick Children, Glasgow, UK,

<sup>8</sup>Office for Rare Conditions, Univ. of Glasgow, Glasgow, UK,

<sup>9</sup>Univ. Medical Centre, Ljubljana, Slovenia,

<sup>10</sup>Medical Faculty, Univ. of Ljubljana, Ljubljana, Slovenia

10月30日(木) 17:00 ~ 17:40 第3会場(グランドボールルームD)

Chairs Kanako Tanase-Nakao (Department of Molecular Endocrinology, National Research Institute for Child Health and Development)

Noriyuki Namba (Division of Pediatrics and Perinatology, Faculty of Medicine, Tottori University)

**EO2-1 Two Novel SLC5A5 Variants (Q263L and G350D) Causing Congenital Hypothyroidism**

Kiyomi Abe<sup>1,2,3</sup>, Mikiko Koizumi<sup>4</sup>, Takahiko Kogai<sup>5</sup>, Shinobu Ida<sup>4,6</sup>, Chiho Sugisawa<sup>7</sup>, Masanobu Kawai<sup>4</sup>, Tomonobu Hasegawa<sup>1,8</sup>, Satoshi Narumi<sup>1,9</sup>

<sup>1</sup>Dep. of Pediatr., Keio Univ. Sch. of Med., <sup>2</sup>Dep. of Pediatr., Saitama City Hosp.,

<sup>3</sup>Dep. of Pediatr., Tokyo Saiseikai Central Hosp.,

<sup>4</sup>Dep. of Gastroenterology, Nutrition and Endocrinology, Osaka Women's and Children's Hosp.,

<sup>5</sup>Dep. of Genetic Diagnosis and Laboratory Medicine, Dokkyo Med. Univ.,

<sup>6</sup>Dep. Laboratory Medicine, Osaka Women's and Children's Hosp.,

<sup>7</sup>Div. of Endocrinology and Metabolism, Dep. of Internal Medicine, Showa Medical Univ. Fujigaoka Hosp.,

<sup>8</sup> Kashiwa Tanaka Hosp.,

<sup>9</sup>Dep. of Molecular Endocrinology, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan

**EO2-2 Therapeutic plasma exchange resolves inflammation with increased peripheral glucocorticoid signaling in Kawasaki Disease**

Shuji Sai<sup>1,2</sup>, Soichiro Wada<sup>1</sup>, Shigetoshi Ogiwara<sup>1</sup>, Takuya Tamura<sup>1</sup>, Kiyoshi Nagumo<sup>1</sup>, Karen Chapman<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Dept. of Pediatr. Teine-Keijinkai Hospital, <sup>2</sup>IGM, Hokkaido Univ.,

<sup>3</sup>QMRI, Univ. of Edinburgh

**EO2-3 Clinical Improvement in Autosomal Dominant Hypophosphatemic Rickets Following Burosumab Administration**

Shuntaro Morikawa<sup>1</sup>, Nozomi Hishimura<sup>1</sup>, Megumi Endo<sup>1</sup>, Naoya Kaneko<sup>1</sup>, Toshihiro Tajima<sup>2</sup>, Akie Nakamura<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Dept. of Pediatr., Hokkaido Univ. Sch. of Med., <sup>2</sup>Dept. of Pediatr., Jichi Med. Univ.,

<sup>3</sup>Dept. of Mol. Endo., NCCHD

**EO2-4 Valproic acid caused severe vitamin D deficiency leading to seizure-induced a femoral neck fracture in a 14-year-old boy**

Yukie Deto<sup>1</sup>, Junko Oikawa<sup>1</sup>, Maki Matsuzawa<sup>1</sup>, Michihiko Ueno<sup>1</sup>, Yuhei Mogi<sup>2</sup>, Hideto Irifune<sup>2</sup>, Shuji Sai<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Dept. of Pediatr., Teine-Keijinkai Hospital, <sup>2</sup>Dept. of Orthop. Surg., Teine-Keijinkai Hospital

10月31日(金) 8:25~9:05 第4会場(ラ・テラス)

Chairs Yukiyo Yamamoto (Department of Medical Education, University of Occupational and Environmental Health, Japan)

Tomozumi Takatani (Department of Pediatrics, Dokkyo Medical University Saitama Medical Center)

### **EO3-1 Mediating Role of AI-Derived Insulin Resistance in the Association Between Obesity and Fatty Liver Disease**

Yu-Jung Lin<sup>1</sup>, I-Hsin Huang<sup>1,2</sup>, Wei-Ju Liu<sup>1,2</sup>, Chia-Lin Lee<sup>1,2,3,4,5</sup>

<sup>1</sup>Department of Medical Research, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>2</sup>Department of Digital Medicine, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>3</sup>Department of Internal Medicine, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>4</sup>Department of Post-Baccalaureate Medicine, College of Medicine, National Chung Hsing University,

<sup>5</sup>Department of Medicine, School of Medicine, National Yang-Ming Chiao Tung University

### **EO3-2 Association Between Mediterranean Diet and AI-Derived Insulin Resistance With Cardiovascular Mortality in Patients With Diabetes**

Wei-Ju Liu<sup>1,2</sup>, Tony Pan-Hou Che<sup>3</sup>, Yu-Jung Lin<sup>2</sup>, I-Hsin Huang<sup>1,2</sup>, Chia-Lin Lee<sup>1,2,4,5,6</sup>,

Yi-Cheng Chang<sup>7,8,9</sup>

<sup>1</sup>Department of Digital Medicine, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>2</sup>Department of Medical Research, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>3</sup>Program in Translational Medicine, National Taiwan University and Academia Sinica,

<sup>4</sup>Division of Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine,

<sup>5</sup>Department of Post-Baccalaureate Medicine, College of Medicine, National Chung Hsing University,

<sup>6</sup>Department of Medicine, School of Medicine, National Yang-Ming Chiao Tung University,

<sup>7</sup>Graduate Institute of Medical Genomics and Proteomics, National Taiwan University,

<sup>8</sup>Institute of Biomedical Sciences, Academia Sinica, Taipei, Taiwan,

<sup>9</sup>Department of Internal Medicine, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan

### **EO3-3 Tracking phenomenon in the annual trends of HbA1c in children and adolescents with type 1 diabetes in prospective cohort studies, regardless of treatment methods**

Toru Kikuchi<sup>1,2</sup>, Yukiyo Yamamoto<sup>1,3</sup>, Yoshiya Ito<sup>1,4</sup>, Tomoyuki Kawamura<sup>1,5</sup>,

Tatsuhiko Urakami<sup>1,6</sup>, Shiga Kentaro<sup>1,7</sup>,

On behalf of the Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes (JSGIT),

<sup>2</sup>Dept.of Pediatr, Saitama Medical University, Saitama,

<sup>3</sup>Director of Medical Education, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health,

<sup>4</sup>Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing,

<sup>5</sup>Dept.of Pediatr, Osaka Metropolitan University Graduate School,

<sup>6</sup>Dept.of Pediatr, Nihon University Hospital,

<sup>7</sup>Dept. of Pediatr, Yokohama City University Medical Center

### EO3-4 Estimating the Individual-Level Causal Effects of Adiposity on Fatty Liver Disease Through Insulin Resistance: A Causal Machine Learning Approach

I-Hsin Huang<sup>1,2</sup>, Yu-Jung Lin<sup>2</sup>, Wei-Ju Liu<sup>1,2</sup>, Chia-Lin Lee<sup>1,2,3,4,5</sup>

<sup>1</sup>Division of Artificial Intelligence, Department of Digital Medicine,

<sup>2</sup>Intelligent Data Mining Laboratory, Department of Medical Research, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>3</sup>Division of Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Taichung Veterans General Hospital,

<sup>4</sup>Department of Post-Baccalaureate Medicine, College of Medicine, National Chung Hsing University,

<sup>5</sup>Department of Medicine, School of Medicine, National Yang-Ming Chiao Tung University, Taipei, Taiwan

## English Oral Session 4 Obesity, Underweight, Nutrition, Lipid Metabolism

10月31日(金) 16:30 ~ 17:00 第4会場(ラ・テラス)

Chairs Junko Ito (Department of Pediatrics, Toranomon Hospital)

Tomohiro Ishii (Department of Endocrinology and Metabolism, Tokyo Metropolitan Children's Medical Center)

### EO4-1 Real-world setmelanotide changes in BMI in French patients with acquired hypothalamic obesity

Pauline Faucher<sup>1</sup>, Sarah Chalopin<sup>1</sup>, Frederique Albarel<sup>2</sup>, Ahlam Azar-Kolakez<sup>3</sup>, Natacha Bouhours<sup>4</sup>, Jean-Claude Carel<sup>3</sup>, Regis Coutant<sup>4</sup>, Justine Cristante<sup>5</sup>, Nicolas Farigon<sup>6</sup>, Blandine Gatta-Cherifi<sup>7</sup>, Iva Gueorguieva<sup>8</sup>, Marie Hoflack<sup>9</sup>, Dunlanjalee Kariyawasam<sup>10</sup>, Marie Michelet<sup>7</sup>, Patricia Pigeon Kherchiche<sup>11</sup>, Veronique Savey<sup>12</sup>, Berenice Segrestin<sup>13</sup>, Caroline Storey<sup>3</sup>, Geraldine Vitellius<sup>14</sup>, Karine Clement<sup>1</sup>, Christine Poitou<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Assistance Publique Hopitaux de Paris, Sorbonne Univ., Service de Nutrition, Hopital de la Pitie-Salpetriere, Paris, France,

<sup>2</sup>Conception Hosp. AP-HM, Endocrinology Dept., Marseille, France,

<sup>3</sup>Robert-Debre Hosp. APHP, Pediatric Endocrinology-Diabetology Dept., Paris, France,

<sup>4</sup>Univ. Hosp. of Angers, Pediatric Endocrinology and Diabetology Unit, Angers, France,

<sup>5</sup>Univ. Hosp. of Grenoble, Nutrition and Endocrinology Dept., Grenoble, France,

<sup>6</sup>Univ. Hosp. of Clermont-Ferrand, Clinical Nutrition Dept., Clermont-Ferrand, France,

<sup>7</sup>Univ. Hosp. of Bordeaux, Dept. of Endocrinology, Diabetology and Nutrition, Bordeaux, France,

<sup>8</sup>Jeanne de Flandre Hosp., Pediatric Endocrinology Dept., Lille, France,

<sup>9</sup>Lenval Foundation, Pediatric Endocrinology Dept., Nice, France,

<sup>10</sup>Necker-Enfants Malades Hosp. APHP, Pediatric Endocrinology, Diabetology and Gynecology Dept., Paris, France,

<sup>11</sup>Felix Guyon Hosp., Pediatric Dept., Saint-Denis, La Réunion, France,

<sup>12</sup>Caen-Normandy Hosp., Hepato-Gastroenterology and Nutrition Dept., Caen, France,

<sup>13</sup>Lyon Sud Hosp., Endocrinology Dept., Lyon, France,

<sup>14</sup>Robert-Debré Univ. Hosp. of Reims, Endocrinology, Diabetology and Nutrition Dept., Reims, France

**EO4-2 Efficacy and Safety of Setmelanotide in Acquired Hypothalamic Obesity: Results from a Double-Blind, Multicenter, Placebo-Controlled, Randomized Phase 3 Trial**

Susan A. Phillips<sup>1,18</sup>, Hanneke M. Van Santen<sup>2,3,18</sup>, Jill Hamilton<sup>4,18</sup>, Ashley Shoemaker<sup>5,18</sup>, Shana E. McCormack<sup>6,7,18</sup>, M. Jennifer Abuzzahab<sup>8,18</sup>, Martin Wabitsch<sup>9,18</sup>, Mehul T. Dattani<sup>10,11,18</sup>, Tomohiro Tanaka<sup>12,18</sup>, Cecilia Scimia<sup>13,18</sup>, Guojun Yuan<sup>13,18</sup>, Hermann L. Muller<sup>14,18</sup>, Christian L. Roth<sup>15,16,18</sup>, Jennifer Miller<sup>17,18</sup>, TRANSCEND Trial Group member<sup>18</sup>

<sup>1</sup>Pediatric Endocrinology, Univ. of California San Diego/Rady Children's Hosp., San Diego, CA, USA,

<sup>2</sup>Princess Maxima Center for Pediatric Oncology, Utrecht, the Netherlands,

<sup>3</sup>Dept. of Pediatric Endocrinology, Wilhelmina Children's Hosp., Univ. Medical Center Utrecht, Utrecht, the Netherlands,

<sup>4</sup>Division of Endocrinology, Hosp. for Sick Children, Dept. of Paediatrics, Univ. of Toronto, Toronto, Canada,

<sup>5</sup>Ian Burr Division of Endocrinology and Diabetes, Vanderbilt Univ. Medical Center, Nashville, TN, USA,

<sup>6</sup>Division of Pediatric Endocrinology and Diabetes, Children's Hosp. of Philadelphia, Philadelphia, PA, USA,

<sup>7</sup>Perelman School of Medicine at the Univ. of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA,

<sup>8</sup>Pediatric Endocrinology and Diabetes, Children's Minnesota, St Paul, MN, USA,

<sup>9</sup>Division of Pediatric Endocrinology and Diabetes, Dept. of Pediatrics and Adolescent Medicine, Univ. Center Ulm, Ulm, Germany,

<sup>10</sup>Dept. of Paediatric Endocrinology, Great Ormond Street Children's Hosp., London, UK,

<sup>11</sup>Genetics and Genomic Medicine Research and Teaching Dept., UCL GOS Institute of Child Health, London, UK,

<sup>12</sup>Gastroenterology and Metabolism, Graduate School of Medical Sciences and Medical School, Nagoya City Univ., Nagoya, Japan,

<sup>13</sup>Rhythm Pharmaceuticals, Inc., Boston, MA, USA,

<sup>14</sup>Dept. of Pediatrics and Pediatric Hematology/Oncology, Univ. Children's Hosp., Carl Von Ossietzky Universitat, Klinikum Oldenburg AoR, Oldenburg, Germany,

<sup>15</sup>Seattle Children's Research Institute, Seattle, WA, USA,

<sup>16</sup>Division of Endocrinology, Dept. of Pediatrics, Univ. of Washington, Seattle, WA, USA,

<sup>17</sup>Pediatric Endocrinology, Dept. of Pediatrics, College of Medicine, Univ. of Florida, Gainesville, FL, USA,

<sup>18</sup>TRANSCEND Trial Group

**EO4-3 Patient- and caregiver-reported experiences of hunger, weight, and energy in acquired hypothalamic obesity before and during setmelanotide treatment**

Christian L. Roth<sup>1,2</sup>, Ashley H. Shoemaker<sup>3</sup>, Claire Ervin<sup>4</sup>, Lindsey Norcross<sup>4</sup>, Sheri Fehnel<sup>4</sup>, Caroline Huber<sup>5</sup>, Cecilia Scimia<sup>5</sup>, M. Jennifer Abuzzahab<sup>6</sup>

<sup>1</sup>Seattle Children's Research Institute, Seattle, WA,

<sup>2</sup>Division of Endocrinology, Dept of Pediatrics, Univ. of Washington, Seattle, WA,

<sup>3</sup>Ian Burr Division of Endocrinology and Diabetes, Vanderbilt Univ. Medical Center, Nashville, TN,

<sup>4</sup>RTI Health Solutions, Research Triangle Park, NC,

<sup>5</sup>Rhythm Pharmaceuticals, Inc., Boston, MA,

<sup>6</sup>Pediatric Endocrinology and Diabetes, Children's Minnesota, Saint Paul, MN

11月1日(土) 11:15 ~ 11:45 第4会場(ラ・テラス)

Chairs Satomi Koyama (Dokkyo Medical University Saitama Medical Center)  
Kenichi Kashimada (Division of Endocrinology and Metabolism, NCCHD)

### E05-1 Epidemiology of acquired hypothalamic obesity in pediatric patients: A Japanese hospital database analysis

Tomohiro Tanaka<sup>1</sup>, Katsushi Takeda<sup>1</sup>, Hiroshi Takagi<sup>2</sup>, Kylie Braegelmann<sup>3</sup>, Julian Witte<sup>3</sup>, Charles Savoie<sup>4</sup>, Hiroshi Arima<sup>5</sup>, Hermann Lothar Muller<sup>6</sup>

<sup>1</sup>Dpt. of Gastroenterology and Metabolism, Nagoya City Univ. Graduate School of Medical Sciences,

<sup>2</sup>Dpt. of Endocrinology and Diabetology, Nagoya City Univ. East Medical Center,

<sup>3</sup>Vandage GmbH, Bielefeld, Germany, <sup>4</sup>Rhythm Pharmaceuticals, Boston, MA, USA,

<sup>5</sup>Dpt. of Endocrinology and Diabetes, Graduate School of Medicine, Nagoya Univ.,

<sup>6</sup>Carl von Ossietzky Universitat Oldenburg, Oldenburg, Germany

### E05-2 Withdrawn

### E05-3 Long-term Efficacy Results of Diazoxide Choline Extended-Release (DCCR) Tablets in Participants with Prader-Willi Syndrome from the Completed C601 (DESTINY PWS) and C602 Open Label Extension (OLE) Studies

Evelien Gevers<sup>1,2</sup>, Nicola Bridges<sup>3</sup>, Jack Yanovski<sup>4</sup>, Eric Felner<sup>5</sup>, Parisa Salehi<sup>6</sup>, Ashley Hall Shoemaker<sup>7</sup>, Amy Fleischman<sup>8</sup>, Anthony Goldstone<sup>9</sup>, Moris Angulo<sup>10</sup>, David Stevenson<sup>11</sup>, Kathryn Obrynba<sup>12</sup>, M Guftar Shaikh<sup>13</sup>, Anthony Holland<sup>14</sup>, Verghese Mathew<sup>15</sup>, David Viskochil<sup>16</sup>, Shawn E. McCandless<sup>17</sup>, Lynne Bird<sup>18,19</sup>, Melissa Lah<sup>20</sup>, Virginia Kimonis<sup>21</sup>, Jennifer Abuzzahab<sup>22</sup>, Laura Konczal<sup>23</sup>, Elizabeth Littlejohn<sup>24</sup>, Heidi Shea<sup>25</sup>, Poonam Dharmaraj<sup>26</sup>, Urmi Das<sup>26</sup>, Jorge Mejia-Corletto<sup>27</sup>, John Wilding<sup>28</sup>, Katerina Harwood<sup>29</sup>, Kristen Yen<sup>30</sup>, Raj Gandhi<sup>30</sup>, Jing Gong<sup>30</sup>, Patricia Hirano<sup>30</sup>, Neil Cowen<sup>30</sup>, Anish Bhatnagar<sup>30</sup>, Michael Huang<sup>30</sup>, Merlin Butler<sup>31</sup>, Jennifer Miller<sup>32</sup>

<sup>1</sup>Queen Mary Univ. of London, Barts and the London Med. Sch., William Harvey Research Inst., Ctr. for Endocrinology,

<sup>2</sup>Barts Health NHS Trust, Royal London Hosp., <sup>3</sup>Chelsea and Westminster Hosp. NHS Trust,

<sup>4</sup>National Inst. of Child Health and Human Develop., National Inst. of Health,

<sup>5</sup>Emory Univ. Sch. of Med., <sup>6</sup>Seattle Children's, <sup>7</sup>Vanderbilt Univ. Med. Ctr.,

<sup>8</sup>Boston Children's Hosp., <sup>9</sup>Imperial College London Healthcare NHS Trust,

<sup>10</sup>Good Samaritan Hosp. Pediatr., <sup>11</sup>Stanford Univ., <sup>12</sup>Nationwide Children's Hosp.,

<sup>13</sup>Royal Hosp. for Child., <sup>14</sup>Univ. of Cambridge, <sup>15</sup>Hull Univ. Teaching Hosp. NHS Trust,

<sup>16</sup>Univ. of Utah, Salt Lake City, UT, USA,

<sup>17</sup>Univ. of Colorado, Children's Hosp. Colorado, Aurora, CO, USA,

<sup>18</sup>Univ. of California San Diego, San Diego, CA, USA,

<sup>19</sup>Rady Children's Hosp., San Diego, CA, USA,

<sup>20</sup>Indiana Univ. Sch. of Med, Indianapolis, IN, USA,

<sup>21</sup>Univ. of California, Irvine Medical Center, Irvine, CA, USA,

<sup>22</sup>Children's Minnesota, St. Paul, MN, USA, <sup>23</sup>Univ. Hosp. of Cleveland, Cleveland, OH, USA,

<sup>24</sup>Univ. of Michigan Health-Sparrow, Lansing, MI, USA,

<sup>25</sup>Endocrine Associates of Dallas, Plano, TX, USA,

<sup>26</sup>Alder Hey Children's NHS Foundation Trust, Liverpool, UK,

<sup>27</sup>New York Univ. Langone Hosp., Garden City, NY, USA,

- <sup>28</sup>Aintree Univ. Hosp, Liverpool, UK, <sup>29</sup>St. Joseph's Children's Hosp., Paterson, NJ, USA,  
<sup>30</sup>Soleno Therapeutics, Inc., Redwood City, CA, USA,  
<sup>31</sup>Kansas Univ. Medical Center, Kansas City, KS, USA,  
<sup>32</sup>Univ. of Florida, Gainesville, FL, USA

## 一般口演 1 下垂体・成長 1

10月30日(木) 10:40 ~ 11:40 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 永原 敬子(昭和医科大学医学部小児科学講座)  
内木 康博(国立成育医療研究センター内科系専門診療部内分泌代謝科)

### O1-1-1 学校健診における新規成長曲線異常判定プログラム

和田 啓介<sup>1</sup>、鞆嶋 有紀<sup>1</sup>、小林 弘典<sup>2</sup>、鬼形 和道<sup>1</sup>、竹谷 健<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>島根大学医学部小児科、<sup>2</sup>島根大学医学部附属病院検査部

### O1-1-2 ACAN バリエントを有した低身長症 10 例に対する遺伝学的特徴と臨床像の検討

大矢知 真希<sup>1</sup>、鈴木 敦詞<sup>1,2</sup>、原 佑太郎<sup>1</sup>、吉田 あや<sup>1,3</sup>、山口 直哉<sup>1</sup>、青山 幸平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、<sup>2</sup>岐阜県立多治見病院小児科、  
<sup>3</sup>一宮市立市民病院小児科

### O1-1-3 電動デバイス連携アプリケーションのリアルデータからみた国内 GH 治療の実態とアドヒアランス関連因子の検討

宇都宮 朱里<sup>1,2</sup>、小野 泰輔<sup>3</sup>、内田 直幸<sup>1</sup>、佐久間 佳子<sup>1</sup>、小野 浩明<sup>1</sup>、荒新 修<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>広島市立北部医療センター安佐市民病院、<sup>2</sup>広島大学大学院医系科学研究科、  
<sup>3</sup>広島大学病院小児科

### O1-1-4 N- グリコシル化モチーフを破壊し ALS 欠損症を引き起こした IGFALS ホモ接合性バリエント

土井 響<sup>1,2</sup>、影山 郁子<sup>1</sup>、福井 由宇子<sup>1</sup>、服部 淳<sup>1</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>、志村 直人<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、  
<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科次世代小児医療講座、<sup>3</sup>東京臨海病院小児科

### O1-1-5 SGA 性低身長症における初診時 BMI と成長ホルモンによる治療効果の関連

藤本 実優、田邊 裕子、野村 直宏、見浪 実紀、金子 一成  
関西医科大学

### O1-1-6 GH1 遺伝子にヘテロ接合性にミスセンス変異 (H44Y) を有する顕性遺伝性成長ホルモン分泌不全性低身長症の 1 家系

大串 健一郎<sup>1</sup>、安藏 慎<sup>1</sup>、曾根田 瞬<sup>1</sup>、服部 淳<sup>2</sup>、深見 真紀<sup>2</sup>、清水 直樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学病院小児科、<sup>2</sup>国立成育医療研究センター 分子内分泌研究部

## 一般口演 2 性腺・性分化疾患・思春期 1

10月30日(木) 10:40 ~ 11:40 第2会場(グランドボールルーム C)

座長 尾崎 佳代(兵庫県立こども病院代謝内分泌科)  
小野 真(千葉市立海浜病院小児科)

### O1-2-1 思春期遅発症における臨床学的・分子遺伝学的解析

佐藤 直子<sup>1,2,3</sup>、小笠原 敦子<sup>4</sup>、門脇 弘子<sup>5</sup>、曾根田 瞬<sup>2</sup>、岸 健太郎<sup>2</sup>、野田 雅裕<sup>2</sup>、  
師岡 直輝<sup>2</sup>、田中 敏章<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>なみファミリークリニック、<sup>2</sup>たなか成長クリニック、<sup>3</sup>東京大学医学部附属病院、  
<sup>4</sup>茨城県立こども病院、<sup>5</sup>帝京大学医学部附属溝口病院

**O1-2-2 思春期の時期が成人身長に及ぼす影響～秋田県健常男子における検討～**田中 敏章<sup>1</sup>、岸 健太郎<sup>1,2</sup>、曾根田 瞬<sup>1,3</sup>、吉井 啓介<sup>4</sup>、横谷 進<sup>5</sup><sup>1</sup> たなか成長クリニック、<sup>2</sup> 市川ゆうサポートクリニック、<sup>3</sup> 聖マリアンナ医科大学小児科、  
<sup>4</sup> 国立成育医療研究センター 内分泌代謝科、  
<sup>5</sup> 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター**★ O1-2-3 思春期遅発男子の成長学的特徴～秋田県健常小児における検討～**田中 敏章<sup>1</sup>、岸 健太郎<sup>1,2</sup>、曾根田 瞬<sup>1,3</sup>、吉井 啓介<sup>4</sup>、横谷 進<sup>5</sup><sup>1</sup> たなか成長クリニック、<sup>2</sup> 市川ゆうサポートクリニック、<sup>3</sup> 聖マリアンナ医科大学小児科、  
<sup>4</sup> 国立成育医療研究センター 内分泌代謝科、  
<sup>5</sup> 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター**O1-2-4 中枢性思春期早発症を契機に診断に至った USP9X 女児の一例**高橋 郁子<sup>1</sup>、小山 千嘉子<sup>1,2</sup>、大高 新<sup>1</sup>、野口 篤子<sup>1</sup>、山田 茉未子<sup>3</sup>、鈴木 寿人<sup>3</sup>、  
小崎 健次郎<sup>3</sup>、高橋 勉<sup>1</sup><sup>1</sup> 秋田大学大学院医学系研究科小児科学講座、<sup>2</sup> 大曲厚生医療センター、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター**★ O1-2-5 成長曲線を用いた学校健診が明らかにした思春期早発症****—220 例からみる病型・診断契機の変化—**小林 舞子<sup>1</sup>、澤野 堅太郎<sup>2</sup>、湯尻 顕伍<sup>1</sup>、倉田 吉國<sup>1</sup>、正根知 優子<sup>1</sup>、和田 水生<sup>1</sup>、  
太刀川 潤<sup>1</sup>、山田 慧<sup>1</sup>、黒沢 大樹<sup>1</sup>、山中 崇之<sup>1</sup>、鳥越 司<sup>1</sup>、塚野 喜恵<sup>1</sup>、小川 洋平<sup>2</sup>、  
阿部 裕樹<sup>1</sup><sup>1</sup> 新潟市民病院小児科、<sup>2</sup> 新潟大学歯学総合病院小児科**O1-2-6 中枢性思春期早発症における病因の変化：福岡市の中枢性思春期早発症コホート 409 例の検討**牧村 美佳<sup>1,2</sup>、八ッ賀 秀一<sup>3</sup>、虫本 雄一<sup>4</sup>、古賀 信彦<sup>3</sup>、安部 希<sup>4</sup>、トカン ヴラッド<sup>4</sup>、  
石井 加奈子<sup>4</sup>、都 研一<sup>2</sup><sup>1</sup> 国立病院機構小倉医療センター小児科、<sup>2</sup> 福岡市立こども病院内分泌・代謝科、  
<sup>3</sup> 福岡大学病院小児科、<sup>4</sup> 九州大学病院小児科**一般口演 3 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 1****10月30日(木) 10:40～11:40 第3会場(グランドボールルームD)**

座長 道上 敏美(大阪母子医療センター研究所)

窪田 拓生(大阪母子医療センター腎・代謝科)

**O1-3-1 当院で過去 14 年に経験した骨形成不全症の 18 例**円山 牧子<sup>1</sup>、武内 香菜子<sup>1</sup>、熊田 寛子<sup>1</sup>、内海 孝法<sup>1</sup>、坂田 園子<sup>2</sup>、香川 礼子<sup>1</sup>、  
岡田 賢<sup>1</sup><sup>1</sup> 広島大学大学院医学系科学研究科小児科学、<sup>2</sup> 県立広島病院小児科**O1-3-2 Alu 配列が関与する COL1A1 遺伝子欠失を認めた骨形成不全症の一家系**山本 賢一<sup>1,2</sup>、中山 尋文<sup>2,3</sup>、島田 貴明<sup>2</sup>、植田 郁実<sup>2</sup>、石見 壮史<sup>2</sup>、山田 知絵子<sup>2</sup>、  
中野 由佳子<sup>2</sup>、藤原 誠<sup>2</sup>、大幡 泰久<sup>2</sup>、窪田 拓生<sup>2,4</sup>、北島 康司<sup>2</sup><sup>1</sup> 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻、<sup>2</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、  
<sup>3</sup> 大阪大学歯学部歯学研究科顎顔面口腔外科学、<sup>4</sup> 大阪母子医療センター腎・代謝科**O1-3-3 骨形成不全症 3 型における中長期的な治療経過：分節骨切り・髄内釘固定術の有用性**籾生 なおみ<sup>1,3</sup>、根本 千裕<sup>1</sup>、金子 拓弥<sup>1</sup>、滝崎 奈穂<sup>1</sup>、花川 純子<sup>1</sup>、大庭 真俊<sup>2</sup>、  
中村 直行<sup>2</sup>、室谷 浩二<sup>1,3</sup><sup>1</sup> 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、<sup>2</sup> 神奈川県立こども医療センター整形外科、  
<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部小児科

- O1-3-4 小児骨形成不全症 1 型患者へのパミドロン酸治療が Trabecular Bone Score に与える影響**  
市橋 洋輔<sup>1</sup>、中野 さつき<sup>2</sup>、柴田 浩憲<sup>3</sup>、佐藤 武志<sup>1</sup>、石井 智弘<sup>1,4</sup>、長谷川 奉延<sup>1,5</sup>  
<sup>1</sup> 慶応義塾大学医学部小児科、<sup>2</sup> さいたま市立病院小児科、<sup>3</sup> 川崎市立川崎病院小児科、  
<sup>4</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌代謝科、<sup>5</sup> 柏たなか病院
- O1-3-5 ヒト人工多能性幹細胞由来軟骨細胞における分化段階別 IGF-1 の軟骨肥大作用の変化**  
藤本 正伸、妹尾 慎太郎、磯田 優子、山口 由起子、難波 範行  
鳥取大学医学部周産期・小児医学分野
- O1-3-6 ヒト人工多能性幹細胞由来の軟骨細胞における IGF1 シグナルの内因的な制御機構**  
妹尾 慎太郎、藤本 正伸、磯田 優子、山口 由起子、難波 範行  
鳥取大学医学部周産期・小児医学分野

## 一般口演 4 下垂体・成長 2

10月30日(木) 17:00 ~ 18:00 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 佐藤 直子(東京大学大学院医学系研究科小児医学講座小児科)  
伊達木澄人(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学)

- O1-4-1 週 1 回製剤と連日製剤の小児長ホルモン分泌不全性低身長児 (GHD) における治療成績比較**  
飛梅 斎  
福山市民病院小児科
- O1-4-2 特発性低身長症における ACAN 反復配列多型の寄与は限定的である**  
中村 紗佑里<sup>1,2,3</sup>、黒木 陽子<sup>4,5,6</sup>、朴 慶純<sup>7</sup>、上牧 務<sup>8</sup>、望月 貴博<sup>9</sup>、石黒 精<sup>10</sup>、  
庄司 健介<sup>2</sup>、深見 真紀<sup>16</sup>  
<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、  
<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター教育研修センター、<sup>3</sup> 東北大学医学部次世代小児医療講座、  
<sup>4</sup> 国立成育医療研究センターゲノム医療研究部、<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター共同研究管理室、  
<sup>6</sup> 国立成育医療研究センターダイバーシティ研究室、  
<sup>7</sup> 国立成育医療研究センター臨床研究センター、<sup>8</sup> 静岡市立清水病院小児科、  
<sup>9</sup> 希望の森成長発達クリニック、<sup>10</sup> 国立病院機構災害医療センター小児科
- O1-4-3 riGHt 試験(小児成長ホルモン分泌不全性低身長症に対するロナベグソマトロピンの第3相試験) 52 週間の結果**  
吉田 さやか<sup>1</sup>、飛梅 斎<sup>2</sup>、樋口 洋介<sup>3</sup>、難波 範行<sup>4</sup>、森 潤<sup>5</sup>、岩山 秀之<sup>6</sup>、齋藤 玲子<sup>7</sup>、  
尾崎 佳代<sup>8</sup>、長崎 啓祐<sup>9</sup>、高橋 利和<sup>10</sup>、内木 康博<sup>11</sup>、Li MeiHua<sup>12</sup>、Ikle Jennifer M<sup>13</sup>、  
Komirenko Allison Seiko<sup>13</sup>、Kang Jennifer<sup>13</sup>、Hu Yetao<sup>13</sup>、Domrzalski Laurie<sup>13</sup>、Lai Pamela<sup>13</sup>、  
Shu Aimee D<sup>13</sup>、堀川 玲子<sup>11</sup>  
<sup>1</sup> 奈良県総合医療センター小児科、<sup>2</sup> 福山市民病院小児科、<sup>3</sup> 岡山医療センター小児科、  
<sup>4</sup> 鳥取大学医学部附属病院周産期・小児医学分野、  
<sup>5</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、<sup>6</sup> 愛知医科大学病院小児科、  
<sup>7</sup> 産業医科大学病院小児科、<sup>8</sup> 兵庫県立こども病院代謝内分泌科、  
<sup>9</sup> 新潟大学医歯学総合病院小児科、<sup>10</sup> たかはしクリニック、  
<sup>11</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>12</sup> ICON Biotech、<sup>13</sup> Ascendis Pharma, Inc
- O1-4-4 X 染色体不活性化は SHOX 発現量の性差を介して成人身長性の性差に寄与する**  
服部 淳<sup>1,2</sup>、関 敦仁<sup>3</sup>、福井 由宇子<sup>1</sup>、緒方 勤<sup>4</sup>、深見 真紀<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、  
<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、  
<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター小児外科系専門診療部整形外科、<sup>4</sup> 浜松医科大学

**O1-4-5 小児 GHD 患児における週 1 回ソマプシタン投与の長期有効性および安全性：REAL 3 試験 7 年間の結果**

森 潤<sup>1</sup>、Savendahl Lars<sup>2</sup>、Battelino Tadej<sup>3</sup>、Hojby Michael<sup>4</sup>、Leunbach Tina<sup>4</sup>、  
Saenger Paul<sup>5</sup>、Silverman Lawrence<sup>6</sup>、Horikawa Reiko<sup>7</sup>

<sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、

<sup>2</sup> Pediatr Endocrinol, Karolinska Univ Hosp and Dept Women's and Child Health, Karolinska Inst, Sweden、

<sup>3</sup> Fac Med, Univ Ljubljana, and Univ Med Ctr Ljubljana, Slovenia、

<sup>4</sup> Novo Nordisk A/S, Denmark、<sup>5</sup> NYU Langone Health, Mineola, USA、

<sup>6</sup> Goryeb Child Hosp, Atlantic Health Syst, USA、<sup>7</sup> 国立成育医療研究センター

**O1-4-6 特発性低身長に対する全エクソームシーケンス解析～成長障害の病態解明**

鞆嶋 有紀<sup>1</sup>、甲斐 政親<sup>2</sup>、足立 香織<sup>3</sup>、永松 扶紗<sup>4</sup>、中村 千鶴子<sup>5</sup>、柴崎 拓実<sup>6</sup>、  
足立 夏帆<sup>7</sup>、田中 裕之<sup>7</sup>、和田 啓介<sup>1</sup>、小林 弘典<sup>8</sup>、竹谷 健<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 島根大学医学部小児科、<sup>2</sup> 鳥取大学技術部化学・バイオ生命部門、

<sup>3</sup> 鳥取大学研究推進機構研究基盤センター、<sup>4</sup> 熊本大学病院小児科、

<sup>5</sup> 長野県立こども病院内分泌代謝科、<sup>6</sup> 信州大学医学部小児医学教室、

<sup>7</sup> 東京大学医学部附属病院小児科、<sup>8</sup> 島根大学医学部附属病院検査部

**一般口演 5 糖代謝・糖尿病・低血糖 1**

10月30日(木) 17:00～18:00 第2会場(グランドボールルームC)

座長 細川 悠紀(倉敷中央病院小児科)

鈴木 潤一(日本大学小児科学系小児科学分野)

**O1-5-1 新潟県の学校検尿で発見された小児 1 型糖尿病における糖尿病性ケトアシドーシスの検討**

澤野 堅太郎、田所 宏啓、小貫 孝則、入月 浩美、小川 洋平、齋藤 昭彦  
新潟大学医歯学総合病院

**O1-5-2 学校検尿を契機に発見される 1 型糖尿病の病型と臨床経過について**

志賀 健太郎、小松 洋介、沼沢 慶太  
横浜市立大学附属市民総合医療センター

**O1-5-3 ランダム血清 C ペプチドは小児糖尿病における早期病型分類およびインスリン導入の要否判断に有用である**

沼沢 慶太、小松 洋介、志賀 健太郎  
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

**★ O1-5-4 HbA1c 値の個別性に脱グリケーション酵素活性が関与する；FN3K の一塩基多型解析**

武者 育麻<sup>1,2</sup>、川名 宏<sup>1</sup>、沼倉 周彦<sup>1,2</sup>、大竹 明<sup>1,2</sup>、菊池 透<sup>1</sup>、雨宮 伸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 埼玉医科大学病院小児科、<sup>2</sup> 埼玉医科大学病院ゲノム医療科

**O1-5-5 血清オキシトシンは血清レプチンおよび体格指数と相関する**

高屋 淳二<sup>1</sup>、野村 直宏<sup>2</sup>、見浪 実紀<sup>2</sup>、中井 陽子<sup>1</sup>、山岸 満<sup>1</sup>、田邊 裕子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 河内総合病院小児科、<sup>2</sup> 関西医科大学小児科

**O1-5-6 軽症型 Rabson-Mendenhall 症候群女児におけるインスリン抵抗性糖尿病：SGLT2 阻害薬の有用性について**

増永 陽平<sup>1,2</sup>、金城 健一<sup>1</sup>、村井 雄紀<sup>1,3</sup>、藤澤 泰子<sup>1</sup>、才津 浩智<sup>2</sup>、緒方 勤<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup> 浜松医科大学小児科、<sup>2</sup> 浜松医科大学医化学、<sup>3</sup> 浜松医療センター小児科

10月31日(金) 8:25~9:25 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 鏡 雅代(国立成育医療研究センター分子内分泌研究部)  
齋 秀二(手稲溪仁会病院小児科)

**O2-6-1 ヌーナン症候群患児における週1回投与ソマブシタンの有効性と安全性：第3相臨床試験**

森 潤<sup>1</sup>、Jorge Alexander A.L.<sup>2</sup>、Albanese Assunta<sup>3</sup>、Hojby Michael<sup>4</sup>、Soltysik Kamil<sup>4</sup>、  
Edouard Thomas<sup>5</sup>、Grandone Anna<sup>6</sup>、Tansey Michael<sup>7</sup>

<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、

<sup>2</sup>Genet Endocrinol Unit (LIM25), Hosp Clin Fac Med Univ, Brazil、

<sup>3</sup>Endocr Pediatr Unit, St George's Univ Hosp, NHS Found Trust, UK、

<sup>4</sup>Novo Nordisk A/S, Denmark、

<sup>5</sup>Endocr, Bone Dis, Genet Unit, Ref Ctr Endocr Dis Growth Dev, FIREENDO Netw, Child Hosp, Toulouse Univ Hosp, Restore Inst, France、

<sup>6</sup>Dept. of Woman, Child and Gen. and Specialized Surgery, Univ. of Campania "Luigi Vanvitelli", Italy、

<sup>7</sup>Univ. of Iowa, Iowa City, IA, USA

**O2-6-2 Noonan 症候群との鑑別を要した 16q12.2q13 欠失の女児例**

伊藤 順庸<sup>1</sup>、一ノ瀬 万莉<sup>1</sup>、伊川 泰広<sup>1</sup>、新井田 要<sup>2</sup>

<sup>1</sup>金沢医科大学小児科、<sup>2</sup>金沢医科大学病院ゲノム医療センター

**O2-6-3 Noonan 症候群における受診契機となった臨床徴候の解析**

小泉 美紀子<sup>1,2</sup>、畑 彩葉<sup>1</sup>、位田 忍<sup>3</sup>、恵谷 ゆり<sup>1</sup>、川井 正信<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター 消化器内分泌科、<sup>2</sup>淀川キリスト教病院 小児科、

<sup>3</sup>大阪母子医療センター 臨床検査科、

<sup>4</sup>大阪母子医療センター研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門

**O2-6-4 Sotos 症候群責任遺伝子 NDS1 を含む 5q35.2-q35.5 微細重複を認めた症候性低身長症の 1 例**

川村 遥<sup>1</sup>、本川 未都里<sup>1</sup>、木下 英一<sup>2</sup>、伊達木 澄人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学病院、<sup>2</sup>きのしたこどもクリニック

**O2-6-5 思春期早発男子の成長学的特徴～秋田県健常小児における検討～**

曾根田 瞬<sup>1,2</sup>、岸 健太郎<sup>1,3</sup>、吉井 啓介<sup>4</sup>、横谷 進<sup>5</sup>、田中 敏章<sup>1</sup>

<sup>1</sup>たなか成長クリニック、<sup>2</sup>聖マリアンナ医科大学小児科、<sup>3</sup>市川 ゆうサポートクリニック、

<sup>4</sup>国立成育医療研究センター 内分泌代謝科、<sup>5</sup>福島県立医科大学

**O2-6-6 スプライス異常を招く CHD7 サイレント変異が同定された Kallmann・CHARGE 症候群の一例**

矢本 香織<sup>1</sup>、谷川 渉<sup>2</sup>、岡本 新悟<sup>3</sup>、大山 伊吹<sup>2</sup>、池田 麻衣子<sup>2</sup>、増永 陽平<sup>1,2</sup>、

藤澤 泰子<sup>2</sup>、才津 浩智<sup>1</sup>、緒方 勤<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>浜松医科大学医化学講座、<sup>2</sup>浜松医科大学小児科、<sup>3</sup>岡本内科こどもクリニック、

<sup>4</sup>浜松医療センター小児科

10月31日(金) 8:25~9:25 第2会場(グランドボールルームC)

座長 辻 敦美(東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野)

川井 正信(大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門)

★ O2-7-1 低濃度エストラジオール測定における新規誘導体化を用いた LC-MS/MS 法と高感度イムノアッセイ法の比較

小林 弘典<sup>1</sup>、和田 啓介<sup>2</sup>、大國 翼<sup>1</sup>、佐藤 恵美<sup>1</sup>、高橋 康司<sup>3</sup>、滝脇 正貴<sup>3</sup>、阿部 健太郎<sup>3</sup>、保科 雪月<sup>1</sup>、後藤 月美<sup>1</sup>、鞆嶋 有紀<sup>2</sup>、竹谷 健<sup>2</sup>、矢野 彰三<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>島根大学医学部附属病院検査部、<sup>2</sup>島根大学医学部小児科、<sup>3</sup>日本電子

O2-7-2 男児における思春期前後でのエストラジオールの検討

望月 貴博、北山 称、西垣 五月  
 希望の森成長発達クリニック

O2-7-3 LC-MS/MS による前思春期 Turner 症候群の血清 E2 値の検討：多機関共同観察研究

池側 研人<sup>1</sup>、糸永 知代<sup>2</sup>、橘 真紀子<sup>3</sup>、有安 大典<sup>4</sup>、長崎 啓祐<sup>5</sup>、澤野 堅太郎<sup>6</sup>、溝田 美智代<sup>7</sup>、山本 幸代<sup>8</sup>、森川 俊太郎<sup>9</sup>、明利 総瑠<sup>10</sup>、八木 弘子<sup>11</sup>、尾崎 佳代<sup>12</sup>、永原 敬子<sup>13</sup>、田嶋 朝子<sup>14</sup>、森 潤<sup>15</sup>、川井 正信<sup>16</sup>、今野 麻里絵<sup>1</sup>、天野 直子<sup>1</sup>、石井 智弘<sup>1</sup>、長谷川 行洋<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup>大分大学医学部小児科、<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>4</sup>川崎市立川崎病院、<sup>5</sup>長野県立こども病院内分泌代謝科、<sup>6</sup>新潟大学医歯学総合病院、<sup>7</sup>今村総合病院小児科、<sup>8</sup>産業医科大学医学部医学教育担当教員、<sup>9</sup>北海道大学大学院医学研究院小児科学分野、<sup>10</sup>宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野、<sup>11</sup>弘前大学医学部小児科学講座、<sup>12</sup>兵庫県立こども病院代謝内分泌科、<sup>13</sup>昭和医科大学医学部小児科学講座、<sup>14</sup>東京慈恵会医科大学小児科学講座、<sup>15</sup>大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、<sup>16</sup>大阪母子医療センター消化器・内分泌科

O2-7-4 1 か月健診時の腹部超音波スクリーニング検査で観察される卵巣と卵胞像の多様性

中村 英記<sup>1</sup>、白崎 優太<sup>1</sup>、土川 颯<sup>1</sup>、田上 晃弘<sup>1</sup>、栗澤 未央ジューン<sup>1</sup>、堀井 百祐<sup>1</sup>、平野 至規<sup>1</sup>、室野 晃一<sup>1</sup>、松本 靖司<sup>2</sup>、坂本 千賀子<sup>2</sup>、鈴木 滋<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>名寄市立総合病院小児科、<sup>2</sup>名寄市立総合病院臨床検査科、<sup>3</sup>旭川医科大学小児科

O2-7-5 思春期早期の部分型アンドロゲン不応症に伴う女性化乳房に対するタモキシフェンの有効例

萩原 和樹、矢ヶ崎 英晃、塚原 麻里、成澤 宏宗、佐野 友昭、小林 浩司、太田 正法、犬飼 岳史  
 山梨大学医学部附属病院小児科

O2-7-6 FIGLA ホモ接合性ミスセンスバリエーションにより早発卵巣不全を発症した姉妹例

谷川 渉<sup>1</sup>、才津 浩智<sup>2</sup>、中村 康彦<sup>3</sup>、白蓋 雄一郎<sup>4</sup>、藤澤 泰子<sup>1</sup>、深見 真紀<sup>5</sup>、杉野 法広<sup>4</sup>、緒方 勤<sup>1,2,6</sup>  
<sup>1</sup>浜松医科大学小児科学講座、<sup>2</sup>浜松医科大学医化学講座、<sup>3</sup>山口県立総合医療センター産婦人科、<sup>4</sup>山口大学医学部産婦人科学講座、<sup>5</sup>国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、<sup>6</sup>浜松医療センター小児科

10月31日(金) 8:25~9:25 第3会場(グランドボールルームD)

座長 北中 幸子(きたなかこども成長クリニック)

長谷川高誠(岡山大学学術研究院医療開発領域小児科)

**O2-8-1 軟骨無形成症におけるボソリチド治療の年齢依存的効果とGH切替後の有効性・安全性：単施設後方視的解析**

島田 貴明<sup>1</sup>、大幡 泰久<sup>1</sup>、中山 尋文<sup>1,2</sup>、植田 郁実<sup>1</sup>、石見 壮史<sup>1</sup>、山田 知絵子<sup>1</sup>、  
中野 由佳子<sup>1</sup>、山本 賢一<sup>1,3</sup>、藤原 誠<sup>1</sup>、北岡 太一<sup>1,4</sup>、大藪 恵一<sup>1,5</sup>、窪田 拓生<sup>6</sup>、  
北畠 康司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学医学部附属病院小児科、<sup>2</sup>大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔外科学、

<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成育小児科学、<sup>4</sup>医誠会国際総合病院小児科、

<sup>5</sup>医誠会国際総合病院難病医療推進センター、<sup>6</sup>大阪母子医療センター腎・代謝科

**O2-8-2 軟骨低形成症家系に認めた新規 insertion/deletion 変異**

茂木 桜<sup>1</sup>、安達 昌功<sup>2</sup>、八木 直美<sup>1</sup>、井川 由貴<sup>1</sup>、富永 牧子<sup>1</sup>、京田 学是<sup>1</sup>、  
池田 裕一<sup>1</sup>、西村 玄<sup>3</sup>

<sup>1</sup>昭和医科大学横浜市北部病院、<sup>2</sup>昭和医科大学病院、<sup>3</sup>武蔵野陽和会病院

**★ O2-8-3 3歳未満でボソリチドを導入した軟骨無形成症患者9名の大後頭孔発育の後方視的検討**

中川 万理恵、足立 夏帆、千葉 有美子、田中 裕之

東京大学医学部附属病院小児科

**O2-8-4 軟骨無形成症の乳児期早期ボソリチド投与に伴う頭蓋頸椎移行部狭窄への影響**

青木 政子、寺田 啓輝、青木 亮二、田邊 聡美、峯 佑介、長野 伸彦、鈴木 潤一、  
森岡 一郎

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

**O2-8-5 ENPP1 関連疾患 (ENPP1-related disorder) の兄弟例**

宮原 由起<sup>1</sup>、和田 珠希<sup>1</sup>、畑 彩葉<sup>1</sup>、前山 隆智<sup>1</sup>、長谷川 結子<sup>2</sup>、岡本 伸彦<sup>2</sup>、  
平田 克弥<sup>3</sup>、望月 成隆<sup>3</sup>、恵谷 ゆり<sup>1</sup>、松岡 圭子<sup>4</sup>、川井 正信<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター消化器・内分泌科、<sup>2</sup>大阪母子医療センター遺伝診療科、

<sup>3</sup>大阪母子医療センター新生児科、<sup>4</sup>大阪母子医療センター病理診断科、

<sup>5</sup>大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門

**O2-8-6 出生時から一過性副甲状腺機能亢進症をきたしたムコリビドーシスII型の1例**

上原 健史<sup>1,2</sup>、金子 拓弥<sup>1</sup>、籾生 なおみ<sup>1</sup>、滝崎 奈穂<sup>1</sup>、花川 純子<sup>1</sup>、有安 大典<sup>3</sup>、  
田中 水緒<sup>4</sup>、室谷 浩二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、<sup>2</sup>板橋中央総合病院小児科、

<sup>3</sup>横浜市立市民病院小児科、<sup>4</sup>神奈川県立こども医療センター病理診断科

10月31日(金) 14:10 ~ 15:10 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 佐藤 真理(東邦大学医療センター大森病院小児科)

滝島 茂(草加市立病院診療部小児科)

**O2-9-1 SGA 性低身長症における週 1 回ソマプシタン投与の長期安全性および有効性：第 2 相臨床試験 4 年間の結果**

川井 正信<sup>1</sup>、Juul Anders<sup>2,3</sup>、Højby Michael<sup>4</sup>、Linglart Agnès<sup>5</sup>、森 潤<sup>6</sup>、  
Zuckerman-Levin Nehama<sup>7</sup>、Backeljauw Philippe<sup>8</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター 研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門/消化器・内分泌科、

<sup>2</sup>Department of Growth and Reproduction, Copenhagen University Hospital – Rigshospitalet、

<sup>3</sup>Department of Clinical Medicine, University of Copenhagen、

<sup>4</sup>Clinical Drug Development, Novo Nordisk A/S、

<sup>5</sup>AP-HP, Université Paris Saclay, INSERM, Service d'Endocrinologie et Diabète de l'Enfant, Hôpital Bicêtre Paris Saclay、

<sup>6</sup>Division of Pediatric Endocrinology, Metabolism and Nephrology, Children's Medical Center, Osaka City General Hospital、

<sup>7</sup>Institute of Diabetes, Endocrinology and Metabolism, Rambam Health Care Center, Bruce Rappaport Faculty of Medicine, Technion、

<sup>8</sup>Division of Endocrinology, Department of Pediatrics, Cincinnati Children's Hospital Medical Center, University of Cincinnati College of Medicine

**O2-9-2 本邦の特発性低身長児における SHOX 異常症の頻度とスクリーニングのための身体指標の検討**

岩山 秀之<sup>1</sup>、河原 幸平<sup>2</sup>、北川 幸子<sup>2</sup>、泉 健吾<sup>3</sup>、鈴木 滋<sup>3</sup>、高木 潤子<sup>4</sup>、伊藤 嘉規<sup>1</sup>、  
奥村 彰久<sup>1</sup>

<sup>1</sup>愛知医科大学医学部小児科学講座、<sup>2</sup>総合大雄会病院小児科、

<sup>3</sup>旭川医科大学小児科学講座、<sup>4</sup>愛知医科大学医学部内科学講座内分泌・代謝内科

**O2-9-3 日本人小児における arm span および arm span 身長比の基準値：オランダ人およびトルコ人との比較**

平野 泰大<sup>1,2</sup>、井ノ口 美香子<sup>2,3</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>、長谷川 奉延<sup>2,4</sup>

<sup>1</sup>平塚市民病院小児科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科、<sup>3</sup>慶應義塾大学保健管理センター、

<sup>4</sup>柏たなか病院

**O2-9-4 ROHHAD 症候群の男児例：神経節細胞腫切除前後及び遠隔期の抗 ZSCAN 1 抗体の推移**

長谷川 高誠<sup>1</sup>、二川 奈都子<sup>1</sup>、吾郷 祐子<sup>1</sup>、樋口 洋介<sup>1,3</sup>、塚原 宏一<sup>2</sup>、宇都宮 朱里<sup>4</sup>

<sup>1</sup>岡山大学病院小児科、<sup>2</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学、

<sup>3</sup>岡山医療センター小児科、<sup>4</sup>広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科

**O2-9-5 小児ラトケ嚢胞 64 例における後方視的検討**

佐野 伸一郎<sup>1</sup>、村井 雄紀<sup>1</sup>、永井 靖識<sup>2</sup>、石崎 竜司<sup>2</sup>、小山 雅司<sup>3</sup>

<sup>1</sup>静岡県立こども病院糖尿病代謝内科、<sup>2</sup>静岡県立こども病院脳神経外科、

<sup>3</sup>静岡県立こども病院放射線科

**★ O2-9-6 成人に達した小児期発症の頭蓋咽頭腫 30 人における肥満症**

向山 祐理<sup>1</sup>、中村 新太郎<sup>1</sup>、山本 茉莉<sup>1</sup>、滝沢 文彦<sup>1</sup>、小川 哲史<sup>1</sup>、伊藤 純子<sup>1</sup>、

横谷 進<sup>1</sup>、福原 宏和<sup>2</sup>、福原 紀章<sup>2</sup>、登坂 雅彦<sup>2</sup>、西岡 宏<sup>2</sup>、山田 正三<sup>3</sup>、磯島 豪<sup>1</sup>

<sup>1</sup>虎の門病院小児科、<sup>2</sup>虎の門病院間脳下垂体外科、<sup>3</sup>森山脳神経センター病院

10月31日(金) 14:10～15:10 第2会場(グランドボールルームC)

座長 布川 香織(鎌倉療育医療センター小さき花の園小児科)

志賀健太郎(横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

**O2-10-1 1型糖尿病における治療法変更が血糖コントロールに与える影響：小児インスリン治療研究会より**

齋藤 玲子<sup>1,2</sup>、山本 幸代<sup>2,3</sup>、後藤 元秀<sup>2,4</sup>、伊藤 善也<sup>2,5</sup>、横道 洋司<sup>2,6</sup>、齋藤 朋洋<sup>2,7</sup>、  
滝島 茂<sup>2,8</sup>、立川 恵美子<sup>2,9</sup>、堀川 玲子<sup>2,10</sup>、川名 宏<sup>2,11</sup>、菊池 透<sup>2,11</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学医学部小児科学講座、<sup>2</sup>小児インスリン治療研究会、

<sup>3</sup>産業医科大学医学部医学教育担当教員、<sup>4</sup>産業医科大学産業生態科学研究所職業性中毒学、

<sup>5</sup>日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域、<sup>6</sup>山梨大学大学院社会医学講座、

<sup>7</sup>山梨県立中央病院小児科、<sup>8</sup>草加市立病院小児科、<sup>9</sup>東京女子医科大学小児科、

<sup>10</sup>国立成育医療研究センター生体防御系内科内分泌・代謝科、<sup>11</sup>埼玉医科大学小児科

**O2-10-2 1型糖尿病におけるミニメド™780Gの長期有効性：導入後48週での解析報告**

宇治田 風紗、谷本 英里、福井 貞弘、塩田 翔吾、杉浦 愛子、吉井 啓介、内木 康博、  
鹿島田 健一

国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

**O2-10-3 当科でのAHCL療法導入と地域医療での取り組み**

西山 楓奈<sup>1,5</sup>、大山 和紗<sup>2,5</sup>、中村 慧<sup>3,5</sup>、岩佐 真実<sup>4,5</sup>、末岡 秀文<sup>5</sup>、石井 玲<sup>5</sup>、  
母坪 智行<sup>6</sup>、菊地 成佳<sup>7</sup>、辰巳 正純<sup>8</sup>、小林 誠司<sup>9</sup>、木原 美奈子<sup>10</sup>、津川 毅<sup>5</sup>

<sup>1</sup>製鉄記念室蘭病院小児科、<sup>2</sup>市立釧路総合病院小児科、<sup>3</sup>岩見沢市立総合病院小児科、

<sup>4</sup>東京都立小児総合医療センター、<sup>5</sup>札幌医科大学小児科学講座、

<sup>6</sup>さっぽろ小児内分沁クリニック、<sup>7</sup>砂川市立病院小児科、

<sup>8</sup>北海道社会事業協会小樽病院小児科、<sup>9</sup>留萌市立病院小児科、

<sup>10</sup>苫小牧市立病院小児科

**O2-10-4 小児1型糖尿病患者に対するAdvanced Hybrid Closed Loopの治療効果**

高尾 洋輝、畑川 奈都樹、水野 晴夫

藤田医科大学医学部小児科学

**O2-10-5 小児1型糖尿病に対するadvanced hybrid closed loop導入と肥満度の関連**

永田 知裕<sup>1</sup>、赤星 祥伍<sup>2</sup>、長谷川 行洋<sup>1,3</sup>、天野 直子<sup>1</sup>、石井 智弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京都立小児総合医療センター内分沁代謝科、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター臨床試験科、

<sup>3</sup>多摩北部医療センター小児科

**O2-10-6 Shared Decision-MakingによるCSIIからMDIへの変更を契機に血糖マネジメントが改善した1型糖尿病の3例**

江田 陽一<sup>1,2</sup>、大津 義晃<sup>2</sup>、山口 将邦<sup>2</sup>、島田 正晴<sup>2</sup>、和田 綾<sup>2</sup>、大澤 好充<sup>2</sup>、

滝沢 琢己<sup>2</sup>

<sup>1</sup>地域医療機能推進機構群馬中央病院小児科、<sup>2</sup>群馬大学大学院医学系研究科小児科学

10月31日(金) 14:10～15:10 第3会場(グランドボールルームD)

座長 藤澤 泰子(浜松医科大学医学部附属病院小児科)

安藏 慎(聖マリアンナ医科大学小児科)

**O2-11-1 思春期早発症を契機にLong Read sequence法で診断しえた非古典型21水酸化酵素欠損症の女児**

小田 洋一郎<sup>1</sup>、安達 恵利子<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>茅ヶ崎市立病院小児科、<sup>2</sup>東京科学大学発生発達病態学分野(小児科)、

<sup>3</sup>国立研究開発法人成育医療研究センター内分沁・代謝科

## ★ O2-11-2 早朝第一尿プレグナントリオールは 21 水酸化酵素欠損症の治療指標として有用である

糸永 知代<sup>1</sup>、澤野 堅太郎<sup>2</sup>、長崎 啓祐<sup>2</sup>、若山 宏子<sup>3</sup>、宗永 健志<sup>3</sup>、長谷川 行洋<sup>3</sup>、  
井原 健二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大分大学医学部小児科、<sup>2</sup>新潟大学医歯学総合病院小児科、

<sup>3</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科

## ★ O2-11-3 CYP21A1P/CYP21A2 キメラ遺伝子 CH4 は日本人非古典型 21 水酸化酵素欠損症の主要変異である

齋藤 洋子<sup>1</sup>、安達 恵利子<sup>1</sup>、中川 竜一<sup>1</sup>、辻 敦美<sup>1</sup>、吉田 あや<sup>2</sup>、橋 真紀子<sup>3</sup>、  
佐野 伸一朗<sup>4</sup>、我有 茉希<sup>1</sup>、桐野 玄<sup>1</sup>、中谷 久恵<sup>1</sup>、山野 春樹<sup>1</sup>、青山 幸平<sup>2</sup>、  
高澤 啓<sup>1</sup>、小原 収<sup>5</sup>、鹿島田 健一<sup>1,6</sup>

<sup>1</sup>東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野（小児科）、

<sup>2</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、

<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>4</sup>静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、

<sup>5</sup>かずさ DNA 研究所、<sup>6</sup>国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

## O2-11-4 TNXB の変異をホモ接合性に有するも、エーラスダンロス症候群の症状が軽度な CAH-X の症例

根本 千裕<sup>1,2</sup>、安達 恵利子<sup>3</sup>、高橋 英城<sup>1</sup>、田中 基意<sup>1</sup>、室谷 浩二<sup>2</sup>、高澤 啓<sup>3</sup>、  
鹿島田 健一<sup>3,4</sup>、松井 克之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>滋賀県立総合病院小児内分泌代謝科、<sup>2</sup>神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、

<sup>3</sup>東京科学大学発生発達病態学分野、<sup>4</sup>国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

## O2-11-5 CACNA1H 遺伝子に変異が確認された家族性アルドステロン症の 1 例

西野 貢平<sup>1</sup>、山崎 悠矢<sup>1</sup>、松井 拓弥<sup>2</sup>、須永 彩佳<sup>1</sup>、原田 なお<sup>1</sup>、河口 亜津彩<sup>1</sup>、  
田中 藤樹<sup>1</sup>、荒木 義則<sup>1</sup>、長尾 雅悦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立病院機構北海道医療センター小児科、<sup>2</sup>札幌医科大学附属病院小児科

## O2-11-6 GHRP2 負荷試験は小児副腎皮質機能低下症の診断において有用である

杉浦 愛子<sup>1</sup>、西本 由佳<sup>1</sup>、山口 修平<sup>1</sup>、塩田 翔吾<sup>1</sup>、谷本 英里<sup>1</sup>、福井 貞弘<sup>1</sup>、  
宇治田 風紗<sup>1</sup>、荻原 康子<sup>1</sup>、吉井 啓介<sup>1</sup>、田中 裕之<sup>2</sup>、堀川 玲子<sup>1</sup>、鹿島田 健一<sup>1</sup>、  
内木 康博<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院小児科

## 一般口演 12 トランジション、その他

10月31日(金) 14:10 ~ 15:10 第4会場(ラ・テラス)

座長 宇都宮朱里(広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科・がんゲノム診療科/広島大学大学院  
医系科学研究科遺伝医学)

数川 逸郎(千葉県こども病院内分泌科)

## O2-12-1 小児期発症 1 型糖尿病の成人科への診療移行の実態

～小児インスリン治療研究会第 5 コホート研究より～

小川 洋平<sup>1,12</sup>、菊池 信行<sup>2,12</sup>、会津 克哉<sup>3,12</sup>、田久保 憲行<sup>4,12</sup>、八ッ賀 秀一<sup>5,12</sup>、  
門脇 弘子<sup>6,12</sup>、長石 純一<sup>7,12</sup>、佐藤 詩子<sup>8,12</sup>、村尾 知良<sup>9,12</sup>、今田 進<sup>10,12</sup>、菊池 透<sup>11,12</sup>

<sup>1</sup>新潟大学医歯学総合病院小児科、<sup>2</sup>横浜労災病院小児科、

<sup>3</sup>埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科、

<sup>4</sup>順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科・思春期科、<sup>5</sup>函館五稜郭病院臨床遺伝科、

<sup>6</sup>赤坂山王メディカルセンター小児科、<sup>7</sup>鳥取市立病院小児科、<sup>8</sup>三楽病院小児科、

<sup>9</sup>鳥取県立中央病院糖尿病・内分泌・代謝内科、<sup>10</sup>こんだこども医院、<sup>11</sup>埼玉医科大学小児科、

<sup>12</sup>小児インスリン治療研究会

## O2-12-2 当院で経験した Prader-Willi 症候群 16 例の睡眠呼吸障害のまとめ

市川 加波<sup>1</sup>、柴崎 拓実<sup>1</sup>、師田 悠<sup>1</sup>、松浦 宏樹<sup>2</sup>、原 洋祐<sup>3</sup>、中沢 洋三<sup>1</sup>

<sup>1</sup>信州大学医学部小児科、<sup>2</sup>諏訪赤十字病院小児科、<sup>3</sup>伊那中央病院小児科

### **O2-12-3 思春期早発症の経過中に筋力低下を契機として診断された Temple 症候群の 1 例**

多村 公晃<sup>1</sup>、渡辺 健太<sup>1</sup>、田嶋 朝子<sup>1</sup>、齋藤 伸治<sup>2</sup>、宮田 市郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京慈恵会医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

### **O2-12-4 性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性と性ホルモン関連遺伝子リピート数多型の関連**

五十嵐 瑞穂<sup>1</sup>、福井 由宇子<sup>1</sup>、服部 淳<sup>1</sup>、朴 慶純<sup>2</sup>、佐々木 掌子<sup>3</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、

<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター臨床研究センターデータサイエンス部門生物統計ユニット、

<sup>3</sup> 明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻

### **★ O2-12-5 Kagami-Ogata 症候群の長期予後の解明**

増渕 颯<sup>1,2</sup>、小崎 里華<sup>3</sup>、緒方 勤<sup>4</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>、鏡 雅代<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター、<sup>2</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター遺伝診療科、<sup>4</sup> 浜松医療センター小児科

### **O2-12-6 ヌーナン症候群に合併した難治性リンパ管腫に対しシロリムスが著効した一例**

渡部 瑠、甲賀 恵理、山田 勇気、樋口 真司、森 潤

大阪市立総合医療センター

## 一般口演 13 甲状腺

10月31日(金) 16:30 ~ 17:30 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 橋 真紀子(大阪大学医学部附属病院小児科)

虫本 雄一(九州大学病院小児科)

### **O2-13-1 Down 症候群に合併した小児期発症 Basedow 病は特異な病像を呈する**

福井 貞弘、西本 由佳、山口 修平、塩田 翔吾、杉浦 愛子、谷本 英里、宇治田 風紗、  
萩原 康子、吉井 啓介、内木 康博、鹿島田 健一

国立成育医療研究センター内分泌代謝科

### **O2-13-2 TSH 受容体抗体の変化率は小児期発症 Basedow 病の寛解予測に有用である**

寺下 新太郎<sup>1,2</sup>、長森 万里子<sup>1</sup>、杉浦 愛子<sup>2</sup>、宇治田 風紗<sup>2</sup>、内木 康博<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>2</sup>、  
今井 千速<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 富山大学附属病院、<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター

### **O2-13-3 ヨウ化カリウムにて治療中の甲状腺機能亢進症の 3 症例**

上田 晃三

松山赤十字病院小児科

### **★ O2-13-4 バセドウ病合併妊婦における新生児バセドウ病の発症予測—根治療法と薬物療法の違い—**

細田 愛子<sup>1,2</sup>、荒田 尚子<sup>1</sup>、佐藤 志織<sup>1</sup>、梅原 永能<sup>3</sup>、三小田 亜希子<sup>1</sup>、飯村 祐子<sup>1</sup>、  
三戸 麻子<sup>1</sup>、内木 康博<sup>4</sup>、鹿島田 健一<sup>4</sup>、堀川 玲子<sup>4</sup>、永田 知映<sup>5,6</sup>、島野 仁<sup>7</sup>、  
川口 晴菜<sup>8</sup>、和栗 雅子<sup>8</sup>、光田 信明<sup>8</sup>、和田 誠司<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター女性総合診療センター女性内科、<sup>2</sup> 筑波大学人間総合科学研究科、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター、

<sup>4</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター教育研究センター、

<sup>6</sup> 東京慈恵会医科大学産婦人科、<sup>7</sup> 筑波大学医学医療系内分泌代謝・糖尿病内科、

<sup>8</sup> 大阪母子医療センター

### **O2-13-5 日本人乳幼児でのヨウ素含有造影剤による造影検査の甲状腺機能への影響：多施設共同観察研究(中間報告)**

橋 真紀子<sup>1</sup>、中村 明枝<sup>2</sup>、阿部 清美<sup>2</sup>、伊藤 順庸<sup>2</sup>、今田 寛<sup>2</sup>、菅野 潤子<sup>2</sup>、堀 友博<sup>2</sup>、  
松下 理恵<sup>2</sup>、宮田 市郎<sup>2</sup>、虫本 雄一<sup>2</sup>、濱田 淳平<sup>3</sup>、望月 美恵<sup>4</sup>、長崎 啓祐<sup>2</sup>、  
南谷 幹史<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>2</sup> 日本小児内分泌学会甲状腺委員会、

<sup>3</sup> 愛媛大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>4</sup> 国立病院機構甲府病院小児科

## ★ O2-13-6 SLC26A7 は甲状腺においてヨウ素の受動輸送に関与する重要な因子である

鈴木 敦詞<sup>1,2</sup>、原 佑太郎<sup>2</sup>、大矢知 真希<sup>2</sup>、吉田 あや<sup>2,3</sup>、山口 直哉<sup>2</sup>、青山 幸平<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岐阜県立多治見病院小児科、<sup>2</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、  
<sup>3</sup>一宮市立市民病院小児科

## 一般口演 14 性腺・性分化疾患・思春期 3

10月31日(金) 16:30 ~ 17:30 第2会場(グランドボールルーム C)

座長 天野 直子(東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科)  
 志村 和浩(横浜市立市民病院小児科)

## O2-14-1 自然妊娠で生じた性別不一致の二卵性一絨毛膜双胎例

山口 修平<sup>1</sup>、西本 由佳<sup>1</sup>、塩田 翔吾<sup>1</sup>、杉浦 愛子<sup>1</sup>、谷本 英里<sup>1</sup>、福井 貞弘<sup>1</sup>、  
 宇治田 風紗<sup>1</sup>、安達 恵利子<sup>1</sup>、荻原 康子<sup>1</sup>、吉井 啓介<sup>1</sup>、内木 康博<sup>1</sup>、丸山 秀彦<sup>2</sup>、  
 塚本 桂子<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup>国立成育医療研究センター新生児科

## O2-14-2 hMG 負荷試験が性別決定の一助となった 46,XX 精巢性性分化疾患の新生児例

黒川 祥子、天野 直子、石井 智弘、長谷川 行洋  
 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科

## O2-14-3 全ゲノムシーケンシング解析による CHARGE 症候群患者に見出した新規 CHD7 exon 9 inflame deletion

福井 由宇子<sup>1</sup>、島 彦仁<sup>2</sup>、箱田 明子<sup>3</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、<sup>2</sup>東北大学病院小児科、  
<sup>3</sup>JR 仙台病院小児科

## O2-14-4 FISH 検査で検出された偶発的所見—想定外の染色体情報が判明した症例から学ぶこと—

石井 加奈子、都 研一  
 福岡市立こども病院内分泌・代謝科

## O2-14-5 男児と性別決定し、17β-ヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症と診断した新生児例

本倉 浩嗣<sup>1</sup>、高島 慎之介<sup>1</sup>、山内 建<sup>2</sup>、友邊 雄太郎<sup>2</sup>、岩永 甲午郎<sup>2</sup>、河井 昌彦<sup>2</sup>、  
 西田 吉伸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>兵庫県立尼崎総合医療センター、<sup>2</sup>京都大学医学部附属病院

## O2-14-6 FGFR1 および KISS1R にヘテロ接合性バリエントを同定した先天性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症の1家系

松田 純子<sup>1,2</sup>、久山 寿子<sup>3</sup>、徳富 智明<sup>1</sup>、升野 光雄<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学附属病院小児科、<sup>2</sup>川崎医科大学病態代謝学、<sup>3</sup>川崎医科大学附属病院小児外科、  
<sup>4</sup>川崎医療福祉大学医療福祉学部 医療福祉学科

## 一般口演 15 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 3

10月31日(金) 16:30 ~ 17:30 第3会場(グランドボールルーム D)

座長 今野麻里絵(慶應義塾大学医学部小児科)  
 大幡 泰久(大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

## O2-15-1 PHEX を含む Xp22 領域の複雑構造変化による X 連鎖性低リン血症性くる病女性例

上原 絵理香<sup>1</sup>、内木 康博<sup>2</sup>、服部 淳<sup>1,3</sup>、深見 真紀<sup>1,3</sup>、松原 圭子<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、  
<sup>2</sup>国立成育医療研究センター内分泌代謝科、  
<sup>3</sup>国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室

- O2-15-2 X連鎖性低リン血症性くる病3例に対するブロスラブ開始後の腎石灰化および腎機能の臨床経過**  
 原 佑太郎<sup>1</sup>、大矢知 真希<sup>1</sup>、吉田 あや<sup>1,2</sup>、山口 直哉<sup>1</sup>、鈴木 敦詞<sup>1,3</sup>、青山 幸平<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、<sup>2</sup>一宮市立市民病院小児科、  
<sup>3</sup>岐阜県立多治見病院小児科
- O2-15-3 PHEX 遺伝子内重複による XLH 発症女児のゲノム構造解析**  
 秋葉 和壽<sup>1,2</sup>、松原 圭子<sup>1,2</sup>、中村 明枝<sup>1</sup>、服部 淳<sup>1</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、  
<sup>2</sup>国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室
- O2-15-4 当院における小児 ALP 異常高値の臨床的検討**  
 瀨瀬 昌樹<sup>1</sup>、伊藤 早苗<sup>2</sup>、伊藤 友香<sup>1</sup>、國澤 由起<sup>1</sup>、春田 一憲<sup>1</sup>、岡井 佑<sup>1</sup>、  
 伊藤 祥絵<sup>1</sup>、松岡 佐知<sup>1</sup>、長谷川 正幸<sup>1</sup>、星野 伸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋掖済会病院小児科、<sup>2</sup>名古屋大学医学部附属病院小児科
- O2-15-5 染色体転座で Runx2 遺伝子内に生じた break point による鎖骨頭蓋異形成症の1例**  
 長谷川 高誠<sup>1</sup>、二川 奈都子<sup>1</sup>、吾郷 祐子<sup>1</sup>、吉本 順子<sup>1</sup>、塚原 宏一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学病院小児科、<sup>2</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学
- O2-15-6 MLPA が診断に有用であった Leri-Weill 症候群の男児**  
 久富 宇太<sup>1,2</sup>、中川 智博<sup>1</sup>、島 彦仁<sup>1</sup>、鈴木 大<sup>1,3</sup>、和田 泰格<sup>3</sup>、平賀 祥子<sup>4</sup>、  
 菊池 敦生<sup>1</sup>、菅野 潤子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野、  
<sup>2</sup>静岡県立総合病院初期研修、<sup>3</sup>岩手医科大学小児科学講座、<sup>4</sup>岩手県立釜石病院小児科

## 一般口演 16 下垂体・成長 5

11月1日(土) 8:30~9:30 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 和田 珠希(大阪母子医療センター消化器・内分泌科)

曾根田 瞬(たなか成長クリニック/聖マリアンナ医科大学小児科)

- O3-16-1 小児プラダー・ウィリ症候群患者における骨格筋量の特徴と成長ホルモン治療が骨格筋量に与える影響**  
 和田 珠希<sup>1</sup>、小泉 美紀子<sup>1</sup>、山野 由貴<sup>1</sup>、畑 彩葉<sup>1</sup>、前山 隆智<sup>1,2</sup>、宮原 由起<sup>1</sup>、  
 位田 忍<sup>3</sup>、恵谷 ゆり<sup>1</sup>、川井 正信<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>大阪母子医療センター消化器・内分泌科、  
<sup>2</sup>大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門、  
<sup>3</sup>大阪母子医療センター臨床検査科
- O3-16-2 OCA2 にヘミ接合性機能喪失バリエントを同定した眼皮膚白皮症合併 Prader-Willi 症候群の1例**  
 村上 千晶、本川 未都里、川村 遥、伊達木 澄人  
 長崎大学病院小児科
- O3-16-3 成人プラダー・ウィリ症候群における支援の必要性：FIM 分析からの知見**  
 大戸 佑二<sup>1</sup>、尾形 広行<sup>2</sup>、中根 えりな<sup>2</sup>、井原 裕<sup>2</sup>、小山 さとみ<sup>1</sup>、高谷 具純<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>獨協医科大学埼玉医療センター小児科、<sup>2</sup>獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科
- O3-16-4 兄の遺伝学的診断により妹の重篤な転帰を予防できた先天性下垂体機能低下症の兄妹例**  
 足立 夏帆、中川 万理恵、加登 翔太、千葉 有美子、向井 丈雄、加藤 元博、  
 田中 裕之  
 東京大学医学部附属病院小児科
- O3-16-5 小児期バソプレシン分泌不全症の診断における水制限試験、高張食塩水負荷試験の有用性の比較**  
 勝二 隆志<sup>1</sup>、石井 智弘<sup>2</sup>、長谷川 行洋<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>東京都立小児総合医療センター総合診療科、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、  
<sup>3</sup>東京都立多摩北部医療センター

- 03-16-6 負荷試験によらない小児 AVP 分泌不全症 / 原発性多飲の診断法検討：多機関共同後方視的研究**  
 宗永 健志<sup>1,2</sup>、水谷 陽貴<sup>3</sup>、鈴木 友梨<sup>4</sup>、向山 祐理<sup>5</sup>、松田 希<sup>6</sup>、濱島 崇<sup>3</sup>、高澤 啓<sup>4</sup>、  
 磯島 豪<sup>5</sup>、滝島 茂<sup>6</sup>、池側 研人<sup>1</sup>、天野 直子<sup>1,2</sup>、石井 智弘<sup>1,2</sup>、長谷川 行洋<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室、  
<sup>3</sup> あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科、<sup>4</sup> 東京科学大学発生発達病態学、  
<sup>5</sup> 虎の門病院小児科、<sup>6</sup> 草加市立病院小児科

### 一般口演 17 糖代謝・糖尿病・低血糖 3

11月1日(土) 8:30 ~ 9:30 第2会場(グランドボールルーム C)

座長 望月 美恵(独立行政法人国立病院機構甲府病院小児科)  
 鈴木 滋(旭川医科大学小児科学講座)

- 03-17-1 軽症の経過を辿っていた ABCC8 変異を認める先天性高インスリン血症の一例**  
 東 玖美、清水 貴大、神川 愛純、岡島 道子、和田 泰三  
 金沢大学附属病院
- 03-17-2 新生児一過性高血糖と新生児糖尿病を鑑別するための血糖、インスリンおよび C ペプチドの診断カットオフ値**  
 鈴木 滋、古谷 曜子、齊藤 翔真、泉 健吾、山村 日向子、高橋 悟  
 旭川医科大学小児科
- 03-17-3 GCK 遺伝子新規スプライス部位バリエーションを同定した若年発症糖尿病の一家系**  
 須田 峻平<sup>1</sup>、小針 靖子<sup>1,2,3</sup>、高野 洋子<sup>1</sup>、大津 義晃<sup>2</sup>、西條 直也<sup>4</sup>、鈴木 智尚<sup>4</sup>、  
 高山 順<sup>3,4</sup>、呉 繁夫<sup>4,5</sup>、菊池 敦生<sup>4,6</sup>、田宮 元<sup>3,4</sup>、滝沢 琢巳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 伊勢崎市民病院小児科、<sup>2</sup> 群馬大学大学院医学系研究科小児科学、  
<sup>3</sup> 東北大学大学院医学系研究科 AI フロンティア新医療創生分野、  
<sup>4</sup> 東北大学大学院医学系研究科希少難病共同研究講座、<sup>5</sup> 宮城県立こども病院、  
<sup>6</sup> 東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野
- 03-17-4 重症糖尿病性ケトアシドーシスと高血糖高浸透圧症候群を合併し、重篤な意識障害を呈した初発 1 型糖尿病幼児**  
 藤原 進太郎、川崎 綾子、江瀬 有紀、樋口 洋介、古城 真秀子  
 岡山医療センター小児科
- 03-17-5 高インスリン性低血糖症から 1 型糖尿病への移行を認めた 13 トリソミー男児例**  
 長 千春<sup>1</sup>、河辺 泰宏<sup>1</sup>、小西 まどか<sup>1</sup>、森元 英周<sup>2</sup>、杉本 哲<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 京都府立医科大学附属病院小児科、<sup>2</sup> もりもとベビー & キッズクリニック
- 03-17-6 重症糖尿病性ケトアシドーシスで Hamman 症候群を呈した 1 型糖尿病の女児例**  
 見浪 実紀、田邊 裕子、野村 直宏、藤本 実優、高屋 淳二、金子 一成  
 関西医科大学小児科学教室

### 一般口演 18 CCS・水電解質・内分泌腫瘍

11月1日(土) 8:30 ~ 9:30 第3会場(グランドボールルーム D)

座長 三善 陽子(大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室)  
 森川俊太郎(北海道大学大学院医学研究科小児科学分野)

- 03-18-1 当科における頭蓋咽頭腫術後の内分泌学的検討および水電解質管理**  
 大高 智博<sup>1</sup>、長沼 純子<sup>1,2</sup>、小山 さとみ<sup>1,3</sup>、白石 秀明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 獨協医科大学小児科学、<sup>2</sup> 群馬県立小児医療センター、  
<sup>3</sup> 獨協医科大学埼玉医療センター小児科

**03-18-2 マイコプラズマ脳炎罹患後に Na 197 mEq/L と著明な高 Na 血症に至ったがほぼ後遺症無く回復した 11 歳男児の一例**

櫻井 一貴、成瀬 裕紀、時友 陽菜、波多野 陽輝、岡田 広、森 雅人  
松戸市立総合医療センター

**03-18-3 偽性低アルドステロン症 1A 型の新規変異例と出生時体重および治療内容に関する文献レビュー**

石田 竜之<sup>1</sup>、茂木 桜<sup>1</sup>、越智 彩子<sup>1</sup>、永原 敬子<sup>1</sup>、安達 昌功<sup>1</sup>、野津 寛大<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>昭和医科大学病院小児科、<sup>2</sup>神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科

**03-18-4 陽子線治療による小児髄芽腫患者の治療後内分泌障害の軽減：単施設後ろ向き研究**

金子 直哉<sup>1</sup>、遠藤 愛<sup>1</sup>、菱村 希<sup>1</sup>、寺下 友佳代<sup>1</sup>、瀬越 尚人<sup>1</sup>、安部 樹太郎<sup>1</sup>、  
大浦 果寿美<sup>1</sup>、澤井 彩織<sup>1</sup>、平林 真介<sup>1</sup>、長 祐子<sup>1</sup>、伊師 雪友<sup>2</sup>、山口 秀<sup>2</sup>、  
橋本 孝之<sup>3</sup>、真部 淳<sup>1</sup>、森川 俊太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院小児科、<sup>2</sup>北海道大学大学院医学研究院脳神経外科、  
<sup>3</sup>北海道大学大学院医学研究院医理工学グローバルセンター

**03-18-5 視床下部・下垂体腫瘍を除く小児固形腫瘍患者の晩期内分泌合併症の検討**

水谷 陽貴、藤本 英ミレナ、福田 太郎、加藤 俊輔、濱島 崇  
あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科

**03-18-6 小児・AYA 世代がん患者の栄養管理に関する小児腫瘍医対象の現状調査**

三善 陽子<sup>1,2,3,4</sup>、橘 真紀子<sup>2</sup>、長井 直子<sup>5</sup>、赤尾 正<sup>6</sup>、清水 千佳子<sup>7</sup>、岡田 賢<sup>3</sup>、  
家原 知子<sup>4</sup>、石田 也寸志<sup>4</sup>、大植 孝治<sup>4</sup>、大賀 正一<sup>4</sup>、大園 秀一<sup>4</sup>、上別府 圭子<sup>4</sup>、  
清谷 知賀子<sup>4</sup>、黒澤 彩子<sup>4</sup>、塩飽 仁<sup>4</sup>、竹之内 直子<sup>4</sup>、長 祐子<sup>4</sup>、日野 もえ子<sup>4</sup>、  
檜山 英三<sup>4</sup>、前沢 忠志<sup>4</sup>、前田 尚子<sup>4</sup>、前田 美穂<sup>4</sup>、松本 公一<sup>4</sup>、宮村 能子<sup>4</sup>、  
湯坐 有希<sup>4</sup>、米田 光宏<sup>4</sup>

<sup>1</sup>大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室、

<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>3</sup>日本小児内分泌学会 CCS・内分泌腫瘍委員会、

<sup>4</sup>日本小児血液・がん学会長期フォローアップ・移行期医療検討委員会、

<sup>5</sup>大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部、

<sup>6</sup>大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科給食経営管理第一研究室、

<sup>7</sup>国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター乳腺・腫瘍内科

**一般口演 19 周産期／新生児内分泌**

11月1日(土) 8:30～9:30 第4会場(ラ・テラス)

座長 高橋 郁子(秋田大学大学院医学系研究科小児科学講座)  
山内 建(京都大学医学部附属病院小児科)

**03-19-1 生直後の新生児における甲状腺代謝の検討**

古園 美和、入鹿山 佳代、醍醐 政樹、小松 充孝  
社会福祉法人賛育会賛育会病院小児科

**03-19-2 LC-MS/MS 法導入前後の先天性副腎過形成症スクリーニングの検討**

長崎 啓祐<sup>1,3</sup>、松澤 悠<sup>2</sup>、中村 千鶴子<sup>1,3</sup>、竹内 浩一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長野県立こども病院内分泌代謝科、<sup>2</sup>長野県立こども病院臨床検査科、

<sup>3</sup>長野県立こども病院生命科学研究センター

**03-19-3 胎盤の X 染色体不活性化の偏りは、少数前駆細胞からの clonal な発生過程を示唆する**

土井 響<sup>1,2</sup>、服部 淳<sup>1</sup>、本村 健一郎<sup>3</sup>、和田 誠司<sup>4</sup>、福井 由宇子<sup>1</sup>、深見 真紀<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、

<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科次世代小児医療講座、

<sup>3</sup>国立成育医療研究センター女性免疫バイオメディカル研究室、

<sup>4</sup>国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター

**03-19-4 NICU 入院歴を有する乳児における BADGE 類の血清中濃度と経胎盤移行の検討**

桑村 真美<sup>1</sup>、辻 真弓<sup>2</sup>、田中 健太郎<sup>1</sup>、小野田 淳人<sup>3</sup>、瀧 健太郎<sup>4</sup>、武藤 純平<sup>3</sup>、  
和田 光弘<sup>3</sup>、齋藤 玲子<sup>1</sup>、深野 玲司<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 産業医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 産業医科大学衛生学講座、

<sup>3</sup> 山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部薬学科衛生化学研究室、

<sup>4</sup> 名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター分析機器部門

**03-19-5 CLIA 法から ECLIA 法への血清 25(OH)D 測定法変更が新生児・乳児のビタミン D 欠乏の診断に及ぼす影響**

原 香織<sup>1</sup>、太田 昌志<sup>1</sup>、森澤 和美<sup>1</sup>、中川 央充<sup>2</sup>、関 芳子<sup>3</sup>、長谷川 奉延<sup>1,4</sup>、  
鳴海 覚志<sup>1</sup>、池田 一成<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>2</sup> 慶應義塾大学医学部臨床検査科、

<sup>3</sup> さいたま市立病院周産期母子医療センター新生児内科、<sup>4</sup> 柏たなか病院

**03-19-6 ビタミン D 欠乏児の 25-hydroxyvitamin D2、25-hydroxyvitamin D3、3-epi-25-hydroxyvitamin D3 の推移**

高橋 修平<sup>1</sup>、原 香織<sup>1</sup>、森澤 和美<sup>1</sup>、太田 昌志<sup>1</sup>、中川 央充<sup>2</sup>、涌井 昌俊<sup>3</sup>、  
松下 弘道<sup>2</sup>、長谷川 奉延<sup>1,4</sup>、鳴海 覚志<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>2</sup> 慶應義塾大学病院臨床検査科、

<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室、<sup>4</sup> 柏たなか病院

## 一般口演 20 肥満・やせ・栄養・脂質代謝

**11月1日(土) 11:15 ~ 12:15 第1会場(グランドボールルーム AB)**

座長 井ノ口美香子(慶應義塾大学保健管理センター)

森 潤(大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科)

**03-20-1 肥満小児における血清酸性スフィンゴミエリナーゼの検討**

大高 新<sup>1</sup>、高橋 郁子<sup>1</sup>、野口 篤子<sup>1</sup>、加藤 明英<sup>1</sup>、井上 雅貴<sup>2</sup>、高橋 勉<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 秋田大学大学院医学系研究科小児科学講座、<sup>2</sup> 由利組合総合病院小児科

**03-20-2 家族性高コレステロール血症ホモ接合体の小児に対する ANGPTL3 阻害薬(エビナクマブ)の治療効果**

会津 克哉、梁 偉博、藤林 俊助、千葉 悠太

埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科

**03-20-3 青年および成人プラダー・ウィリ症候群における EQ-5D-5L スコアによる QOL 評価と関連因子の検討**

小西 絢子<sup>1,2,3</sup>、橘 真紀子<sup>4,13</sup>、大戸 佑二<sup>5,13</sup>、鹿島田 健一<sup>6,13</sup>、石井 智弘<sup>7,13</sup>、高橋 裕<sup>8,13</sup>、  
室谷 浩二<sup>9,13</sup>、青木 洋子<sup>10,13</sup>、黒澤 健司<sup>11,13</sup>、緒方 勤<sup>12,13</sup>、川井 正信<sup>12,13</sup>

<sup>1</sup> 大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門、

<sup>2</sup> 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、<sup>3</sup> 大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学、

<sup>4</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>5</sup> 獨協医科大学埼玉医療センター小児科、

<sup>6</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>7</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、

<sup>8</sup> 奈良県立医科大学糖尿病・内分泌内科学講座、<sup>9</sup> 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、

<sup>10</sup> 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻遺伝医療学分野、

<sup>11</sup> 神奈川県立こども医療センター遺伝科、<sup>12</sup> 浜松医科大学小児科学講座、

<sup>13</sup> 難治性疾患政策研究事業成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群(プラダーウィリ症候群・スーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究班

**03-20-4 成人プラダー・ウィリ症候群患者における GH 治療は骨格筋量を増加させる**

前山 隆智<sup>1,2,3</sup>、小泉 美紀子<sup>2</sup>、畑 彩葉<sup>2</sup>、和田 珠希<sup>2</sup>、宮原 由紀<sup>2</sup>、位田 忍<sup>4</sup>、  
恵谷 ゆり<sup>2</sup>、川井 正信<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup> 大阪大学大学院医学系研究科、<sup>2</sup> 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、

<sup>3</sup> 大阪母子医療センター研究所分子遺伝・代謝内分泌研究部門、

<sup>4</sup> 大阪母子医療センター臨床検査部

### 03-20-5 小児期・思春期発症摂食障害患者の BMI-SDS 変化率と FT3/FT4 の関連

庄司 保子<sup>1,2</sup>、川井 正信<sup>3,4</sup>、和田 珠希<sup>4</sup>、渡部 瑤<sup>5</sup>、山本 幸代<sup>6,7</sup>、小山 さとみ<sup>8,9</sup>、杉本 哲<sup>10</sup>、河辺 泰宏<sup>10</sup>、蜂屋 瑠見<sup>11</sup>、磯島 豪<sup>12</sup>、竹本 幸司<sup>13</sup>、森 潤<sup>5</sup>、井ノ口 美香子<sup>14,15</sup>

<sup>1</sup> 富山大学学術研究部医学系疫学健康政策学講座、

<sup>2</sup> 富山大学地域連携機構地域医療・保健支援部門、

<sup>3</sup> 大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門、

<sup>4</sup> 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、

<sup>5</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、<sup>6</sup> 産業医科大学医学部医学教育、

<sup>7</sup> 産業医科大学医学部小児科、<sup>8</sup> 獨協医科大学埼玉医療センター小児科、

<sup>9</sup> 獨協医科大学小児科学、<sup>10</sup> 京都府立医科大学小児科、<sup>11</sup> 東京歯科大学市川総合病院小児科、

<sup>12</sup> 虎の門病院小児科、<sup>13</sup> 愛媛県立新居浜病院小児科、<sup>14</sup> 慶應義塾大学保健管理センター、

<sup>15</sup> 慶應義塾大学医学部小児科

### 03-20-6 SGA 性低身長症ではその他の低身長児よりも TSH に対する FT3 が高値をとる

今田 寛<sup>1,2</sup>、南谷 幹史<sup>3</sup>、成瀬 裕紀<sup>4</sup>、高谷 具純<sup>1,2</sup>、濱田 洋通<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 千葉大学医学部小児病態学、<sup>2</sup> 成田赤十字病院小児科、

<sup>3</sup> 帝京大学ちば総合医療センター小児科、<sup>4</sup> 松戸市立総合医療センター小児科

## 一般口演 21 性腺・性分化疾患・思春期 5

11月1日(土) 11:15 ~ 12:15 第2会場(グランドボールルームC)

座長 蜂屋 瑠見(東京歯科大学市川総合病院小児科)

沼倉 周彦(埼玉医科大学ゲノム医療科)

### 03-21-1 出生体重と小児期 BMI の思春期への影響：多変量メンデルランダム化解析

樋口 洋介、川崎 綾子、藤原 進太郎、江渕 有紀、古城 真秀子

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター小児科

### 03-21-2 完全型アンドロゲン不応症候群成人を対象とした疾患説明・告知に関する無記名 Web アンケート調査

樋口 伊佐子<sup>1</sup>、池辺 藍<sup>1</sup>、田中 愛子<sup>1</sup>、川井 正信<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 大阪母子医療センター看護部、<sup>2</sup> 大阪母子医療センター消化器・内分泌科

### 03-21-3 ゴナドトロピン依存性思春期早発症への1年間の性腺抑制療法は、骨塩量獲得への影響は少ない

萩原 美穂<sup>1</sup>、武者 育麻<sup>2,3</sup>、川名 宏<sup>2</sup>、沼倉 周彦<sup>2,3</sup>、菊池 透<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 埼玉医科大学病院、<sup>2</sup> 埼玉医科大学小児科、<sup>3</sup> 埼玉医科大学ゲノム医療科

### 03-21-4 COVID-19 流行が中枢性思春期早発症に与えた影響：神奈川県内4施設共同研究

小松 洋介<sup>1,2,3</sup>、菊池 信行<sup>2,5</sup>、西山 邦幸<sup>3,5</sup>、大杉 康司<sup>4,5</sup>、志賀 健太郎<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup> 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター、

<sup>2</sup> 独立行政法人労働者安全機構横浜労災病院こどもセンター、

<sup>3</sup> 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター小児科、<sup>4</sup> 小田原市立病院小児科、

<sup>5</sup> 横浜市立大学発生成育小児医療学教室

### 03-21-5 北海道上川中部医療圏における COVID-19 パンデミック前後の女儿の特発性中枢性思春期早発症発症率の推移

田上 晃弘<sup>1,2</sup>、齊藤 翔真<sup>1</sup>、泉 健吾<sup>1</sup>、山村 日向子<sup>1</sup>、國米 崇秀<sup>1</sup>、鈴木 滋<sup>1</sup>、

向井 徳男<sup>3</sup>、白井 勝<sup>4</sup>、伊藤 善也<sup>5,6</sup>、高橋 悟<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 旭川医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 名寄市立総合病院小児科、<sup>3</sup> 旭川赤十字病院小児科、

<sup>4</sup> 旭川厚生病院小児科、<sup>5</sup> 日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域、<sup>6</sup> 豊岡中央病院小児科

### 03-21-6 学校現場におけるプレコンセプションケアの認識と現状：北九州市アンケート調査からの示唆

池上 朋未<sup>1,2</sup>、桑村 真美<sup>1</sup>、齋藤 玲子<sup>1</sup>、山本 幸代<sup>1,3</sup>、深野 玲司<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 産業医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 北九州総合病院、<sup>3</sup> 産業医科大学医学部医学教育担当教員

11月1日(土) 11:15 ~ 12:15 第3会場(グランドボールルームD)

座長 坂田 園子(県立広島病院小児科)

小林 弘典(島根大学医学部附属病院検査部)

★ O3-22-1 胸部 X 線画像と深層学習を使用した骨成熟異常の検出

太田 英仁<sup>1</sup>、埴 孝也<sup>1</sup>、吉原 浩之<sup>2</sup>、佐藤 綾美<sup>1</sup>、足立 夏帆<sup>1</sup>、千葉 有美子<sup>1</sup>、  
田中 裕之<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京大学医学部小児科、<sup>2</sup> 東京大学大学院医学系研究科

O3-22-2 細胞内IV型コラーゲン輸送に関与する SEC23A 遺伝子バリエーションによる、軟骨内骨化異常に基づく成長障害

矢ヶ崎 英晃<sup>1</sup>、成澤 宏宗<sup>1</sup>、牧野 耕一<sup>1</sup>、望月 美恵<sup>1</sup>、小林 基章<sup>1</sup>、佐藤 和正<sup>1</sup>、  
青柳 閣郎<sup>2</sup>、太田 正法<sup>1</sup>、犬飼 岳史<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 山梨大学医学部小児科、<sup>2</sup> 山梨県立あけぼの医療福祉センター

O3-22-3 手根骨単純 X 線写真において特徴的な所見を認めた成長障害の 4 例

滝島 茂<sup>1,2</sup>、松田 希<sup>1</sup>、瀧澤 千絵子<sup>1</sup>、高澤 啓<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>3</sup>、長谷川 毅<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 草加市立病院診療部小児科、

<sup>2</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野(小児科)、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

O3-22-4 永久歯萌出遅延を契機に診断した ANKH 遺伝子バリエーションに起因する常染色体顕性頭蓋骨幹端異形成症の女児例

森 真以<sup>1,2</sup>、堀 友博<sup>1,2</sup>、松本 英樹<sup>1</sup>、笹井 英雄<sup>1,2,3</sup>、小関 道夫<sup>1</sup>、川本 典生<sup>1</sup>、  
大西 秀典<sup>1,2,4</sup>

<sup>1</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科小児科学、

<sup>2</sup> 岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター、

<sup>3</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科小児希少難病早期診断・予防医学講座、

<sup>4</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科希少難病研究室

O3-22-5 副甲状腺機能低下症は小児・成人年齢で血清カルシウム低値・正常値のインタクト PTH 値で診断可能である

馬場 義郎<sup>1,2,3</sup>、滝島 茂<sup>4,5</sup>、入江 航生<sup>6</sup>、池側 研人<sup>1,7</sup>、鹿島田 健一<sup>5,8</sup>、伊東 伸朗<sup>9</sup>、  
長谷川 行洋<sup>1,10</sup>

<sup>1</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup> 新百合ヶ丘総合病院小児科、

<sup>3</sup> 慶應義塾大学医学部小児科、<sup>4</sup> 草加市立病院小児科、

<sup>5</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野(小児科)、

<sup>6</sup> 東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌代謝内科、<sup>7</sup> 東京都立小児総合医療センター臨床試験科、

<sup>8</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、

<sup>9</sup> 東京大学大学院医学系研究科難治性骨疾患治療開発講座、<sup>10</sup> 多摩北部医療センター小児科

O3-22-6 GCM2 遺伝子に新規複合ヘテロ接合性バリエーションを認めた家族性孤立性副甲状腺機能低下症 2 型の 1 例

橋本 伸弘<sup>1</sup>、酒井 英知<sup>1</sup>、平泉 泰琳<sup>1</sup>、水谷 祐喜子<sup>1</sup>、佐野 伸一朗<sup>2</sup>、西田 光宏<sup>1</sup>、  
深見 真紀<sup>3</sup>、鳴海 覚志<sup>4</sup>、長谷川 奉延<sup>4</sup>、上牧 務<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 静岡市立清水病院、<sup>2</sup> 静岡県立こども病院糖尿病代謝内科、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、<sup>4</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室

## ショートオーラル 1 甲状腺

10月30日(木) 18:10 ~ 19:10 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 中村 明枝(国立成育医療研究センター研究所)

岩山 秀之(愛知医科大学小児科)

**SOP1-1-1 新生児 TSH スクリーニング陽性の先天性甲状腺機能低下症未治療児の長期知的発達転帰予後**

池谷 紀衣子<sup>1</sup>、樋口 あかり<sup>2</sup>、西林 優<sup>1</sup>、錦織 朱<sup>1</sup>、森脇 彩賀<sup>1</sup>、柏坂 舞<sup>1</sup>、  
西藤 知城<sup>1</sup>、尾崎 佳代<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立こども病院代謝内分泌科、<sup>2</sup>二子新地ひかりこどもクリニック小児科

**SOP1-1-2 中枢性甲状腺機能低下症に生化学的な副腎皮質機能低下症を伴った IGSF1 異常症の乳児例**

窪田 義己<sup>1,2</sup>、柴田 浩憲<sup>1,2</sup>、有安 大典<sup>1,2</sup>、志村 和浩<sup>2</sup>、長谷川 奉延<sup>2</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>

<sup>1</sup>川崎市立川崎病院小児科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室

**SOP1-1-3 小児のレボチロキシン単回大量服薬による甲状腺中毒症の症状は軽度である**

小松 弘季<sup>1</sup>、多久和 麻由子<sup>1</sup>、上田 華奈子<sup>1,2</sup>、池田 裕亮<sup>2</sup>、高桑 聖<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立西宮病院小児科、<sup>2</sup>兵庫県立尼崎総合医療センター小児科

**SOP1-1-4 T4 単独療法で軽快せず、T3 + T4 併用療法で軽快した萎縮性甲状腺炎の1例**

桧作 和子

鹿児島徳洲会病院

**SOP1-1-5 自己免疫性甲状腺炎を伴った甲状腺腫瘍の2例**

武内 香菜子、円山 牧子、熊田 寛子、内海 孝法、香川 礼子、岡田 賢

広島大学病院小児科

**SOP1-1-6 甲状腺びまん性硬化型乳頭癌に対して甲状腺全摘、副甲状腺温存を行った7歳女児の治療経験**

山口 由起子、妹尾 慎太郎、藤本 正伸、難波 範行

鳥取大学附属病院周産期・小児医学分野

**SOP1-1-7 当院で経験した小児期発症バセドウ病の臨床像**

田中 由美<sup>1</sup>、白川 詩織<sup>1</sup>、桐野 玄<sup>2</sup>、中谷 久恵<sup>1,2</sup>、高澤 啓<sup>1,2</sup>、鹿島田 健一<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>土浦協同病院、<sup>2</sup>東京科学大学発生発達病態学分野、

<sup>3</sup>国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

**SOP1-1-8 診断時に好中球減少および血小板減少を呈したバセドウ病の1例**

吉木 佑太郎<sup>1</sup>、和田 珠希<sup>1</sup>、石川 達也<sup>1</sup>、山野 由貴<sup>1</sup>、畑 彩葉<sup>1</sup>、宮原 由紀<sup>1</sup>、  
惠谷 ゆり<sup>1</sup>、川井 正信<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター消化器・内分泌科、

<sup>2</sup>大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門

## ショートオーラル 2 糖代謝・糖尿病・低血糖 1

10月30日(木) 18:10 ~ 19:10 第2会場(グランドボールルーム C)

座長 石井加奈子(福岡市立こども病院内分泌代謝科)

竹本 幸司(愛媛県立新居浜病院小児科)

**SOP1-2-1 重症糖尿病性ケトアシドーシス急性期に出現した足部病変が潰瘍へ進展した初発1型糖尿病の男児例**

山口 将邦、大津 義晃、大澤 好充、和田 綾、島田 正晴、滝沢 琢己

群馬大学医学部附属病院小児科

**SOP1-2-2 高血糖緊急症の発症時に重篤な褥瘡を呈した2小児例**

中村 千鶴子、長崎 啓祐、竹内 浩一

長野県立こども病院内分泌代謝科

- SOP1-2-3 自己注射部位硬結（インスリンボール）に起因する糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）を発症した小児例**  
 酢谷 明人<sup>1,2</sup>、高澤 啓<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 川口市立医療センター小児科、<sup>2</sup> 東京科学大学発生発達病態学分野
- SOP1-2-4 バセドウ病と1型糖尿病の経過中に TINU 症候群を合併した1例**  
 西林 優<sup>1,2</sup>、錦織 朱<sup>1</sup>、森脇 彩賀<sup>1</sup>、柏坂 舞<sup>1</sup>、西藤 知城<sup>1</sup>、池谷 紀衣子<sup>1</sup>、  
 貝藤 裕史<sup>2</sup>、尾崎 佳代<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 兵庫県立こども病院代謝内分泌科、<sup>2</sup> 兵庫県立こども病院腎臓内科
- SOP1-2-5 小児期発症1型糖尿病（T1DM）患者において、とくに発症後10年は自己免疫性甲状腺疾患（AITD）の合併に注意する**  
 松田 希<sup>1</sup>、滝島 茂<sup>1</sup>、瀧澤 千絵子<sup>1</sup>、高澤 啓<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>3</sup>、長谷川 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 草加市立病院、<sup>2</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野、  
<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科
- SOP1-2-6 タスク・シフト/シェアによるクラウドを用いた血糖管理システムの運用**  
 中島 佑<sup>1</sup>、虫本 雄一<sup>1,8</sup>、武市 幸奈<sup>2,8</sup>、川満 紀子<sup>3,8</sup>、今丸 範子<sup>4</sup>、梶野 美保<sup>4,8</sup>、  
 大隈 俊明<sup>5,8</sup>、坂本 竜一<sup>2,8</sup>、酒田 あゆみ<sup>3</sup>、勝田 仁<sup>6,7,8</sup>、小川 佳宏<sup>2,8</sup>  
<sup>1</sup> 九州大学病院小児科、<sup>2</sup> 九州大学大学院医学研究院病態制御内科学分野、  
<sup>3</sup> 九州大学病院検査部、<sup>4</sup> 九州大学病院看護部、  
<sup>5</sup> 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学分野、  
<sup>6</sup> 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野、  
<sup>7</sup> 九州大学大学院医学研究院病態修復内科学分野、<sup>8</sup> 九州大学病院糖尿病診療支援センター
- SOP1-2-7 発達障害のある小児期発症2型糖尿病患者にインスリンイコデクを使用した2例**  
 上田 悠、中谷 恵理、松村 桃子、中嶋 麻子、福島 由佳、中原 小百合、石川 珠代、  
 吉田 忍  
 近江八幡市立総合医療センター小児科
- SOP1-2-8 L-asparaginase 関連肺炎後のステロイド糖尿病に対しSAP療法を使用した一例**  
 持田 千幸<sup>1,2</sup>、波多野 恵<sup>1,2</sup>、小野 林太郎<sup>1</sup>、小西 采良<sup>1</sup>、足洗 美穂<sup>1</sup>、吉原 宏樹<sup>1</sup>、  
 細谷 要介<sup>1</sup>、長谷川 大輔<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 聖路加国際病院小児科、<sup>2</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍医学

### ショートオーラル3 副腎

10月30日（木）18:10～19:10 第3会場（グランドボールルームD）

座長 溝田美智代（今村総合病院小児科）  
 有安 大典（横浜市立市民病院小児科）

**SOP1-3-1 潰瘍性大腸炎を発症した21-水酸化酵素欠損症の15歳女兒の一例**

沼田 遥、田嶋 朝子、宮田 市郎  
 東京慈恵会医科大学小児科学講座

**SOP1-3-2 微少変化型ネフローゼ症候群を発症した先天性副腎過形成症（21水酸化酵素欠損症）の1例**

田中 弘之、片山 寿夫、喜多村 哲朗、野口 佳江  
 岡山済生会総合病院小児科

**SOP1-3-3 21-水酸化酵素欠損症における新生児期のNaCl補充の必要性**

谷本 英里、塩田 翔吾、杉浦 愛子、福井 貞弘、宇治田 風紗、藤岡 晶子、荻原 康子、  
 吉井 啓介、内木 康博、鹿島田 健一  
 国立成育医療研究センター内分泌代謝科

**SOP1-3-4 超早産児の呼吸改善を目的としたヒドロコルチゾン投与による心エコー変化**

下風 朋章、原田 匠、森田 雄介、谷山 禎彦、野口 崇宏、勝又 薫、稲垣 佳典、  
斎藤 朋子、柴崎 淳、豊島 勝昭

神奈川県立こども医療センター新生児科

**SOP1-3-5 全エクソーム解析により SCNN1B にバリエントを同定した偽性低アルドステロン症の女児**

菅野 潤子<sup>1</sup>、中川 智博<sup>1</sup>、三浦 啓暢<sup>1</sup>、川嶋 明香<sup>1,2</sup>、島 彦仁<sup>1</sup>、鈴木 大<sup>1,3</sup>、  
曾木 千純<sup>1,4</sup>、上村 美季<sup>1,5</sup>、箱田 明子<sup>1,6</sup>、菊池 敦生<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野、

<sup>2</sup> 山形県立中央病院小児科、<sup>3</sup> 石巻赤十字病院小児科、<sup>4</sup> JCHO 仙台病院小児科、

<sup>5</sup> 国立病院機構仙台医療センター小児科、<sup>6</sup> JR 仙台病院小児科

**SOP1-3-6 副腎クリーゼを契機に診断された非古典型先天性リポイド過形成の 2 歳男児例**

大濱 尚、齋藤 玲子、桑村 真美、深野 玲司

産業医科大学

**SOP1-3-7 副腎機能低下症の合併が疑われた二頭酵素欠損症の一例**

藤林 俊助、梁 偉博、千葉 悠太、会津 克哉

埼玉県立小児医療センター

**SOP1-3-8 臨床経過が異なる同一 POR 遺伝子変異を有する兄弟例**

千葉 悠太<sup>1</sup>、梁 偉博<sup>1</sup>、藤林 俊助<sup>1</sup>、吉澤 信輔<sup>2</sup>、会津 克哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科、<sup>2</sup> 埼玉県立小児医療センター泌尿器科

**ショートオーラル 4 CCS・水電解質・内分泌腫瘍**

10月30日(木) 18:10～19:10 第4会場(ラ・テラス)

座長 長井 静世(滋賀医科大学小児科学講座)

石黒 寛之(しのはら小児クリニック)

**SOP1-4-1 多尿と AVP 高値から判明した AQP2 ヘテロ接合性バリエントを有する女児例**

加藤 俊輔、藤本 英ミレナ、福田 太郎、水谷 陽貴、濱島 崇

あいち小児保健医療総合センター

**SOP1-4-2 脳正中中部異常を合併した先天性 Reset Osmostat の新生児例**

福井 貞弘<sup>1,2</sup>、塩田 翔吾<sup>1</sup>、杉浦 愛子<sup>1</sup>、谷本 英里<sup>1</sup>、宇治田 風紗<sup>1</sup>、畑山 一貴<sup>2</sup>、  
柴田 優花<sup>2</sup>、吉井 啓介<sup>1</sup>、内木 康博<sup>1</sup>、諫山 哲哉<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター内分泌代謝科、<sup>2</sup> 国立成育医療研究センター新生児科

**SOP1-4-3 デスモプレシン単独療法が有効だった AVPR2 ヘテロ欠失による先天性腎性尿崩症の女児**

泉 健吾<sup>1</sup>、齋藤 翔真<sup>1</sup>、山村 日向子<sup>1</sup>、鈴木 滋<sup>1</sup>、新井田 要<sup>2</sup>、蒔田 芳男<sup>3</sup>、  
高橋 悟<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 旭川医科大学小児科、<sup>2</sup> 金沢医科大学病院ゲノム医療センター、

<sup>3</sup> 旭川医科大学遺伝子診療カウンセリング室

**SOP1-4-4 小児 AVP 分泌不全症診断における水制限試験の有用性の再考：新たなプラトー尿浸透圧時点の設定**

長谷川 行洋<sup>1,2</sup>、宗永 健志<sup>1</sup>、勝二 隆志<sup>1,3</sup>、池側 研人<sup>1,4</sup>、天野 直子<sup>1</sup>、石井 智弘<sup>1</sup>、  
長 秀男<sup>5</sup>

<sup>1</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup> 多摩北部医療センター小児科、

<sup>3</sup> 東京都立小児総合医療センター総合診療科、

<sup>4</sup> 東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター、

<sup>5</sup> 川崎市南部地域療育センター小児科

**SOP1-4-5 副腎腺腫によるクッシング症候群を呈した Beckwith-Wiedemann 症候群の一例**

花川 純子<sup>1</sup>、橘田 一輝<sup>2</sup>、籾生 なおみ<sup>1</sup>、滝崎 奈穂<sup>1</sup>、根本 千裕<sup>1</sup>、金子 拓弥<sup>1</sup>、  
白井 秀仁<sup>3</sup>、慶野 大<sup>4</sup>、田中 水緒<sup>5</sup>、鏡 雅代<sup>6</sup>、室谷 浩二<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、<sup>2</sup> 北里大学医学部小児科学、

<sup>3</sup> 神奈川県立こども医療センター外科、<sup>4</sup> 同血液腫瘍科、<sup>5</sup> 同病理診断科、

<sup>6</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部

**SOP1-4-6 腫瘍性病変との鑑別に苦慮しているリンパ球性下垂体炎の 1 例**

中村 幸恵<sup>1</sup>、浅井 秀哉<sup>1</sup>、吉成 裕紀<sup>1</sup>、新島 瞳<sup>1</sup>、川原 勇太<sup>1</sup>、小熊 啓文<sup>2</sup>、五味 玲<sup>2</sup>、  
田島 敏広<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 自治医科大学小児科、<sup>2</sup> 自治医科大学脳神経外科

**SOP1-4-7 幼児期を含む連続した成長曲線評価の欠如により診断が遅れた頭蓋咽頭腫の男児例**

和田 水生<sup>1,2</sup>、澤野 堅太郎<sup>2,3</sup>、伊藤 沙貴子<sup>2</sup>、佐藤 大祐<sup>2</sup>、佐藤 聖子<sup>2</sup>、佐藤 紘一<sup>2</sup>、  
阿部 裕<sup>2</sup>、齋藤 なか<sup>2</sup>、吉田 宏<sup>2</sup>、小川 洋平<sup>3</sup>、阿部 裕樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 新潟市民病院、<sup>2</sup> 鶴岡市立荘内病院、<sup>3</sup> 新潟大学医歯学総合病院

**SOP1-4-8 混合表現型白血病の造血幹細胞移植後にインスリン依存状態の糖尿病を発症した 15 歳男子**

関 祐子、徳永 美菜子、加藤 嘉一、柿本 令奈、森田 智、西川 拓朗、岡本 康裕  
鹿児島大学病院小児科

**ショートオーラル 5 下垂体・成長**

10月31日(金) 17:40 ~ 18:50 第1会場(グランドボールルーム AB)

座長 籾生なおみ(神奈川県立こども医療センター)

小田洋一郎(茅ヶ崎市立病院小児科)

**SOP2-5-1 GH1 バリエントによる GH 単独分泌不全症の家系列の臨床経過**

木島 俊英<sup>1</sup>、市橋 洋輔<sup>2</sup>、志村 和浩<sup>2,3</sup>、佐藤 武志<sup>2</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>、石井 智弘<sup>2,4</sup>、  
長谷川 奉延<sup>2,5</sup>

<sup>1</sup> 済生会宇都宮病院、<sup>2</sup> 慶應義塾大学病院、<sup>3</sup> 横浜市立市民病院、

<sup>4</sup> 東京都立小児総合医療センター、<sup>5</sup> 葵会柏たなか病院

**SOP2-5-2 日本人小児成長ホルモン分泌不全性低身長患者に対する週 1 回投与の成長ホルモン製剤の第 II 相臨床試験成績**

難波 範行<sup>1</sup>、山本 辰義<sup>2</sup>、浜内 孝太郎<sup>2</sup>、大石 直也<sup>2</sup>、茨木 亮<sup>2</sup>、吉田 理<sup>2</sup>、  
高棹 直子<sup>2</sup>、田中 敏章<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 鳥取大学医学部周産期・小児医学分野、<sup>2</sup> JCR ファーマ株式会社、<sup>3</sup> たなか成長クリニック

**SOP2-5-3 ACVRL1 バリエント陽性の HHT に Septo-optic dysplasia plus 様の画像所見を合併した一例**

服部 花穂<sup>1</sup>、津浦 海里<sup>1</sup>、木島 俊英<sup>1,2</sup>、市橋 洋輔<sup>1</sup>、呉本 尚樹<sup>1</sup>、森澤 和美<sup>1</sup>、  
有光 威志<sup>1</sup>、鳴海 覚志<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>2</sup> 済生会宇都宮病院小児科

**SOP2-5-4 頭部外傷から 9 年経過し診断された複合型下垂体機能低下症の 10 歳女児例**

加藤 嘉一<sup>1</sup>、檜作 和子<sup>1</sup>、徳永 美菜子<sup>2</sup>、溝田 美智代<sup>2</sup>、福重 寿郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 鹿児島市立病院小児科、<sup>2</sup> 今村総合病院小児科

**SOP2-5-5 プラダー・ウィリ症候群における乳幼児期の成長と発達に関する実態調査**

橘 真紀子<sup>1,10</sup>、大戸 佑二<sup>2,10</sup>、鹿島田 健一<sup>3,10</sup>、石井 智弘<sup>4,10</sup>、高橋 裕<sup>5,10</sup>、室谷 浩二<sup>6,10</sup>、  
青木 洋子<sup>7,10</sup>、黒澤 健司<sup>6,10</sup>、緒方 勤<sup>8,10</sup>、川井 正信<sup>9,10</sup>

<sup>1</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>2</sup> 獨協医科大学埼玉医療センター、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター、<sup>4</sup> 東京都立小児総合医療センター、<sup>5</sup> 奈良県立医科大学、

<sup>6</sup> 神奈川県立こども医療センター、<sup>7</sup> 東北大学、<sup>8</sup> 浜松医科大学、<sup>9</sup> 大阪母子医療センター、

<sup>10</sup> 難治性疾患政策研究事業成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群(プラダー・ウィリ症候群・スーナン症候群を含む)の診療水準向上を目指す調査研究班

#### SOP2-5-6 幼稚園・保育園・こども園等における成長曲線活用の実態調査

原田 大輔<sup>1,2</sup>、安達 有梨<sup>2</sup>、上山 薫<sup>1</sup>、清野 佳紀<sup>1</sup>、八木 利津子<sup>2</sup>、柏木 博子<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院小児科、

<sup>2</sup> 桃山学院大学人間教育学部人間教育学科

#### SOP2-5-7 当院における低身長幼児の catch-up 例と負荷試験実施例の臨床的差異の検討

畑川 奈都樹<sup>1</sup>、高尾 洋輝<sup>2</sup>、河村 吉紀<sup>1</sup>、横井 克幸<sup>1</sup>、板野 雅史<sup>1</sup>、水野 晴夫<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup> 藤田医科大学岡崎医療センター、<sup>2</sup> 藤田医科大学医学部小児科学

#### SOP2-5-8 SGA 性低身長症の小児における週 1 回ソマブシタン投与の有効性および安全性：第 3 相臨床試験

鹿島田 健一<sup>1</sup>、Linglart Agnes<sup>2</sup>、Bottcher Volker<sup>3</sup>、Hojby Michael<sup>4</sup>、

Longui Carlos Alberto<sup>5</sup>、Silverman Lawrence<sup>6</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科、

<sup>2</sup> Service d'Endocrinologie et diabete de l'enfant, Hopital Bicetre, Universite Paris-Saclay、

<sup>3</sup> Division of Pediatric Endocrinology and Metabolism, MVZ Endokrinologikum Frankfurt am Main、

<sup>4</sup> Novo Nordisk A/S、

<sup>5</sup> Pediatric Endocrinology Unit, Pediatric Department, Irmandade da Santa Casa de Misericordia de Sao Paulo and Santa Casa de Sao Paulo School of Medical Sciences、

<sup>6</sup> Goryeb Children's Hospital, Atlantic Health System

#### SOP2-5-9 低身長を呈し下垂体機能正常であった、新規 ROBO1 ナンセンスバリエントを有する 1 女児例

今野 麻里絵<sup>1</sup>、木島 俊英<sup>1</sup>、志村 和浩<sup>1</sup>、市橋 洋輔<sup>1</sup>、九島 令子<sup>2</sup>、鳴海 覚志<sup>1</sup>、

石井 智弘<sup>1</sup>、長谷川 奉延<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup> 慶應義塾大学医学部小児科、<sup>2</sup> 東京都立墨東病院新生児科、<sup>3</sup> 柏たなか病院

#### SOP2-5-10 成長ホルモン治療による代謝プロファイルの短期的変化：脂肪酸代謝・糖代謝・アミノ酸代謝への影響

森 潤<sup>1</sup>、甲賀 恵理<sup>1</sup>、渡部 瑤<sup>1</sup>、山田 勇氣<sup>1</sup>、樋口 真司<sup>1</sup>、松井 崇晃<sup>2</sup>、濱口 真英<sup>2</sup>、

福井 道明<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、

<sup>2</sup> 京都府立医科大学内分泌・糖尿病・代謝内科

## ショートオーラル 6 糖代謝・糖尿病・低血糖 2

10月31日(金) 17:40 ~ 18:50 第2会場(グランドボールルーム C)

座長 牧村 美佳 (国立病院機構小倉医療センター小児科)

武者 育麻 (埼玉医科大学病院小児科)

#### SOP2-6-1 乳児期発症 1 型糖尿病 4 例の臨床経過・治療指標の後方視的検討

村井 雄紀<sup>1</sup>、竹内 蘭実<sup>2</sup>、金城 健一<sup>3</sup>、福田 太郎<sup>4</sup>、濱島 崇<sup>4</sup>、佐野 伸一朗<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、<sup>2</sup> 浜松医科大学小児科、<sup>3</sup> 金城こどもクリニック、

<sup>4</sup> あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科

#### SOP2-6-2 遺伝学的原因の異なる新生児糖尿病 2 例の臨床経過

山口 直哉<sup>1</sup>、原 佑太郎<sup>1</sup>、大矢知 真希<sup>1</sup>、吉田 あや<sup>1,2</sup>、鈴木 敦詞<sup>1,3</sup>、青山 幸平<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、<sup>2</sup> 一宮市立市民病院小児科、

<sup>3</sup> 岐阜県立多治見病院小児科

#### SOP2-6-3 12q24.31-32 微細欠失により若年発症成人型糖尿病と原発性性腺機能低下症を呈した 13 歳男児

中川 智博、齋藤 大、島 彦仁、川嶋 明香、鈴木 大、菊池 敦生、菅野 潤子

東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野

#### SOP2-6-4 SAP療法とカーボカウントで血糖管理したINS病的バリエーションによる永続型新生児糖尿病の1か月児

岩佐 真実<sup>1</sup>、宗永 健志<sup>1</sup>、今野 麻里絵<sup>2</sup>、志村 和浩<sup>2</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>、長谷川 行洋<sup>1,3</sup>、石井 智弘<sup>1,2</sup>、天野 直子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>3</sup>多摩北部医療センター小児科

#### SOP2-6-5 繰り返す低血糖と糖尿病を呈し、多彩な臨床像を示したINSR遺伝子異常症の一家系

樋口 真司<sup>1,2</sup>、渡部 瑠<sup>1</sup>、中村 博昭<sup>2</sup>、森 潤<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センター遺伝子診療部

#### SOP2-6-6 68Ga-DOTATOC-PET/CTを用いて膵局所病変の同定を試みた先天性高インスリン血症の1例

山野 由貴<sup>1</sup>、畑 彩葉<sup>1</sup>、前山 隆智<sup>1,9</sup>、和田 珠希<sup>1</sup>、宮原 由起<sup>1,2</sup>、吉田 美寿々<sup>2</sup>、望月 成隆<sup>2</sup>、和田 和子<sup>2</sup>、梅田 聡<sup>3</sup>、奈良 啓悟<sup>3</sup>、岩永 甲午郎<sup>4</sup>、山内 一郎<sup>5</sup>、子安 翔<sup>6</sup>、高間 勇一<sup>7</sup>、神山 雅史<sup>7</sup>、樋口 真司<sup>8</sup>、森 潤<sup>8</sup>、恵谷 ゆり<sup>1</sup>、川井 正信<sup>1,9</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター消化器・内分泌科、<sup>2</sup>大阪母子医療センター新生児科、<sup>3</sup>大阪母子医療センター小児外科、<sup>4</sup>京都大学医学部附属病院小児科、<sup>5</sup>京都大学医学部附属病院糖尿病・内分泌・栄養内科、<sup>6</sup>京都大学医学部附属病院放射線部、<sup>7</sup>大阪市立総合医療センター小児外科、<sup>8</sup>大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、<sup>9</sup>大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門

#### SOP2-6-7 SMPD4遺伝子変異を有し、肺炎の入院加療中に糖尿病の合併が判明した一例

平松 直子<sup>1</sup>、石川 有希美<sup>1</sup>、秋庭 崇人<sup>1,2</sup>、島田 姿野<sup>1,2,3</sup>、岩原 可名人<sup>1,2</sup>、西村 拓朗<sup>1,2</sup>、田久保 憲行<sup>2</sup>、小崎 健次郎<sup>4</sup>、東海林 宏道<sup>2</sup>、高橋 健<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学医学部附属浦安病院、<sup>2</sup>順天堂大学大学院医学研究科小児思春期発達・病態学、<sup>3</sup>順天堂大学大学院医学研究科臨床遺伝学、<sup>4</sup>慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

#### SOP2-6-8 MODYが疑われる家系では、遺伝学的解析による病型の確定が児だけでなく親の治療選択に有用となりうる

高杉 祐生<sup>1</sup>、中川 竜一<sup>1,4</sup>、大野 秀子<sup>2</sup>、中島 泰<sup>3</sup>、齋藤 洋子<sup>4</sup>、山野 春樹<sup>4</sup>、中谷 久恵<sup>4</sup>、桐野 玄<sup>4</sup>、安達 恵利子<sup>4</sup>、高澤 啓<sup>4</sup>

<sup>1</sup>武蔵野赤十字病院小児科、<sup>2</sup>武蔵野赤十字病院新生児内科、<sup>3</sup>中島内科クリニック、<sup>4</sup>東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野

#### SOP2-6-9 急性発症1A型糖尿病発症を契機に22q11.2欠失症候群を診断しえた1例

武藤 結子、成澤 宏宗、塚原 麻里、矢ヶ崎 英晃、三井 弓子、小林 浩司、小林 基章、太田 正法、犬飼 岳史

山梨大学医学部小児科

#### SOP2-6-10 Trisomy 21に合併した1型糖尿病患児一例の治療と支援の経験

江澤 佑真<sup>1,2</sup>、島田 正晴<sup>2</sup>、山口 将邦<sup>2</sup>、和田 綾<sup>2</sup>、大澤 好充<sup>2</sup>、大津 義晃<sup>2</sup>、滝沢 琢己<sup>2</sup>

<sup>1</sup>利根中央病院、<sup>2</sup>群馬大学医学部附属病院

10月31日(金) 17:40~18:50 第3会場(グランドボールルームD)

座長 木下 香(君津中央病院小児科)

宮井健太郎(東京北医療センター小児科)

**SOP2-7-1 さまざまな主訴で来院した低ホスファターゼ症の6例**

北尾 牧子<sup>1</sup>、小松 洋介<sup>2</sup>、沼沢 慶太<sup>2</sup>、志賀 健太郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>横須賀共済病院小児科、<sup>2</sup>横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

**SOP2-7-2 思春期軟骨無形成症児に対する成長ホルモンからボソリチド治療への移行時期と効果の検討**

齋藤 広幸<sup>1,2</sup>、北岡 太一<sup>1,2</sup>、中道 龍哉<sup>1</sup>、山本 賢一<sup>3,5</sup>、中山 尋文<sup>4,5</sup>、藤原 誠<sup>5</sup>、

大幡 泰久<sup>5</sup>、大藪 恵一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医誠会国際総合病院小児科、<sup>2</sup>医誠会国際総合病院難病医療推進センター、

<sup>3</sup>大阪大学医学系研究科保健学専攻成育小児科学、<sup>4</sup>大阪大学歯学系研究科顎顔面口腔外科学、

<sup>5</sup>大阪大学医学系研究科小児科学

**SOP2-7-3 ビタミンB6 負荷試験が診断の一助となった低フォスファターゼ症**

笹岡 大記、永松 扶紗、阿南 浩太郎、中村 公俊

熊本大学病院小児科

**SOP2-7-4 脳性麻痺を併じた低ホスファターゼ症における酵素補充療法の運動機能改善効果**

山村 なつみ<sup>1</sup>、道上 敏美<sup>1,2</sup>、田村 太資<sup>3</sup>、立川 加奈子<sup>2</sup>、陽川 沙季<sup>4</sup>、馬場 皆人<sup>1</sup>、

藤原 香緒里<sup>1</sup>、窪田 拓生<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター腎・代謝科、<sup>2</sup>大阪母子医療センター 研究所骨発育疾患研究部門、

<sup>3</sup>大阪母子医療センターリハビリテーション科、

<sup>4</sup>大阪母子医療センターリハ・育療支援部門

**SOP2-7-5 低Mg血症性低Ca血症を呈したBOR症候群の1例**

兼次 拓也、黒川 慎吾、名嘉山 賀子、仲村 貞郎、仲田 昌吾、島袋 渡、浜田 和弥、

金城 紀子、知念 安紹、中西 浩一

琉球大学大学院医学研究科育成医学講座

**SOP2-7-6 エクソーム解析により診断できた Microcephalic osteodysplastic primordial dwarfism, type II の一例**

池田 麻衣子<sup>1</sup>、佐野 伸一郎<sup>2</sup>、清水 健司<sup>3</sup>、藤澤 泰子<sup>1</sup>、才津 浩智<sup>4</sup>、緒方 勤<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>浜松医科大学小児科学講座、<sup>2</sup>静岡県立こども病院糖尿病・代謝科、

<sup>3</sup>静岡県立こども病院遺伝染色体科、<sup>4</sup>浜松医科大学医学科医化学講座、

<sup>5</sup>浜松医療センター小児科

**SOP2-7-7 新生児におけるビタミンD代謝物 3-epi-25(OH)D3 の経時的変化**

原 香織<sup>1</sup>、森澤 和美<sup>1</sup>、太田 昌志<sup>1</sup>、高橋 修平<sup>1</sup>、村松 翔太<sup>2</sup>、中川 央充<sup>2</sup>、

涌井 昌俊<sup>2,3</sup>、松下 弘道<sup>2,3</sup>、関 芳子<sup>4</sup>、飛弾 麻里子<sup>4</sup>、池田 一成<sup>4</sup>、木内 歌穂<sup>5</sup>、

堀 尚明<sup>5</sup>、長谷川 奉延<sup>1,6</sup>、鳴海 覚志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部小児科、<sup>2</sup>慶應義塾大学病院臨床検査科、

<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室、

<sup>4</sup>さいたま市立病院周産期母子医療センター新生児内科、<sup>5</sup>太田記念病院小児科、

<sup>6</sup>柏たなか病院

**SOP2-7-8 高カルシウム血症を伴った Williams 症候群：ビタミンD代謝産物測定とFGF23の推移**

二川 奈都子<sup>1</sup>、長谷川 高誠<sup>2</sup>、吾郷 祐子<sup>1</sup>、宮原 宏幸<sup>3</sup>、塚原 宏一<sup>3</sup>

<sup>1</sup>岡山大学病院小児科、<sup>2</sup>岡山大学学術研究院医療開発領域小児科、

<sup>3</sup>岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医科学

**SOP2-7-9 常染色体顕性低カルシウム血症 1 型の兄弟例における新生児期カルシウム値の自然経過**

小松 理瑛子<sup>1</sup>、阿部 清美<sup>1</sup>、藤井 雅行<sup>1</sup>、中野 さつき<sup>1</sup>、天野 直子<sup>1,2</sup>、三輪 雅之<sup>3</sup>、  
飛弾 麻里子<sup>3</sup>、池田 一成<sup>3</sup>、鳴海 覚志<sup>4</sup>

<sup>1</sup>さいたま市立病院小児科、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター小児科、

<sup>3</sup>さいたま市立病院新生児科、<sup>4</sup>慶應義塾大学医学部小児科

**SOP2-7-10 Real-world outcomes in Japanese children with achondroplasia receiving vosoritide before 2 years of age: A prospective, observational, multicenter, phase 4 study**

Hiroyuki Tanaka<sup>1</sup>, Taichi Kitaoka<sup>2</sup>, Shirou Matsumoto<sup>3</sup>, Jeanne M Pimenta<sup>4</sup>,

Veronika Horvathova<sup>4</sup>, Hirofumi Tokuoka<sup>5</sup>, Toshimi Michigami<sup>6</sup>

<sup>1</sup>The Univ of Tokyo Hospital, Tokyo, Japan,

<sup>2</sup>ISEIKAI International General Hosp., Osaka, Japan,

<sup>3</sup>Kumamoto Univ. Hospital, Kumamoto, Japan, <sup>4</sup>BioMarin (UK) Ltd, London, UK,

<sup>5</sup>BioMarin Pharmaceutical Japan KK, Tokyo, Japan,

<sup>6</sup>Osaka Women's and Children's Hosp., Osaka, Japan

**ショートオーラル 8 性腺・性分化疾患・思春期**

10月31日(金) 17:40 ~ 18:50 第4会場(ラ・テラス)

座長 麻生 敬子(東邦大学医療センター大森病院小児科)

青山 幸平(名古屋市立大学大学院医学系研究科新生児・小児医学分野)

**SOP2-8-1 早期 GH 治療が筋力発達に有効であった mar(X) を有する Turner 症候群の 1 例**

滝崎 奈穂、金子 拓弥、根本 千裕、籾生 なおみ、花川 純子、室谷 浩二  
神奈川県立こども医療センター

**SOP2-8-2 思春期早発症を契機に診断された diffuse astrocytoma の 1 例**

荒木 まり子、西本 由佳、久川 浩章  
高知大学医学部小児思春期医学

**SOP2-8-3 無月経の原因が X 染色体の部分欠失の可能性が示唆された 1 例**

木原 牧子<sup>1</sup>、数川 逸郎<sup>1</sup>、阿部 茉衣子<sup>1</sup>、柴 康弘<sup>1</sup>、山本 紘子<sup>1</sup>、鮎田 香子<sup>2</sup>、  
皆川 真規<sup>1</sup>

<sup>1</sup>千葉県こども病院内分泌科、<sup>2</sup>成田赤十字病院小児科

**SOP2-8-4 出生時の性別判定における課題：46,XY DSD 3 症例からの考察**

室谷 浩二<sup>1</sup>、籾生 なおみ<sup>1</sup>、根本 千裕<sup>1</sup>、金子 拓弥<sup>1</sup>、滝崎 奈穂<sup>1</sup>、上田 秀明<sup>2</sup>、  
西 盛宏<sup>3</sup>、花川 純子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神奈川県立こども医療センター・内分泌代謝科、<sup>2</sup>同・循環器内科、<sup>3</sup>同・泌尿器科

**SOP2-8-5 思春期に伴い子宮の形態の所見が明らかとなった直腸肛門奇形の 2 例**

今村 真悠子<sup>1</sup>、天野 直子<sup>1</sup>、瑞慶覧 宏彰<sup>1</sup>、富田 紘史<sup>2</sup>、佐藤 裕之<sup>3</sup>、長谷川 行洋<sup>1</sup>、  
石井 智弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌代謝科、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター外科、

<sup>3</sup>東京都立小児総合医療センター泌尿器科

**SOP2-8-6 学校検診で身長促進現象を指摘され、遺伝学的検査により SF-1 異常症と診断した 11 歳社会的な一例**

錦織 朱<sup>1</sup>、西林 優<sup>1</sup>、森脇 彩賀<sup>1</sup>、柏坂 舞<sup>1</sup>、西藤 知城<sup>1</sup>、池谷 紀衣子<sup>1,2</sup>、  
尾崎 佳代<sup>1</sup>

<sup>1</sup>兵庫県立こども病院代謝内分泌科、<sup>2</sup>神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野

**SOP2-8-7 成長ホルモン分泌不全を合併したゴナドトロピン非依存性思春期早発症の女児例**

望月 美恵<sup>1,2</sup>、中村 幸介<sup>1</sup>、沢登 恵美<sup>1</sup>、矢ヶ崎 英晃<sup>2</sup>、谷川 渉<sup>3</sup>、緒方 勤<sup>3</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構甲府病院小児科、<sup>2</sup>山梨大学小児科、<sup>3</sup>浜松医科大学小児科

**SOP2-8-8 中枢性思春期早発症患者における KMT2A 新規プライスサイトバリエーションの同定**

鈴木 江莉奈<sup>1</sup>、澤野 堅太郎<sup>2</sup>、長崎 啓祐<sup>3</sup>、成澤 宏宗<sup>1</sup>、黒木 陽子<sup>4,5,6</sup>、鏡 雅代<sup>1</sup>、  
深見 真紀<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、<sup>2</sup> 新潟大学医歯学総合病院小児科、  
<sup>3</sup> 長野県立こども病院内分泌代謝科、  
<sup>4</sup> 国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、  
<sup>5</sup> 国立成育医療研究センター研究所共同研究管理室、  
<sup>6</sup> 国立成育医療研究センター研究所ゲノム医療研究部

**SOP2-8-9 思春期早発症の精査で診断に至った Klinefelter 症候群の 10 歳男児**

徳永 美菜子、溝田 美智代  
今村総合病院小児科

**SOP2-8-10 ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群を契機に Frasier 症候群と診断し予防的性腺摘出術を行った 3 歳児**

森脇 彩賀<sup>1</sup>、錦織 朱<sup>1</sup>、西林 優<sup>1</sup>、柏坂 舞<sup>1</sup>、西藤 知城<sup>1</sup>、池谷 紀衣子<sup>1</sup>、山村 智彦<sup>2</sup>、  
尾崎 佳代<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 兵庫県立こども病院代謝内分泌科、<sup>2</sup> 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野

**ポスター発表 1 下垂体・成長 1**

**10月30日(木) 18:10～19:10 ポスター会場(グランドボールルーム EF)**

座長 小泉美紀子(淀川キリスト教病院小児科)

秋葉 和壽(国立成育医療研究センター分子内分泌研究部)

**P1-1-1 SHOX 半量不全を認め GH 治療を開始した 3 歳男児例**

横山 陽子<sup>1</sup>、奥野 美佐子<sup>1</sup>、角田 朋大<sup>1</sup>、李 知子<sup>1</sup>、兼松 明弘<sup>2</sup>、澤井 英明<sup>3</sup>、  
竹島 泰弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 兵庫医科大学小児科学、<sup>2</sup> 兵庫医科大学泌尿器科、<sup>3</sup> 兵庫医科大学病院遺伝子診療部

**P1-1-2 低身長を主訴に診断された 45X/46XY Mosaic Turner 症候群の一例**

西山 邦幸<sup>1,2,3</sup>、沼沢 慶太<sup>3</sup>、銚碕 竜範<sup>2</sup>、志賀 健太郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 小田原市立病院小児科、<sup>2</sup> 国立病院機構横浜医療センター小児科、  
<sup>3</sup> 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

**P1-1-3 染色体構造異常を認めた低身長女児に対する追加解析**

我有 茉希<sup>1,5</sup>、家村 綾正<sup>2,5</sup>、酢谷 明人<sup>3,5</sup>、辻 敦美<sup>4,5,6</sup>、齋藤 洋子<sup>5</sup>、沼部 博直<sup>1,5</sup>、  
吉田 雅幸<sup>1</sup>、高澤 啓<sup>5</sup>

<sup>1</sup> 東京科学大学病院遺伝子診療科、<sup>2</sup> 千葉市立海浜病院小児科、  
<sup>3</sup> 川口市立医療センター小児科、<sup>4</sup> 練馬光が丘病院小児科、<sup>5</sup> 東京科学大学病院小児科、  
<sup>6</sup> 東京科学大学病院総合教育研修センター

**P1-1-4 下垂体低形成を認めた成長ホルモン分泌不全性低身長症 12 例の検討  
—画像診断を通じた早期診断の意義—**

内田 直幸、宇都宮 朱里、小野 泰輔、佐久間 彩子、小野 浩明、荒新 修  
広島市立北部医療センター安佐市民病院

**P1-1-5 新規 ACAN 変異を認めた中手骨短縮と骨年齢促進を伴う低身長女児の一例**

田中 基意<sup>1</sup>、高橋 英城<sup>1</sup>、松井 克之<sup>1</sup>、山本 賢一<sup>2,3</sup>、藤原 誠<sup>2</sup>、大幡 泰久<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 滋賀県立総合病院小児内分泌代謝糖尿病科、<sup>2</sup> 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、  
<sup>3</sup> 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座

**P1-1-6 ボソリチドと GH の併用により良好な身長増加を得た成長ホルモン分泌不全合併軟骨無形成症の一例**

島 彦仁、齋藤 大、中川 智博、菊池 敦生、菅野 潤子  
東北大学病院小児科

- P1-1-7 GnRH 負荷試験で反応あるも二次性徴欠如と無嗅症より臨床診断した Kallmann 症候群の 1 例**  
 地行 健二<sup>1</sup>、濱田 淳平<sup>1</sup>、内海 大輔<sup>1</sup>、宇都宮 秀和<sup>1</sup>、竹本 幸司<sup>2</sup>、今野 麻里絵<sup>3</sup>、  
 志村 和浩<sup>3</sup>、長谷川 奉延<sup>3</sup>、江口 真理子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>愛媛大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>2</sup>愛媛県立新居浜病院小児科、  
<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部小児科
- P1-1-8 成長ホルモン補充療法後に診断した巨大胚腫の 2 例**  
 松本 雄太<sup>1</sup>、向山 祐理<sup>1</sup>、中村 新太郎<sup>1</sup>、山本 茉莉<sup>1</sup>、滝沢 文彦<sup>1</sup>、小川 哲史<sup>1</sup>、  
 福原 紀章<sup>2</sup>、登坂 雅彦<sup>2</sup>、西岡 宏<sup>2</sup>、伊藤 慎治<sup>3</sup>、磯島 豪<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国家公務員共済組合連合会虎の門病院小児科、  
<sup>2</sup>国家公務員共済組合連合会虎の門病院肝脳下垂体外科、  
<sup>3</sup>国家公務員共済組合連合会虎の門病院病理診断科
- P1-1-9 成長ホルモン治療により可逆性の局所性脂肪萎縮をきたした 1 男児例**  
 橘田 一輝、浦田 芽久美、石倉 健司  
 北里大学医学部小児科学

## ポスター発表 2 下垂体・成長 2

10月30日(木) 18:10 ~ 19:10 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 草野知江子 (SUBARU 健康保険組合太田記念病院)  
 大津 義晃 (群馬大学大学院医学系研究科小児科学)

- P1-2-1 成長ホルモン補充療法中のアトピー性皮膚炎に対する積極的スキンケア介入により成長率が改善した成長ホルモン分泌不全性低身長症の 2 症例**  
 大嶋 和海<sup>1,2</sup>、大杉 康司<sup>1,2</sup>、小堀 大河<sup>2</sup>、江原 貴子<sup>1</sup>、西山 邦幸<sup>2</sup>、崎村 青葉<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大和市立病院、<sup>2</sup>小田原市立病院
- P1-2-2 SGA 児のフォローアップ中に診断に至った Bloom 症候群の 2 例**  
 山内 建<sup>1</sup>、川崎 秀徳<sup>2</sup>、竹下 峻希<sup>1</sup>、境内 愛実<sup>1</sup>、源 明理<sup>2</sup>、山田 茉未子<sup>3</sup>、  
 鈴木 寿人<sup>3</sup>、小崎 健次郎<sup>3</sup>、井澤 和司<sup>1</sup>、丹羽 房子<sup>1</sup>、梅田 雄嗣<sup>1</sup>、小杉 眞司<sup>2</sup>、  
 河井 昌彦<sup>4</sup>、滝田 順子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院小児科、<sup>2</sup>京都大学医学部附属病院遺伝子診療部、  
<sup>3</sup>慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター、<sup>4</sup>京都大学大学院新生児学講座
- P1-2-3 成長率低下と肥満の出現からクッシング病と診断するまで 4 年を要した精神発達遅滞合併の 13 歳男児**  
 山本 茉莉<sup>1</sup>、向山 祐理<sup>1</sup>、中村 新太郎<sup>1</sup>、滝沢 文彦<sup>1</sup>、小川 哲史<sup>1</sup>、伊藤 慎治<sup>2</sup>、  
 福原 紀章<sup>3</sup>、登坂 雅彦<sup>3</sup>、西岡 宏<sup>3</sup>、磯島 豪<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>虎の門病院小児科、<sup>2</sup>虎の門病院病理診断科、<sup>3</sup>虎の門病院間脳下垂体外科
- P1-2-4 ADHD 小児の在胎週数と出生体重の検討**  
 勝島 由利子<sup>1</sup>、酒井 枝里子<sup>1</sup>、勝島 史夫<sup>1</sup>、横山 浩之<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人勝島小児科医院、<sup>2</sup>ふくしま子ども、女性医療センター
- P1-2-5 心筋症に合併した成長ホルモン分泌不全症において心臓移植後に成長障害の改善を認めた 3 例**  
 伊東 英美、木村 武司、石井 裕代、松岡 由希、三浦 義一、福田 明子、福井 美穂、  
 福岡 智哉、橘 真紀子、大幡 泰久、成田 淳、北島 康司  
 大阪大学大学院医学系研究科小児科学
- P1-2-6 低アルブミン血症から診断に至った Crohn 病の低身長例**  
 白川 詩織<sup>1</sup>、田中 由美<sup>1</sup>、林 大祐<sup>1</sup>、今川 和生<sup>2</sup>、高澤 啓<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>土浦協同病院、<sup>2</sup>筑波大学附属病院小児科、<sup>3</sup>東京科学大学病院小児科
- P1-2-7 成長ホルモン分泌不全性低身長症を合併した朝顔症候群の 2 症例**  
 西本 由佳<sup>1</sup>、宇治田 風紗<sup>1</sup>、山口 修平<sup>1</sup>、杉浦 愛子<sup>1</sup>、塩田 翔吾<sup>1</sup>、谷本 英里<sup>1</sup>、  
 荻原 康子<sup>1</sup>、吉井 啓介<sup>1</sup>、内木 康博<sup>1</sup>、吉田 朋世<sup>2</sup>、仁科 幸子<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>2</sup>国立成育医療研究センター眼科

**P1-2-8 歌舞伎症候群における内分泌合併症の単施設後方視的観察研究**

山野 由貴<sup>1</sup>、和田 珠希<sup>1</sup>、畑 彩葉<sup>1</sup>、前山 隆智<sup>1,2</sup>、宮原 由起<sup>1</sup>、岡本 伸彦<sup>3</sup>、  
位田 忍<sup>4</sup>、恵谷 ゆり<sup>1</sup>、川井 正信<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>大阪母子医療センター消化器・内分泌科、

<sup>2</sup>大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門、

<sup>3</sup>大阪母子医療センター遺伝診療科、<sup>4</sup>大阪母子医療センター臨床検査科

**P1-2-9 漢方治療介入にて身長増加率の改善が得られた一女児例**

上田 晃三

松山赤十字病院小児科

**ポスター発表 3 糖代謝・糖尿病・低血糖 1**

10月30日(木) 18:10～19:10 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 田邊 裕子(関西医科大学香里病院小児科)

平井 洋生(公立学校共済組合四国中央病院小児科)

**P1-3-1 リスペリドン内服中に発症し膵ラ氏島抗体が陽性だった糖尿病の1例**

高橋 知一<sup>1</sup>、奥原 宏治<sup>2</sup>

<sup>1</sup>釧路赤十字病院小児科、<sup>2</sup>天使病院天使こどもメディカルセンター小児科

**P1-3-2 メトホルミンで治療を行い、isCGMで治療効果を確認しているA型インスリン抵抗症の女児例**

福田 太郎<sup>1</sup>、片岡 英里奈<sup>2</sup>、藤本 英ミレナ<sup>1</sup>、加藤 俊輔<sup>1</sup>、水谷 陽貴<sup>1</sup>、濱島 崇<sup>1</sup>

<sup>1</sup>あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科、<sup>2</sup>公立陶生病院小児科

**P1-3-3 WFS1 遺伝子にバリエントを認めた若年発症糖尿病の13歳女児例**

上山 薫、原田 大輔、清野 佳紀、柏木 博子

地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院小児科

**P1-3-4 糖尿病性ケトアシドーシスを合併したMODYの一例**

及川 嶺、千葉 優也、美間 健二、加藤 歩、近田 祐介、守谷 充司、川野 研悟、

北村 太郎、藤原 幾磨

仙台市立病院小児科

**P1-3-5 日常診療における診断バイアスのリスク**

～背景疾患を有する高インスリン高アンモニア血症症候群～

山形 雄伸<sup>1</sup>、服部 真也<sup>1</sup>、吉崎 加奈子<sup>1</sup>、川北 理恵<sup>1</sup>、樋口 真司<sup>2</sup>、森 潤<sup>2</sup>、

細川 悠紀<sup>1</sup>

<sup>1</sup>倉敷中央病院小児科、<sup>2</sup>大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

**P1-3-6 KCNJ11 p.P254Lによる高インスリン性低血糖症の一例**

中山 まどか<sup>1</sup>、志村 和浩<sup>1</sup>、有安 大典<sup>1</sup>、木島 俊英<sup>2</sup>、市橋 洋輔<sup>2</sup>、長谷川 奉延<sup>2,3</sup>、  
鳴海 覚志<sup>2</sup>

<sup>1</sup>横浜市立市民病院小児科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室、

<sup>3</sup>医療社団法人葬会柏たなか病院

**P1-3-7 偏食と低栄養を背景に重篤な低血糖を呈した乳児例**

塚原 麻里<sup>1</sup>、中村 千鶴子<sup>2</sup>、長崎 啓祐<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山梨大学小児科、<sup>2</sup>長野県立こども病院

**P1-3-8 少量αグルコシターゼ阻害薬投与により後期ダンピング症候群のリスクが軽減した重症心身障害児の1例**

永井 晃歩<sup>1</sup>、市橋 洋輔<sup>2</sup>、新井 美絵<sup>1</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京都立大塚病院、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室

**P1-3-9 インスリン分泌能低下による耐糖能異常を合併した小児重症心不全患者へのSGLT2阻害薬導入の問題点**

岡田 朝美、中島 佑、石井 加奈子、都 研一

地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院内分泌・代謝科

10月30日(木) 18:10 ~ 19:10 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 波多野 恵(東京科学大学分子腫瘍医学)

北岡 太一(医誠会国際総合病院小児科)

- P1-4-1 鼠経ヘルニア嵌頓の整復後にARDSを発症し、心停止に至った骨形成不全症Ⅲ型**  
 明利 聡瑠<sup>1</sup>、徳永 成将<sup>1</sup>、山本 夏穂<sup>1</sup>、松山 美静代<sup>1</sup>、澤田 浩武<sup>2</sup>、魏 峻洸<sup>3</sup>、  
 盛武 浩<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野、<sup>2</sup>宮崎大学医学部看護学科、  
<sup>3</sup>宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野
- P1-4-2 パミドロン酸初回投与後に熱性痙攣重積を呈し、抗痙攣薬併用で治療再開し得た骨形成不全症の一例**  
 島田 正晴、山口 将邦、和田 綾、大澤 好充、大津 義晃、滝沢 琢己  
 群馬大学大学院医学系研究科小児科学
- P1-4-3 パミドロン酸治療を行った Snyder-Robinson 症候群の7歳男児例**  
 梁 偉博、藤林 俊助、千葉 悠太、会津 克哉  
 埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科
- P1-4-4 診断時期と患者認識の差異からみる FGF23 関連低リン血症性くる病の課題**  
 鈴木 友梨<sup>1</sup>、折本 竜太<sup>2</sup>、齋藤 洋子<sup>1</sup>、山野 春樹<sup>1</sup>、中谷 久恵<sup>1</sup>、辻 敦美<sup>1</sup>、高澤 啓<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京科学大学発生発達病態学分野/小児科、<sup>2</sup>東京北医療センター小児科
- P1-4-5 出生後早期に治療介入した低ホスファターゼ症の1例**  
 神村 未来、加藤 嘉一、檜作 和子  
 鹿児島市立病院
- P1-4-6 ALPL 遺伝子に同一ヘテロバリエーションを持ち、歯限局型低フォスファターゼ症と明らかな症状のない双胎男児**  
 麻生 敬子、植田 有紀子、佐藤 真理  
 東邦大学医療センター大森病院
- P1-4-7 ADAMTSL2 新規ナンセンスバリエーションによる Geleophysic dysplasia type 1 の一例**  
 志村 和浩<sup>1,2</sup>、木島 俊英<sup>2,3</sup>、市橋 洋輔<sup>2</sup>、巷岡 祐子<sup>4</sup>、西村 玄<sup>5</sup>、長谷川 奉延<sup>2,6</sup>、  
 鳴海 覚志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立市民病院小児科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>3</sup>済生会宇都宮病院小児科、  
<sup>4</sup>慶應義塾大学医学部放射線科学教室、<sup>5</sup>武蔵野陽和会病院放射線科、  
<sup>6</sup>医療法人社団葵会柏たなか病院
- P1-4-8 過誤によりボソリチドを倍量投与された軟骨無形成の3か月児**  
 佐竹 俊哉、小田 洋一郎  
 茅ヶ崎市立病院
- P1-4-9 軟骨無形成症患者における infgratinib の海外第Ⅱ相試験結果を踏まえた国内第Ⅲ相試験(AOBA) デザイン**  
 難波 範行<sup>1</sup>、Rogoff Daniela<sup>2</sup>、佐藤 裕<sup>3</sup>、眞野 博貴<sup>3</sup>、市川 知広<sup>3</sup>、大藪 恵一<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>鳥取大学医学部周産期・小児医学分野、<sup>2</sup>QED Therapeutics、<sup>3</sup>協和キリン株式会社、  
<sup>4</sup>医誠会国際総合病院難病医療推進センター

10月30日(木) 18:10～19:10 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 西垣 五月(希望の森成長発達クリニック)  
山本 賢一(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

**P1-5-1 フォローアップミルクの多飲により高カルシウム血症を来した 1 例**

木下 尚子  
公益財団法人丹後中央病院小児科

**P1-5-2 新生児遅発性低カルシウム血症から診断された、母児の副甲状腺機能異常**

永井 由紗<sup>1,2</sup>、野田 雅裕<sup>1</sup>、菅生 将史<sup>2</sup>、朝倉 真理<sup>1</sup>、森本 潤<sup>2</sup>、重田 真幸<sup>2</sup>、  
香取 竜生<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 公立昭和病院小児科、<sup>2</sup> 公立昭和病院糖尿病内分泌内科

**P1-5-3 高 P 血症が遷延した Ca およびビタミン D 欠乏による低 Ca 血症の 14 歳男児例**

鎗水 飛雄真<sup>1</sup>、鏡 雅代<sup>2</sup>、本田 美紗<sup>1</sup>、蜂屋 瑠見<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 東京歯科大学市川総合病院小児科、<sup>2</sup> 国立成育医療センター研究所分子内分泌研究部

**P1-5-4 けいれん重積時に高用量のグルコン酸 Ca 持続静注を要した 22q.11.2 欠失症候群の 1 例**

金子 拓弥、根本 千裕、滝崎 奈穂、籬生 なおみ、花川 純子、室谷 浩二  
神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科

**P1-5-5 偽性副甲状腺機能低下症 1A 女児の就学までの臨床経過**

加納 孝真、板倉 京平、植竹 風太、渡邊 美優、栗田 祥太郎、島田 紘行、榎本 さやか、  
成田 肇、棚橋 義浩、河野 好彦、山本 ひかる、原 紳也  
トヨタ記念病院

**P1-5-6 乳児期に高度肥満を指摘された偽性副甲状腺機能低下症 1b の女児例**

筒井 英美<sup>1</sup>、松井 克之<sup>2</sup>、塚村 篤史<sup>1</sup>、長井 静世<sup>1</sup>、丸尾 良浩<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 滋賀医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 滋賀県立総合病院小児内分泌代謝糖尿病科

**P1-5-7 乳児ビタミン D 欠乏性低 Ca 血症として治療し軽快するも、11 年後に下肢痛で再来した副甲状腺機能低下症の一例**

齊藤 翔真<sup>1</sup>、泉 健吾<sup>1</sup>、山村 日向子<sup>1</sup>、島田 空知<sup>2</sup>、鈴木 滋<sup>1</sup>、高橋 悟<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 旭川医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 旭川厚生病院小児科

**P1-5-8 偽性副甲状腺機能低下症との鑑別が困難な低カルシウム血症を認める 1 型糖尿病の 1 例**

岩本 美紀<sup>1,2</sup>、伊藤 恭平<sup>2,3</sup>、高橋 朋香<sup>2</sup>、宮脇 正和<sup>2,4</sup>、趙 有季<sup>1</sup>、辻 知見<sup>1</sup>、武内 崇<sup>1</sup>、  
徳原 大介<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 海南医療センター小児科、<sup>2</sup> 和歌山県立医科大学小児科、<sup>3</sup> 和歌山ろうさい病院小児科、  
<sup>4</sup> 紀南病院小児科

**P1-5-9 小児および若年成人の牛乳アレルギー患者 103 例における骨密度の検討**

中野 さつき<sup>1,2</sup>、阿部 清美<sup>1,2</sup>、小松 理瑛子<sup>1</sup>、薄井 摩稚子<sup>1</sup>、濱畑 裕子<sup>1</sup>、天野 直子<sup>1,2,3</sup>、  
明石 真幸<sup>1,2</sup>、長谷川 奉延<sup>2,4</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> さいたま市立病院小児科、<sup>2</sup> 慶應義塾大学医学部小児科、  
<sup>3</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>4</sup> 柏たなか病院

10月30日(木) 18:10～19:10 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 香川 礼子(広島大学病院小児科)  
島崎 俊介(船橋市立医療センター小児科)

**P1-6-1 非典型的な主訴で受診した思春期女児の中枢性尿崩症の 2 例**

瀧澤 千絵子<sup>1</sup>、松田 希<sup>1</sup>、滝島 茂<sup>1</sup>、高澤 啓<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>3</sup>、長谷川 毅<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 草加市立病院小児科、<sup>2</sup> 東京科学大学医歯学総合研究科発生発達病態学分野、  
<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

- P1-6-2 慢性 SIADH に対しトルバプタンで治療している脳腫瘍術後の一例**  
井上 巳香、中農 万里、小幡 美智  
国立病院機構金沢医療センター小児科
- P1-6-3 非特異的な臨床経過を辿る特発性乳児高カルシウム血症の 1 例**  
家村 綾正、小野 真  
千葉市立海浜病院小児科
- P1-6-4 家族性低カルシウム尿性高カルシウム血症 3 型の 1 家系**  
大山 和紗<sup>1,6</sup>、西山 楓奈<sup>2,6</sup>、中村 慧<sup>3,6</sup>、岩佐 真実<sup>4,6</sup>、隅田 健太郎<sup>5</sup>、末岡 秀文<sup>6</sup>、  
石井 玲<sup>6</sup>、津川 毅<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 市立釧路総合病院小児科、<sup>2</sup> 製鉄記念室蘭病院小児科、<sup>3</sup> 岩見沢市立総合病院小児科、  
<sup>4</sup> 東京都立小児総合医療センター、<sup>5</sup> 札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌学講座、  
<sup>6</sup> 札幌医科大学小児科学講座
- P1-6-5 横紋筋融解症をきたしたドモルシア症候群の 1 例**  
数間 貴紀、松岡 尚史  
東京女子医科大学附属足立医療センター小児科
- P1-6-6 繰り返す低血糖発作を契機に診断したリンパ節転移を伴う巨大インスリノーマの 12 歳男児例**  
松本 英樹<sup>1</sup>、堀 友博<sup>1,2</sup>、小林 結実<sup>1</sup>、森 真以<sup>1,2</sup>、大塚 博樹<sup>1,2</sup>、笹井 英雄<sup>1,2,3</sup>、  
小関 道夫<sup>1</sup>、川本 典生<sup>1</sup>、大西 秀典<sup>1,2,4</sup>  
<sup>1</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科小児科学、  
<sup>2</sup> 岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター、  
<sup>3</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科小児希少難病早期診断・予防医学講座、  
<sup>4</sup> 岐阜大学大学院医学系研究科希少難病研究室
- P1-6-7 副腎皮質腫瘍に伴う思春期早発症を契機に Li-Fraumeni 症候群と診断された男児例**  
畑 彩葉<sup>1</sup>、山野 由貴<sup>1</sup>、前山 隆智<sup>2</sup>、和田 珠希<sup>1</sup>、宮原 由起<sup>1</sup>、位田 忍<sup>3</sup>、  
長谷川 結子<sup>4</sup>、岡本 伸彦<sup>4</sup>、恵谷 ゆり<sup>1</sup>、川井 正信<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、  
<sup>2</sup> 大阪母子医療センター分子遺伝・内分泌代謝研究部門、<sup>3</sup> 大阪母子医療センター臨床検査科、  
<sup>4</sup> 大阪母子医療センター遺伝診療科
- P1-6-8 成長ホルモン分泌不全性低身長症の治療中に認めた低 K 血症から診断に至った Gitelman 症候群の 1 例**  
郷津 陽平、松浦 宏樹、酒井 悠佑、佐々木 拓、竹内 勇介、吉江 春人  
諏訪赤十字病院小児科
- P1-6-9 小児巨大プロラクチノーマの男児 2 例の臨床経過**  
中村 新太郎<sup>1</sup>、向山 祐理<sup>1</sup>、山本 茉莉<sup>1</sup>、滝沢 文彦<sup>1</sup>、小川 哲史<sup>1</sup>、伊藤 慎治<sup>2</sup>、  
福原 紀章<sup>3</sup>、登坂 雅彦<sup>3</sup>、西岡 宏<sup>3</sup>、磯島 豪<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 虎の門病院小児科、<sup>2</sup> 虎の門病院病理診断科、<sup>3</sup> 虎の門病院間脳下垂体外科

## ポスター発表 7 性腺・性分化疾患・思春期

10月31日(金) 17:40 ~ 18:50 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 川北 理恵(倉敷中央病院小児科)  
堀 尚明(SUBARU 健康保険組合太田記念病院)

- P2-7-1 性分化疾患との鑑別を要した陰核肥大の女児例**  
三森 愛美<sup>1</sup>、平松 直子<sup>1</sup>、成田 知聡<sup>1</sup>、西村 拓朗<sup>1</sup>、滝口 真美<sup>1</sup>、上野 梨子<sup>1</sup>、  
深江 俊愛<sup>1</sup>、石川 有希美<sup>1</sup>、深田 彩加<sup>2</sup>、田中 奈々<sup>2</sup>、矢崎 悠太<sup>2</sup>、春名 英典<sup>1,3</sup>、  
田久保 憲行<sup>1</sup>、浦尾 正彦<sup>4</sup>、東海林 宏道<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 順天堂大学医学部小児科学講座、<sup>2</sup> 順天堂大学医学部小児外科・小児泌尿生殖器外科学講座、  
<sup>3</sup> 保坂こどもクリニック、<sup>4</sup> 順天堂大学医学部附属練馬病院小児外科学講座

- P2-7-2 ターナー症候群と発達障碍児の視覚認知機能訓練による視機能と視覚認知を含む脳・認知機能の推移**  
 荒木 久美子<sup>1</sup>、稲田 勤<sup>2</sup>、西垣 五月<sup>3</sup>、望月 貴博<sup>3</sup>、荒木 まり子<sup>4</sup>、間部 裕代<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>秋山成長クリニック、<sup>2</sup>高知リハビリテーション専門職大学言語聴覚学専攻、  
<sup>3</sup>希望の森成長発達クリニック、<sup>4</sup>高知大学医学部小児思春期医学、<sup>5</sup>間部病院小児科
- P2-7-3 無月経を主訴に診断に至った完全型アンドロゲン不応症 2 例 - 性腺摘出のタイミング**  
 長谷川 真理、秋定 博子、野上 恵嗣  
 奈良県立医科大学小児科
- P2-7-4 14 歳 7 か月に生理が出現した、ブラダーウィリー症候群の女児の 1 症例**  
 金城 さおり<sup>1</sup>、又吉 慶<sup>1</sup>、真喜屋 智子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>沖縄県立中部病院小児科、<sup>2</sup>沖縄県立中部病院新生児科
- P2-7-5 エストロゲン・プロゲステロン療法開始後に月経モリミナを発症した CHARGE 症候群の一例**  
 木内 歌穂<sup>1</sup>、堀 尚明<sup>1</sup>、草野 知江子<sup>1</sup>、長谷川 奉延<sup>2,3</sup>、鳴海 覚志<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>太田記念病院小児科、<sup>2</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>3</sup>柏たなか病院
- P2-7-6 メチルパラベン含有外用薬の関与が疑われる乳幼児片側性女性化乳房の男児**  
 高橋 諒<sup>1</sup>、石田 悠<sup>1</sup>、山田 ひかり<sup>1</sup>、代田 朋子<sup>1</sup>、高橋 英城<sup>2</sup>、山中 岳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医科大学病院、<sup>2</sup>滋賀県立総合病院
- P2-7-7 精巣容量増大のないゴナドトロピン上昇を抑制することは適切なのか**  
 多久和 麻由子、小松 弘季、高桑 聖  
 兵庫県立西宮病院
- P2-7-8 不登校児童では思春期早発傾向が多く認められた：  
 企業内パイロット調査による症例シリーズ報告**  
 松下 理恵  
 株式会社予防医療製作所
- P2-7-9 ターナー症候群と発達障碍児の視機能と視覚認知を含む脳・認知機能の比較検討**  
 荒木 久美子<sup>1</sup>、稲田 勤<sup>2</sup>、西垣 五月<sup>3</sup>、望月 貴博<sup>3</sup>、荒木 まり子<sup>4</sup>、間部 裕代<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>秋山成長クリニック、<sup>2</sup>高知リハビリテーション専門職大学言語聴覚学専攻、  
<sup>3</sup>希望の森成長発達クリニック、<sup>4</sup>高知大学医学部小児思春期医学、<sup>5</sup>間部病院小児科
- P2-7-10 hCG 産生縦隔腫瘍により思春期早発症を呈した Klinefelter 症候群の一例**  
 村井 雄紀<sup>1</sup>、矢本 真也<sup>2</sup>、渡邊 健一郎<sup>3</sup>、佐野 伸一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、<sup>2</sup>静岡県立こども病院小児外科、  
<sup>3</sup>静岡県立こども病院血液腫瘍科

## ポスター発表 8 糖代謝・糖尿病・低血糖 2

10月31日(金) 17:40 ~ 18:50 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 齋藤 玲子(産業医科大学小児科)

松井 克之(滋賀県立総合病院小児内分泌代謝糖尿病科)

### P2-8-1 当院通院中の 1 型糖尿病患者児における発症時重症度とその要因に関する検討

橋本 大<sup>1,2</sup>、田嶋 朝子<sup>2</sup>、木村 妙<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学小児科学講座

### P2-8-2 CGM データを見ながらインスリンを中止した一過性新生児糖尿病の 1 例

神野 和彦<sup>1</sup>、村上 智樹<sup>2</sup>、佐伯 久子<sup>2</sup>、前野 誓子<sup>2</sup>、古川 亮<sup>2</sup>、藤原 信<sup>2</sup>、福原 里恵<sup>2</sup>

<sup>1</sup>県立広島病院小児科、<sup>2</sup>県立広島病院新生児科

### P2-8-3 脳波は糖尿病性ケトアシドーシスにおける意識障害の評価に有用である

小野 真、家村 綾正、宮本 孝則、森山 陽子、金澤 正樹

千葉市立海浜病院小児科

- P2-8-4 小児糖尿病性ケトアシドーシスに合併した急性腎障害の検討**  
馬場 皆人<sup>1</sup>、藤原 香緒里<sup>1</sup>、山村 なつみ<sup>1</sup>、道上 敏美<sup>1,2</sup>、窪田 拓生<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪母子医療センター腎・代謝科、<sup>2</sup>大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門
- P2-8-5 初発DKAに心筋障害、多臓器不全、多発膿瘍を合併し、遺伝子異常の関与が疑われた2歳女児**  
齊藤 司、山下 由理子、成瀬 祐紀、岡田 広、森 雅人  
松戸市立総合医療センター小児科
- P2-8-6 急速な進行を呈した劇症1型糖尿病 (fulminant type 1 diabetes mellitus, FT1DM) の14歳女子例**  
上山 智樹<sup>1</sup>、山下 優理<sup>1</sup>、田中 桃<sup>2</sup>、高岩 由哉<sup>3</sup>、川原 勇太<sup>1</sup>、渡邊 知佳<sup>2</sup>、  
亀田 聡子<sup>2</sup>、齋藤 貴志<sup>2</sup>、野崎 靖之<sup>2</sup>、田島 敏広<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>自治医科大学附属病院、<sup>2</sup>新小山市市民病院、<sup>3</sup>獨協医科大学
- P2-8-7 偏食によるビタミン欠乏症状を合併し、重篤なソフトドリンクケトアシドーシスで発症した1型糖尿病の8歳男児**  
佐藤 詩苑、小松 なぎさ、山本 晶子  
国家公務員共済連合組合熊本中央病院
- P2-8-8 経口補水液摂取の指導により糖尿病性ケトアシドーシスを発症したペットボトル症候群の1例**  
橋本 悟、瀧浦 俊彦、大久保 結子、吉野 浩、成田 雅美  
杏林大学医学部附属病院
- P2-8-9 スルホニル尿素薬で血糖の安定を得られた6q24メチル化異常新生児糖尿病の一例**  
近藤 真彌子<sup>1</sup>、細川 未来<sup>2</sup>、草川 剛<sup>1</sup>、江川 絵里香<sup>4</sup>、久枝 義也<sup>2</sup>、吉井 啓介<sup>3</sup>、  
鈴木 滋<sup>5</sup>、高屋 和彦<sup>4</sup>、中尾 厚<sup>2</sup>、大石 芳久<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本赤十字社医療センター小児科、<sup>2</sup>日本赤十字社医療センター新生児科、  
<sup>3</sup>国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部内分泌・代謝科、  
<sup>4</sup>日本赤十字社医療センター糖尿病内分泌科、<sup>5</sup>旭川医科大学小児科
- P2-8-10 スルホニル尿素剤導入時にreal time CGMが有用であったKATPチャンネル異常による新生児糖尿病の1例**  
鹿島 健幹<sup>1,2</sup>、山田 恵<sup>3</sup>、西袋 剛史<sup>3</sup>、上牧 勇<sup>3</sup>、池側 研人<sup>2</sup>、長谷川 行洋<sup>1,2</sup>、  
石井 智弘<sup>2</sup>、天野 直子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京都立多摩北部医療センター、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター、<sup>3</sup>国立病院機構埼玉病院

### ポスター発表9 糖代謝・糖尿病・低血糖3

10月31日(金) 17:40～18:50 ポスター会場(グランドボールルームEF)

座長 我有 茉希(東京科学大学病院遺伝子診療科)  
小川 洋平(新潟大学医歯学総合病院小児科)

**P2-9-1 AID時代のpitfalls～有事に備える1型糖尿病療養指導～**

細川 悠紀、山形 雄伸、吉崎 加奈子、川北 理恵  
倉敷中央病院小児科

**P2-9-2 2型糖尿病発症早期に糖尿病性末梢神経障害を認めた男子例**

堂福 美佳、浅倉 佑太、岩崎 智裕、小林 瑞、宮内 彰彦、小島 華林、中村 幸恵、  
田島 敏広、小坂 仁  
自治医科大学小児科

**P2-9-3 群馬県における1型糖尿病児支援体制の現状と課題**

～患児家族ならびに学校職員対象のアンケート調査から～

中澤 優之介<sup>1</sup>、大津 義晃<sup>1</sup>、高橋 真実<sup>2</sup>、山口 将邦<sup>1</sup>、島田 正晴<sup>1</sup>、和田 綾<sup>1</sup>、  
大澤 好充<sup>1</sup>、星野 よし美<sup>3</sup>、生田 麻衣<sup>3</sup>、高橋 ちはる<sup>3</sup>、滝沢 琢己<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>群馬大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>2</sup>群馬大学医学部附属病院看護部、  
<sup>3</sup>群馬県教育委員会

- P2-9-4 神経性食思不振症を併発した1型糖尿病の症例から見る多職種連携を通じた小児糖尿病教育の重要性**  
折本 竜太<sup>1,6</sup>、中谷 圭吾<sup>2,3</sup>、佐々木 祥乃<sup>3</sup>、中川 竜一<sup>4,6</sup>、鹿島田 健一<sup>5,6</sup>、高澤 啓<sup>6</sup>  
<sup>1</sup> 東京北医療センター小児科、<sup>2</sup> 東京科学大学精神行動医科学分野、  
<sup>3</sup> 社会医療法人崇徳会田宮病院、<sup>4</sup> 武蔵野赤十字病院小児科、  
<sup>5</sup> 成育医療研究センター内分泌・代謝科、<sup>6</sup> 東京科学大学発生発達病態学分野
- P2-9-5 ハイブリッドクローズドループ療法が有効であった Wolfram 症候群の2例**  
遠藤 愛<sup>1</sup>、金子 直哉<sup>1</sup>、菱村 希<sup>1</sup>、鈴木 滋<sup>2</sup>、中村 明枝<sup>3</sup>、森川 俊太郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 北海道大学病院小児科、<sup>2</sup> 旭川医科大学病院小児科、  
<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部
- P2-9-6 慢性膵炎の経管栄養管理中に低血糖を来し、持続血糖測定で後期ダンピング症候群と診断した一例**  
河原 さくら、岩淵 敦、江頭 はるな、岩崎 友哉、森田 篤志、今川 和生、高田 英俊  
筑波大学附属病院
- P2-9-7 持続皮下グルコースモニタリングの低血糖の原因がインスリンのオーバードーズであった1型糖尿病の1例**  
勝浦 美沙子<sup>1</sup>、数川 逸郎<sup>1</sup>、木原 牧子<sup>1</sup>、柴 康弘<sup>1</sup>、阿部 茉衣子<sup>1</sup>、波多野 陽輝<sup>1</sup>、  
鮎田 香子<sup>3</sup>、岩崎 寛範<sup>2</sup>、安藤 咲穂<sup>2</sup>、皆川 真規<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 千葉県こども病院内分泌科、<sup>2</sup> 千葉県こども病院精神科、<sup>3</sup> 成田赤十字病院小児科
- P2-9-8 1型糖尿病に併発したネフローゼ症候群のステロイド治療に対する血糖管理の経験**  
大森 慎子、長井 静世、塚村 篤史、村田 直哉、一岡 聡子、山本 かずな、増田 俊樹、  
筒井 英美、坂井 智行、澤井 俊宏、丸尾 良浩  
滋賀医科大学小児科学講座
- P2-9-9 大腿から腹部への注射部位変更が食後高血糖の改善に寄与したと考えられた、1型糖尿病の1例**  
瀧浦 俊彦、橋本 悟、大久保 結子、吉野 浩、成田 雅美  
杏林大学医学部小児科
- P2-9-10 経口 GLP-I 受容体作動薬が著効した高度肥満、脂肪肝の2型糖尿病男子の1例**  
門脇 弘子、井田 孔明、原 真純  
帝京大学溝口病院小児科

## ポスター発表 10 肥満・やせ・栄養・脂質代謝

10月31日(金) 17:40～18:50 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 小西 絢子(大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学)  
八ツ賀 秀一(函館五稜郭病院)

- P2-10-1 初診時肥満度が100%を超えた重度小児肥満症3症例の経過**  
村下 眞理、濱本 道子、大井 ひとみ  
医療法人むらしたこどもクリニック
- P2-10-2 下気道感染症を契機に長期人工呼吸管理を行った Prader-Willi 症候群 13 歳女子の臨床経過**  
正古 慧子<sup>1</sup>、齊藤 修<sup>3</sup>、横堀 将司<sup>4</sup>、長谷川 行洋<sup>1,2</sup>、石井 智弘<sup>2</sup>、天野 直子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 東京都立多摩北部医療センター、<sup>2</sup> 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、  
<sup>3</sup> 東京都立小児総合医療センター集中治療科、<sup>4</sup> 日本医科大学病院救急救命科
- P2-10-3 小児肥満外来における体組成と肥満度の検討**  
村下 眞理、濱本 道子、大井 ひとみ  
医療法人むらしたこどもクリニック
- P2-10-4 小児肥満患者に対する栄養指導の有効性と課題に関する研究**  
倉恒 ひろみ<sup>1,2</sup>、松田 純子<sup>3</sup>、宮田 富弘<sup>2</sup>、神田 英一郎<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 川崎医科大学附属病院、<sup>2</sup> 川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学専攻、  
<sup>3</sup> 川崎医科大学病態代謝学、<sup>4</sup> 川崎医科大学健康管理学

**P2-10-5 10歳男児の診断を契機に父親の治療を見直すことができた家族性高コレステロール血症の1家系**出澤 洋人<sup>1,2,3</sup>、泉 維昌<sup>1</sup>、山田 浩史<sup>1</sup>、野牛 宏晃<sup>1,2,3</sup><sup>1</sup>茨城県立こども病院小児総合診療科、<sup>2</sup>筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター<sup>3</sup>JA茨城厚生連総合病院水戸協同病院内分泌代謝・糖尿病内科**P2-10-6 家族性高コレステロール血症複合ヘテロ接合体の姉弟例におけるロミタピドの効果と副作用**

真玉 千紘、金城 由佳里、井垣 純子

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

**P2-10-7 当院で経験しているアルストレーム症候群の2例**合田 武司<sup>1</sup>、杉本 哲<sup>1</sup>、河辺 泰宏<sup>1</sup>、小坂 喜太郎<sup>1</sup>、河井 容子<sup>1</sup>、糸井 利幸<sup>1</sup>、中島 久和<sup>1,2</sup><sup>1</sup>京都府立医科大学附属病院、<sup>2</sup>祐生会みどりヶ丘病院小児科**P2-10-8 MKKS 遺伝子に新規ミスセンスバリエーションを認めた Bardet-Biedl 症候群 6 型の一例**

塩田 翔吾、山口 修平、西本 由佳、杉浦 愛子、福井 貞弘、谷本 英里、

宇治田 風紗、萩原 康子、内木 康博、鹿島田 健一、吉井 啓介

国立成育医療センター内分泌・代謝科

**P2-10-9 健康診査で成長障害を指摘され内分泌疾患の診断に至った2例**崎村 青葉<sup>1</sup>、西山 邦幸<sup>1</sup>、大杉 康司<sup>1,2</sup>、松田 基<sup>1</sup><sup>1</sup>小田原市立病院小児科、<sup>2</sup>大和市立病院小児科**P2-10-10 成長障害を伴った回避・制限性食物摂取症 (Avoidant/restrictive food intake disorder) の1女児例**

箱田 明子、西井 亜紀

JR仙台病院小児科

## ポスター発表 11 甲状腺

10月31日(金) 17:40 ~ 18:50 ポスター会場(グランドボールルーム EF)

座長 川嶋 明香(山形県立中央病院小児科)

今田 寛(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

**P2-11-1 Basedow 病母体への無機ヨウ素製剤の長期内服により、重症の一過性甲状腺機能低下症を呈した新生児の1例**齋藤 大<sup>1,2</sup>、中川 智博<sup>1</sup>、島 彦仁<sup>1</sup>、塙 淳美<sup>2</sup>、遠藤 起生<sup>2</sup>、鈴木 保志朗<sup>2</sup>、菊池 敦生<sup>1</sup>、菅野 潤子<sup>1</sup><sup>1</sup>東北大学病院小児科、<sup>2</sup>いわき市医療センター小児科**P2-11-2 過去の写真との比較から眼球突出に気づき、甲状腺クリーゼの診断に至った12歳女児例**青柳 壘<sup>1</sup>、永田 知裕<sup>2</sup>、石井 智弘<sup>2</sup>、長谷川 行洋<sup>2,3</sup><sup>1</sup>公立昭和病院小児科、<sup>2</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>3</sup>多摩北部医療センター小児科**P2-11-3 レボチロキシン Na 過量摂取後に甲状腺中毒症を呈した1歳7か月男児例**津浦 海里<sup>1</sup>、市橋 洋輔<sup>1</sup>、服部 花穂<sup>1</sup>、木島 俊英<sup>1,2</sup>、岩野 麗子<sup>3</sup>、室谷 浩二<sup>4</sup>、柴田 浩憲<sup>5</sup>、石井 智弘<sup>1,6</sup>、長谷川 奉延<sup>1,7</sup>、鳴海 覚志<sup>1</sup><sup>1</sup>慶應義塾大学医学部小児科学教室、<sup>2</sup>済生会宇都宮病院小児科、<sup>3</sup>神奈川県立こども医療センター臨床研究所、<sup>4</sup>神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、<sup>5</sup>川崎市立川崎病院小児科、<sup>6</sup>東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、<sup>7</sup>柏たなか病院**P2-11-4 抑うつ傾向を機に診断された萎縮性甲状腺炎の1例**

浦田 芽久美、橘田 一輝、石倉 健司

北里大学医学部小児科学

**P2-11-5 幼児期に発症し 10 年間無治療であった萎縮性甲状腺炎の女児例**

橋本 有紀子<sup>1</sup>、友邊 雄太郎<sup>1</sup>、松倉 崇<sup>1</sup>、難波 多挙<sup>2</sup>、田上 哲也<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 国立病院機構京都医療センター小児科、<sup>2</sup> 国立病院機構京都医療センター内分泌・代謝内科

**P2-11-6 McCune-Albright 症候群に伴う甲状腺機能亢進症に対し甲状腺全摘出術を施行した例**

立川 恵美子<sup>1,2</sup>、永木 茂<sup>3</sup>、吉田 有策<sup>4</sup>、永田 智<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京女子医科大学小児科、<sup>2</sup> 常陸大宮済生会病院小児科、<sup>3</sup> ながきこどもクリニック、

<sup>4</sup> 東京女子医科大学内分泌外科

**P2-11-7 内服薬によるコントロール中に甲状腺腫大が増悪した非自己免疫性甲状腺機能亢進症の一例**

土屋 理奈<sup>1</sup>、宮井 健太郎<sup>1</sup>、桐野 玄<sup>2</sup>、高澤 啓<sup>2</sup>、鹿島田 健一<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup> 東京北医療センター、

<sup>2</sup> 東京科学大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野（小児科）、

<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター内分泌・代謝科

**P2-11-8 不定愁訴を契機に診断した TRAb 陰性バセドウ病**

島崎 俊介、岸村 美宥、佐藤 純一

船橋市立医療センター小児科

**P2-11-9 伝染性単核球症発症初期に併発した自己免疫性甲状腺疾患の 2 例**

植田 有紀子、佐藤 真理、麻生 敬子

東邦大学医療センター大森病院小児科

**P2-11-10 当院における小児重症バセドウ病のチアマゾール単独治療と、チアマゾール・無機ヨウ素併用治療の比較**

中谷 恵理<sup>1</sup>、塚村 篤史<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 近江八幡市立総合医療センター小児科、<sup>2</sup> 滋賀医科大学小児科学講座

**ポスター発表 12 トランジション、その他**

10月31日（金）17：40～18：50 ポスター会場（グラウンドボールルーム EF）

座長 糸永 知代（大分大学医学部小児科）

高澤 啓（東京科学大学発生発達病態学分野 / 小児科）

**P2-12-1 シロリムスが奏功した右示指・上肢肥大を伴う PIK3CA 関連過成長症候群の 1 例**

森 潤<sup>1</sup>、岩田 康平<sup>1</sup>、甲賀 恵里<sup>1</sup>、渡部 瑤<sup>1</sup>、山田 勇氣<sup>1</sup>、樋口 真司<sup>1</sup>、細見 僚<sup>2</sup>、

羽多野 隆治<sup>3</sup>、岡本 伸彦<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、<sup>2</sup> 大阪市立総合医療センター整形外科、

<sup>3</sup> 大阪市立総合医療センター小児形成外科、<sup>4</sup> 大阪母子医療センター遺伝診療科

**P2-12-2 同一施設内で段階的に成人期移行を進めたダウン症 1 型糖尿病の 1 例**

藤原 幾磨<sup>1</sup>、井泉 知仁<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 仙台市立病院小児科、<sup>2</sup> 仙台市立病院糖尿病・代謝内科

**P2-12-3 当院で経験したブラダーウィリ症候群の 5 症例のまとめ**

熊田 寛子、円山 牧子、武内 香菜子、内海 孝法、香川 礼子、岡田 賢

広島大学病院小児科

**P2-12-4 神経発達障害を合併した脳腫瘍小児がん経験者の成人移行支援の検討**

長井 静世<sup>1</sup>、塚村 篤史<sup>1</sup>、筒井 英美<sup>1</sup>、澤井 ちひろ<sup>1</sup>、白坂 真紀<sup>2</sup>、村田 幸一郎<sup>3</sup>、

森 麻美<sup>4</sup>、多賀 崇<sup>1</sup>、丸尾 良浩<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 滋賀医科大学小児科学講座、<sup>2</sup> 滋賀医科大学医学部看護学科、

<sup>3</sup> 滋賀医科大学糖尿病内分泌内科、<sup>4</sup> 東近江市立能登川病院小児科

**P2-12-5 15 番染色体父性部分テトラソミーの 1 症例**

成澤 宏宗<sup>1</sup>、矢ヶ崎 英晃<sup>1</sup>、渡邊 大輔<sup>1</sup>、齋藤 朋洋<sup>1</sup>、大山 哲男<sup>2</sup>、佐野 友昭<sup>3</sup>、

太田 正法<sup>1,2</sup>、松原 圭子<sup>4</sup>、犬飼 岳史<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 山梨大学小児科、<sup>2</sup> 都留市立病院小児科、<sup>3</sup> 山梨赤十字病院小児科、

<sup>4</sup> 国立研究開発法人国立成育医療研究センターダイバーシティ研究室

**P2-12-6 高度の低身長と先天性声門下狭窄を合併し、診断に難渋した関節弛緩を伴う脊椎骨端骨幹異形成症 2 型の 1 例**

宇都宮 秀和<sup>1</sup>、濱田 淳平<sup>1</sup>、地行 健二<sup>1</sup>、西村 玄<sup>2</sup>、深見 真紀<sup>3</sup>、江口 真理子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 愛媛大学大学院医学系研究科小児科学、<sup>2</sup> 武蔵野陽和会病院放射線科、  
<sup>3</sup> 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部

**P2-12-7 抗てんかん薬によりビタミン D 欠乏を呈した TSC の一例**

高橋 英城<sup>1,2</sup>、松井 克之<sup>1</sup>、田中 基意<sup>1</sup>、高橋 諒<sup>2</sup>、山田 ひかり<sup>2</sup>、代田 朋子<sup>2</sup>、  
山中 岳<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> 滋賀県立総合病院、<sup>2</sup> 東京医科大学

**P2-12-8 脊髄動静脈奇形破裂により不動となり高 Ca 血症を呈した女児例**

田所 宏啓、小貫 孝則、澤野 堅太郎、入月 浩美、小川 洋平  
新潟大学医歯学総合病院小児科

**P2-12-9 患者主導型 PHR プラットフォーム「ComNext」による研究参画と共創医療の実現**

小野澤 侑<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> NPO法人HPPHOPE、<sup>2</sup> Arteryex株式会社

**P2-12-10 小児期早期にもやもや病と診断した Noonan syndrome like disorder**

浅井 優作<sup>1</sup>、村中 あかり<sup>1</sup>、沼倉 周彦<sup>1,2,3</sup>、三井 哲夫<sup>1</sup>、新堀 哲也<sup>4</sup>、青木 洋子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup> 山形大学医学部附属病院小児科、<sup>2</sup> 埼玉医科大学病院ゲノム医療科、  
<sup>3</sup> 埼玉医科大学病院小児科、<sup>4</sup> 東北大学大学院医学系研究科遺伝医療学分野

## オンデマンド配信のみのセッション

### 教育講演 1

**OEL1 より安全な処置時の鎮静**

久我 修二  
大分こども病院

### 教育講演 2

**OEL2 ワクチン update —2024 年に導入された新しい選択肢—**

長澤 耕男  
千葉大学医学部附属病院小児科

### 教育講演 3

**OEL3 下垂体神経内分泌腫瘍 (PitNET) / 下垂体腺腫 小児期における診断と治療**

伊藤 純子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup> 虎の門病院小児科、<sup>2</sup> 東京家政大学こども支援学部

### 教育講演 4

**OEL4 歯科医の視点でみる小児疾患**

岩本 勉  
東京科学大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学・障害者歯科学分野

### 教育講演 5

**OEL5 小児科医 / 小児内分泌科医に知ってほしい月経にまつわる諸問題**

甲賀 かをり  
千葉大学大学院医学研究院産婦人科学

### 教育講演 6

**OEL6 小児がん患者に対する妊孕性温存療法の現状と課題**

高井 泰  
埼玉医科大学総合医療センター

### 教育講演 7

**OEL7 小児内分泌科医が知っておくべき代謝疾患**

松永 綾子  
聖マリアンナ医科大学小児科

## 教育講演 8

## OEL8 国内外の小児肥満診療ガイドラインに学ぶ最新エビデンスと実践の課題

山本 幸代  
産業医科大学医学部医学教育担当教員

## 教育講演 9

## OEL9 性分化疾患の診療ガイドライン 2025：新時代の包括的アプローチ

石井 智弘  
東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科

## 教育講演 10

## OEL10 小児 1 型糖尿病における治療の最前線

高谷 具純  
獨協医科大学埼玉医療センター小児科

## Year Book 1

## YB1 下垂体・成長

藤本 正伸  
鳥取大学医学部周産期・小児医学分野

## Year Book 2

## YB2 副腎

菅野 潤子  
東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野

## Year Book 3

## YB3 性腺・性分化疾患

糸永 知代  
大分大学医学部附属病院小児科

## Year Book 4

## YB4 思春期

小野 真  
千葉市立海浜病院小児科

## Year Book 5

## YB5 甲状腺

虫本 雄一  
九州大学病院小児科

## Year Book6

### YB6 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患

樋口 洋介

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター小児科

## Year Book7

### YB7 糖尿病・低血糖・糖代謝

濱田 淳平

愛媛大学大学院医学系研究科小児科学

## Year Book8

### YB8 肥満・やせ・栄養・脂質代謝

森 潤

大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

## Year Book9

### YB9 CCS・腫瘍・トランジション

長井 静世

滋賀医科大学小児科

## Year Book10

### YB10 新生児内分泌

山内 建

京都大学医学部附属病院小児科

## Year Book11

### YB11 遺伝・症候群

中尾 佳奈子

国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部

## Year Book12

### YB12 水電解質

青山 幸平

名古屋市立大学大学院医学系研究科新生児・小児医学分野